

1. 件名：「日本原燃(株)の設工認申請に係るヒアリング(再処理施設(2-99)、
廃棄物管理施設(74)、MOX燃料加工施設(2-59))」

2. 日時：令和5年9月15日(金) 10時00分～12時15分
13時30分～15時50分

3. 場所：原子力規制庁 10階会議室(TV会議により実施)

4. 出席者

原子力規制庁

原子力規制部

核燃料施設審査部門

(原子力規制部新基準適合性審査チーム)

古作企画調査官、大橋上席安全審査官、大岡主任安全審査官、岸野主任
安全審査官、田尻主任安全審査官、藤原主任安全審査官、小野安全審査
官、上出安全審査官、山口係員、横山原子力規制専門員

日本原燃株式会社

決得 執行役員 再処理・MOX設工認総括副責任者 他4名

5. 要旨

(1) 日本原燃株式会社(以下「日本原燃」という。)からの令和5年9月14
日の提出資料に基づき、以下の事項について確認を行った。

- ・今後の進め方
- ・申請対象設備の分類及び構造設計等に係る整理

(2) 日本原燃から、主に、以下のとおり対応する旨回答があった。

- ・今後の進め方については、本年9月14日のヒアリングで回答した対応方
針の再整理による各課題対応の関連を踏まえて、全体のタスクを抜け漏れ
なく表せるように整理する。また、本年9月11日のヒアリングで回答し
た中長期的な進め方が整理できていないので、ステアリングチームの位置づ
けを再認識して対応する。
- ・申請対象設備の分類及び構造設計等の整理に関しては、上記の対応方針の
再整理を踏まえ、各課題対応を連携して進め、今後の作業に繋げる。シス
テム設計、構造設計等での説明と解析・評価等での説明とでそれぞれ条文
の要求事項等を漏れなく説明できるように、整理作業での配慮事項を明確
にする。解析・評価等での説明については、まずは対応方針及び今後の進

め方を整理する。

- ・再処理施設及び廃棄物管理施設での設備の分類等については、整理の結果だけでなく、なぜそう整理したのか、どう説明していくつもりなのかなどを明確にする。

6. 自動文字起こし結果

別紙のとおり

- ※音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

7. その他

提出資料

なし

参考

- ・ 日本原燃株式会社 再処理事業所 規制法令及び通達に係る文書（令和4年12月26日）
「日本原燃（株）から再処理事業所再処理施設の設計及び工事の計画の認可申請を受理」
https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/REP/180000120.html
- ・ 日本原燃株式会社 再処理事業所 規制法令及び通達に係る文書（令和4年12月26日）
「日本原燃（株）から再処理事業所再処理施設の設計及び工事の計画の変更の認可申請を受理」
https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/REP/180000121.html
- ・ 日本原燃株式会社 再処理事業所 規制法令及び通達に係る文書（令和4年12月26日）
「日本原燃（株）から再処理事業所再処理施設の設計及び工事の計画の変更の認可申請を受理」
https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/REP/180000122.html
- ・ 日本原燃株式会社 再処理事業所 規制法令及び通達に係る文書（令和4年12月26日）
「日本原燃（株）から再処理事業所再処理施設の設計及び工事の計画の変更の認可申請を受理」
https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/REP/180000123.html
- ・ 日本原燃株式会社 高レベル放射性廃棄物貯蔵管理センター 規制法令及

び通達に係る文書（令和4年12月26日）

「日本原燃(株)から特定廃棄物管理施設の設計及び工事の計画の認可申請を受理」

https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/REP/180000124.html

- ・ 日本原燃株式会社 MOX 燃料工場 規制法令及び通達に係る文書（令和5年2月28日）

「日本原燃(株)から再処理事業所 MOX 燃料加工施設の設計及び工事の計画の認可申請を受理」

https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/FAB/180000242.html

- ・ 日本原燃株式会社 MOX 燃料工場 規制法令及び通達に係る文書（令和5年2月28日）

「日本原燃(株)から再処理事業所 MOX 燃料加工施設の設計及び工事の計画の変更の認可申請を受理」

https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/FAB/180000243.html

- ・ 令和5年9月14日

「日本原燃(株)再処理施設、MOX 施設、廃棄物管理施設の設工認申請に関する資料提出」

- ・ 令和5年9月11日

「日本原燃(株)の設工認申請に係るヒアリング（再処理施設(2-97)、廃棄物管理施設(72)、MOX 燃料加工施設(2-57)）」

<https://www.nra.go.jp/data/000448697.pdf>

- ・ 令和5年9月14日

「日本原燃(株)の設工認申請に係るヒアリング（再処理施設(2-98)、廃棄物管理施設(73)、MOX 燃料加工施設(2-58)）」

<https://www.nra.go.jp/data/000449042.pdf>

時間	自動文字起こし結果
0:00:04	愛知ヤマグチですとそれではただいまから日本原燃とのヒアリングを開始しますと本日のヒアリングは令和4年12月26日に申請があった再処理施設と廃棄物管理施設、
0:00:14	また令和5年2月28日に申請があったMOX燃料加工施設の設工認申請について、塩本にヒアリングにて事実確認を行うものになります。
0:00:24	浜崎規制庁側の出席者を紹介いたしますと、本庁会議室からコサクフジワラをオカキシノオノヨコヤマヤマグチ。
0:00:36	その他WEBからオオハシカミデタジリと、以上になりますとスゲノ日本原燃の方から出席者の紹介と本日の議題の構成の説明の上、資料の説明開始してください。
0:00:51	はい、日本事務局中浜でございます。
0:00:54	日本原燃側の出席者紹介いたします。
0:00:58	Steeringチームより、
0:01:00	ケットク、
0:01:01	ハセガワ、
0:01:03	ノモト、
0:01:04	タカヤ、
0:01:05	イシハラ、
0:01:07	事務局より、MOX及び最初の事務局参加させていただいてございます。
0:01:13	本日ご確認いただきます資料につきましては、昨日、ご提示差し上げました。今後の進め方について、
0:01:21	こちらの方の説明を行いたいと思います。
0:01:26	それではよろしく申し上げます。はい。
0:01:29	はい。弓削ニシダでございます。それでは9月14日付で提出をさせていただきました今後の進め方についてご説明をさせていただきます。
0:01:40	前回の今後の進め方のやりとり踏まえまして、対応方針で、展開作業としての展開をしているものについては、
0:01:50	あまり細かく、こちらにかかわらず、対応オチアイ預ける形で整理をしました。とはいえこの前提の対応方針がちゃんと書けることが前提なので、その辺はまだ整理が十分できてないところがございます。
0:02:03	(1)番、共通に本体の整理の話と、共通要因のMOXの説明グループ一井のタスクでございます。

0:02:12	この説明グループ 1 の方で共通経営本部も含めて、今後をハンドリングしていこうということを思ってますのでカッコ 1 で合わせ技でタスクにさせていただきました。
0:02:25	具体的な対応方針、進めていくわけですが、9 月 14 日以降の提出であったりヒアリングのタイミングについて※で、
0:02:36	二つに分けて書いております。
0:02:41	今日とあと 20 日ですね、に分けてやる、第 1 弾の 9、14 日提出資料でのやりとりと、あとは、そのやりとりを踏まえた上で次には、10 月のいつ今 11 日をターゲットにということで、
0:02:56	説明グループ 1 の第 2 弾ということで資料提出ヒアリングということで進めさせていただければということで整理をさせていただきます。
0:03:07	(2) 番が竜巻でございますこちらの対応方針を踏まえた対応ということを前提に整理をしましたが、
0:03:16	9 月 14 日提出資料の 20 日日やと思っておりますが、今日の時点でイングロがない等もあるのでその状況も踏まえて、
0:03:26	ヒアリングについては別途情勢をさせていただければと思っております。
0:03:32	(3) 番が一斉でございますこちら、対応方針のやりとりをまだ、修正も含めてやる必要がありますんで、これについては、先日のヒアリングの状況を踏まえながら、
0:03:47	かつ今日東条本体での対応方針の整理の仕方っていうのも踏まえて、溢水の対応方針の修正版を提出するタイミング、あとヒアリング設定と、
0:03:58	いうのを今後提示をさせていただきたいと思えます。
0:04:02	はい。
0:04:05	(4) 番に短期的では今後の全体の進め方ということで共通 12E の説明の中で、
0:04:16	流れというのを、別添 1 の方につけさせていただいてございます。
0:04:22	3 ページの方の別紙 1 は前回からの修正として青字になってる部分、先ほど畑もともと共通に本体と説明グループ 1 の早速分けてましたが全体をまとめて一番左側タスクでハンドリングしていこうということ。
0:04:40	あとは一番右側の竜巻シリーズですけども、共通 12 の説明グループは最初に今日辻野本体で 14 日に提出させていただいてますが、
0:04:52	外的事象の分類を説明グループ 1 ということであるので、ここはもともと二つに分かれてましたが一つに統合させていただいてございます。

0:05:04	という全体の整理も踏まえた上で4ページが流れで木星、最初に廃棄物も最初にとって書いてるところをセットで考えてますが、
0:05:16	説明グループごとの説資料としての提示であったり説明のタイミングというのをそれぞれ、
0:05:23	共通的なものは、同じようなタイミングで説明をできるように、
0:05:30	整理をしていきたいというのが、4ページの進め方でございます。
0:05:34	大枠は、MOXの説明グループ1例、資料1234、それぞれどういうふう
0:05:45	に整理をしていくのかっていう本文側の整理であったり、 具体的な資料、さあ資料4、資料23ですね、整理というのを、整理を進めていって、それをもとに、最初の説明グループ1につなげていくという
0:05:59	ことで、 考えております。再生の説明グループ1に外部衝撃家派遣が入ってきますので、
0:06:05	それと連動するというものの木チームとしてはMOXの説明グループ2に、火災外部衝撃関係条文が入ってきますんで、外部衝撃関係ということで、合わせてやっていければなど。
0:06:20	最初の説明グループにこの中に溢水、化学薬品の漏えい関係が入っています。
0:06:26	目標説明グループさんも、閉じ込め条文のグローブボックス以外のものが入りますとそれ以外にも、溢水の関係の話を説明グループさんで取り扱うということも整理をしますので、
0:06:38	同じようなタイミングでできればなどというふうに整理をさせていただきました。
0:06:45	はい。
0:06:45	全体としてはこういう整理で進めていきたいというのが、1ポツでございます。
0:06:53	では引き続き2ポツの耐震関係民俗地震の策定の進め方の方のご説明でございます。
0:07:01	前回の進め方冷やでのご議論を踏まえまして、ここの本文にはですね、大枠の項目とスケジュールを記載する形にいたしまして、
0:07:13	具体的なといいますか少し細かい目の検討項目につきますと、別添2の方にまとめるという構成に今回改めてございます。
0:07:24	で、別添2の方をちょっとご覧いただきまして、項目自体はですね、今後の方と平仄を合わせておりますので、同じなんですけれども前回からの

0:07:37	差分といいますか、金属状況の概要を申し上げますと、その岩盤減衰につきましヒガシのですね、月火教室の検討を進めていたところですが、
0:07:51	こちらはですね、月曜の時点から今検討状況に、特にですね、
0:07:59	申し上げる進捗が特にそのニシダ基盤につきましても、同定のですね期間データが出てきますんでそれを見て、この先の検討の、
0:08:13	進め方を検討しようというところになってございます。
0:08:19	で、サポートいたしましては表層物性につきまして、ちょっとスケジュールがピンクであるというようなことを申し上げ、
0:08:27	だけれども、こちらにつきましては、
0:08:30	ただ審査とのキャセイも、今週ちょっとをやらしていただきましてですね、結論から申し上げますと、9月29日のご提出までに、
0:08:43	間に合わせるというところで、これは進めたいというふうに考えているところでございます。
0:08:50	で、ですね、進捗の特記事項のところのラインですね、今申し上げたような、先ほど申し上げたような伝達関数の件と地震後検討の
0:09:03	今のステータスを記載してございますけれども、変更点下線で引いておりますけれども、1000、前回のですねヒアリングを踏まえた記載のですね適正化ですとか、
0:09:17	その内容のですね補足を付け加えていることで、ステータスにこれは変更はないというところでございます。
0:09:24	すいませんちょっと行ったり来たりで申し訳ございません。2ページ目の本部の方でございます。
0:09:29	スケジュールをこちらの方ではすべて帰っておるところでございますけれども、先ほど申し上げました表層物につきましては9月26日の提出に向けて、このシナリオを検討して、またお忙しい中、
0:09:42	ただ、ここで答え。
0:09:46	それからですね前回ヘリの時に、
0:09:49	この西側の地盤をですね、統制を今ちょっといろいろトライしてるということ踏まえてこれが出なければ、スケジュール的にですねちょっとまた延ばさせていただくこと。
0:10:04	あり得るということを申し上げておりましてそこは変わりはないんですけども、仮にニシノー番ですね、本日結果を踏まえてもう一度やはり再度出かけると言ったようなことになりました場合にはアノニシカワシバの検討は起こり

0:10:17	でも、その他の部分に関しましてはそれにつられておくらせるんじゃないくて、残りの部分だけは、9月29日に一旦取りまとめてご提出と。
0:10:27	いったようなことを考えてございます。もちろん、本日の同定結果で、これから志免県下は入れるということであれば29日に衛藤医師が一番、
0:10:39	というふうなところで考えているところでございます。ご説明以上でございます。
0:10:54	規制庁ヤマグチです。現状の説明は以上ってということで、
0:11:00	はい。はい。そうですかはい漆原でございます。はい。
0:11:06	あとそうか。一番最後に参考でスケジュールつけさせていただいております。まだ今のヒアリングを受けた対応と、
0:11:15	というのが書き切れてないのと、あと8ページのところには9月20日に、
0:11:22	竜巻入ってますがSSSの関係で調整をさせていただこうということと、竜巻が
0:11:34	一部のメンバーの状況を踏まえて、別途調整をさせていただきたいということとございました。はい。以上です。
0:11:43	支店長山口です。それでは、規制庁側から増主任ございましたらお願いします。
0:11:56	規制庁の藤原です。共通12の、
0:12:00	1ポツの両括弧1のところの米印2個目なんですけど、
0:12:05	今日されたのを実施するヒアリングと後また来週、
0:12:12	このヒアリングの後の資料提出かなり、
0:12:15	期間がオクなんですけど、これって資料4とかも含めるとこのあたりになってしまうのか、全体含めてちょっと、
0:12:24	倍修正するとかそういう感じなんですって。
0:12:28	はい。峯瀬谷でございます。はい。まずは資料4の関係という、もう一つ、この日付にした理由にあります。もう一つは、
0:12:39	正直ですね22日にまた説明グループ1の資料1から3説明しますが、
0:12:46	まだ資料3の中でこれは構造設計なのかという記載の、まだサノ部分がありまして、そこをまだ並行して、詳細化の
0:12:57	作業をしているところでございますそういったのも含めてこの日付で今はセットさせていただこうということとを考えてました。
0:13:07	規制庁のフジワラです。ほっこりしましたが、あまりこれまでもあったんですけど、作り込んで、

0:13:14	また手直しが発生したりとかっていうことを考えると、途中途中あれですかね市へこの進め方のヒアリングとかで、どういう状況かとか、
0:13:24	方向性とかは、説明していただけるっていう理解でいいんですかね。
0:13:29	はい。表現のインダでございますが、まず日付を大分開けてしまっている点についてはなるべく早くということも考えますということと、各この日付の開き方からいきますと、途中段階での、
0:13:42	状況報告というのをさせていただく必要があると思いますので、進め方やなりを活用しながらそういう状況説明をさせていただければと思っております。
0:13:53	規制庁の藤原です。わかりました。
0:13:56	すいません。規制庁上出です。今の資料 4 が、
0:14:03	資料 4 とか 11、10 月 11 日の資料資料 4 については、まだ記載方針っていうことで資料 4 自体がこれですっていう形では出てこないってことなんでしょうか。
0:14:18	はい。乳井ニシダでございますはい。ステップごとにとまってまして本文での資料 4 で何を示すかということと、参考資料も含めた記載方針と、
0:14:31	いうことのセットものを、の 11 の比例と思ってました。具体的中身の資料要望をつけるということでございます。
0:14:42	はい。規制庁神です。それで、別途出ている共通 12 の、
0:14:48	どの部分が何ページか 7 ページぐらいまでがそのまま本文はいいんですけど、その参考資料と言っているものがどの範囲がその資料用に係る記載方針なのかって教えてもらえます。
0:15:04	はい。逃げる者でございます。はい。ですね。
0:15:11	ベースでいくと、パターン 2. 途中になってますが、これはコピーを失敗した中身では、
0:15:20	何ページなんだろう。
0:15:24	もっと言い、
0:15:28	上のやつ、印刷したやつが見切れていて、ページが見えない。
0:15:36	548 ページですね、548、549 から最後の 505、52 まで。
0:15:45	です。はい。
0:15:48	はい。規制庁カミデです。ここはタイトルに検討中って書いていて、
0:15:55	何なんですかねって感じなんですけど、検討中のものに対して我々がまた何か話をしてそれを踏まえて、この検討中のものが、
0:16:06	直ってくる。
0:16:07	ということですかそれが 10 月 11 日。

0:16:10	はい。日本原電飛田でございます。はい。まず、この検討中の状態で、つけているのは現在作業を進めて予算をまず分けさせていただきましたが、
0:16:21	これに対して、20日の段階、等々でやりとりをするというよりは我々こういう形で進めていますが検討した様を、
0:16:31	10月11日にはお見せをしますという施設でございます。
0:16:37	はい、規制庁カミデです
0:16:40	何か何とも言えない状況なんだなっていうのだけはまず理解しました資料は一応見ておきますけど。はい。私から以上です。
0:16:50	規制庁岡ですと、今の話なんですけど、再提出、10月11ってなってる、
0:16:57	次の審査会合が、前回9月4日だったので、10月の前半から中旬ぐらいかなっていう、
0:17:05	ところかなと思うんですが、その辺との関係は、例えば次の審査会合ではここまで説明しますです。そのためにこういうヒアリング、
0:17:16	説明します。
0:17:17	みたいなことってどういう感じですか。
0:17:20	進める予定でしょうか。
0:17:28	はい。日本原燃石田でございます。月に1回審査会合をやらせていただいて、9月、やった上で1ヶ月後と考えたときに、
0:17:41	教えていただいている通り前回の審査会合では、今後説明グループ1について説明をしますよということを書いてました。本来であればこの説明グループ1のセットを、次回の審査会合までにということではあるんですけども、
0:17:58	完全にスケジュール的にはミスマッチしてるという認識を今持っております。
0:18:03	はい。
0:18:04	次回の会合では、状況をこういうふうに検討を進めてますっていうメールではもうないと思うので、説明グループ1について、ある程度のまとまりで説明をしていくと、いうことが必要であるというのが、まず認識でございました。はい。
0:18:23	規制庁岡です。認識はそうだって、どこまで会合でかけようというお考えで今、この
0:18:33	スケジュール組まれてますかっていうことなんですけど、資料3までとか、そういう、
0:18:38	見積もりみたいなものを、

0:18:41	はい。日本原燃瀬谷でございます。はい。資料 1 から 3 のセットで言えば特に説明グループ 1 については資料 2 をどういう単位で
0:18:52	説明するのかっていう塊と、
0:18:56	そこに該当する個別の設計としては資料 3 という固まり、まさしく
0:19:02	先日提出をしたセットが全部説明対象だというふうに認識をしています。
0:19:12	までは、とりあえず今後の日や、
0:19:17	しっかり事実確認を行った上で、加納に向けて取り組まれると言って、資料 4 に関しては修正方針とかの段階なので、
0:19:27	その会合でのかけ方というのはちょっと考えると、そういうことですかね。
0:19:33	はい、乳井西田でございますはい。おっしゃっていただいている通りかと思ってます。もともと段階的ということで
0:19:43	再処理でいくと 1 月 MOX テクト 3 月の審査会合で、1 ポツ、2 ポツ 3 ポツ 2 ポツについては 2-1、2-2 ということで全体の枠組みは 2 ポツとしてやりながらもう 2-1、2-2 を段階的に
0:19:58	説明をしていきますということで、今回のセットが 2-1 に該当するものだということで認識をしてましたので、そのセットをまずは説明をさせていただくということだと思ってました。
0:20:10	規制庁課です。とりあえず理解しました。
0:20:20	じゃあ、規制庁カセすみません、あともう 1 件、そのあとのヒアリングの日程 10 月 18 日ってなっているんですが、こちら辺はもう、ちょっと聞いてるかもしれませんけど、
0:20:30	現地確認に、こちら審査チーム向かいますので、その辺もスケジュール感が入れといていただければと。
0:20:39	はい、米田でございます。委員失礼いたしました。
0:20:51	市長山口です。溢水関係で、
0:20:55	ちょっと伺い、確認したいんですけども、
0:20:59	強気の対応方針のヒアリングをして、共通中に竜巻の存在を方針と合わせてちょっと検討して改めてスケジュールを
0:21:09	しますってということだったんですけど、
0:21:12	と。
0:21:13	共通 12 の前に、
0:21:15	整理することとして、
0:21:18	個別ヒアでやりますってやってる。

0:21:20	内容もあると思っててで、昨日ん、やっぱその対応方針の資料だと、9月下旬、
0:21:28	を予定してるものもあって、示されてるのがあっても、下旬に入りつつある。
0:21:35	入ってくると思うんですけども、
0:21:37	竜巻とかでも対応方針、その人が共通事業対応をしながら個別の資料も求めているところで、なんで溢水の方も、共通時の前にやることって言うてるのは並行して作業を進めて、
0:21:53	適宜提示されると思っていてよろしいでしょうか。
0:22:00	はい。日本原燃の武田でございます。おっしゃる通り対応方針の修正とともにですね、昨日、経歴でいただきました具体例を示すとかですね、9月現在で、
0:22:13	個別に説明する内容ということについては、並行してて出したいと思えます。
0:22:19	わかりました。ありがとうございます。
0:22:31	イチポツ関係でも、
0:22:33	規制庁側からありますでしょうか。
0:22:40	古作ですけど、1ポツ関係とかどうかよくわかりませんが、対応方針、ブラッシュアップしなきゃいけない話って、どう進めればいいですか。
0:22:56	はい、乳井瀬谷でございます。はい。
0:23:02	この枠でやるっていう話もしてたと思うので、どうしようかな。
0:23:11	続けて、2番の状況でやるか、2ぽつまでやりとりをしてから、区切ってやるヶ月CAQという話で、
0:23:23	大坂です。
0:23:26	あまり考えてなかったようなので2ポツやってる間に考えておいてください。
0:23:35	今回ですね、1ページ目少し整理をしましたと言われたんですけど、
0:23:42	これ昨日提出で昨日のヒアリングでっていうのは範囲は、
0:23:46	してないということだろうからと思い、
0:23:49	質問
0:23:50	単純に対応方針を踏まえた対応とそのあと共通中に出ていってるだ形でしかなくて、
0:23:58	こんなペーパーだったらいらんんじゃないかなと思うんですよ。
0:24:08	3ページなり4ページなりで多少その総合の関係性を、
0:24:16	何となく図示されてはいるので、

0:24:20	そこのところの考えみたいなこと。
0:24:24	だと思っんですけど。
0:24:28	今一釈然としない。
0:24:31	ですよ。
0:24:32	そのあたりは結局はその対応方針が、昨日話したように全然まだタスクとしてどういう構成になっていて関連性がどうでというのを、
0:24:44	フェアリングチーム間で話ができなくていうことだと思うので、今日の段階でこれをどうこうという話は、
0:24:54	できないのかなと思ってあんまり言っていないんですけど、認識としてはどうしておけばいいですか。
0:25:05	はい。日本原燃石田でございます。はい。まず、おっしゃっていただいている通りかと思っておりますできがよくないとかこの対応、今後の進め方でやるのは、
0:25:19	おっしゃっていただいて、別添1と言ってる3ページの関係性で、どういう前後関係でどういうふうに
0:25:28	マンルールなスキームで進めていくつもりなのかということ、現状どっかで引っかかっているものがないのかというようなことの話をしていないと、これがまず、
0:25:40	淡々と進むような状況で今ないので、そういったところを、頭の紙の中で説明をしながらこの図との関係で整理をしていくと、ということかと思っております。あとは4ページで言っている全体こう進めていくって時に何か、
0:25:56	課題になることがないのかというようなことを、キックとして頭の方で制限をして今後どういうふうにそれを調整していくのかというのをお話するのが、
0:26:09	本来のあるべき姿かなというふうには認識をしています。そうなりきってないのも認識をしつつ、じゃあ出すなというところであると思うんですが今後そういう形にしていければと思っております。はい。
0:26:21	はい。補足です。
0:26:26	2ポツやったあと2、その対応方針の話をしていて今後の資料等を作る。
0:26:34	何を示す必要があると。
0:26:36	ことなのかっていうのが、少し認識がしていただければいいと思いますし、
0:26:42	その後の対応方針の再整理をし、
0:26:46	ていうところを踏まえて、このペーパーを改訂していただければと。

0:26:50	いうふうに思います。
0:26:52	若干共通 12 の話になっちゃうかもしれないんですけど、4 ページの再処理の説明グループ。
0:27:01	或いは設計説明分類。
0:27:06	記載が余りに、
0:27:09	わかりにくい。
0:27:14	MOXの方は、
0:27:16	閉じ込め条文グローボックスだったり、
0:27:20	警報遮へいだったり、
0:27:22	いうので、もののイメージはすごいしくりくる。
0:27:27	一方最初ニワというと、一応分類の主眼とするのが変更箇所ということではあるので、
0:27:37	その点ではしょうがないというのはあるんですけど、
0:27:41	前の共通順位のときに言えばよかった部分もあるんですが、
0:27:46	外部衝撃関係条文外的事象対策設備、防護対象設備等ってこれ、何でこんなふうに言わなきゃいけないんだっていう、
0:27:59	ところなんです、
0:28:04	と、
0:28:05	一応あれですかね。
0:28:07	でも、
0:28:09	はい、弓削西田でございます。私の方の薄井ですが相当なかつただけか、お願いします。
0:28:16	おっしゃっていただいて外部損益の関係条文と言っていることがMOXで言う閉じ込め関係の条文を対象にしますよと。
0:28:25	言ってることでそのあとに下手に、設計設備分類の対象になるものを挙げてしまったのがかつ区切りもなく続けて書いているのが、よくわからなくなっている理由が気もしますので、
0:28:38	何を対象にこの説明グループ 1 をターゲットに、対象としようとしてるのかってのがわかるようなキーワードにして、このそれぞれの
0:28:48	説明グループで言わんとすることがわかるように、整理をさせていただきます。
0:28:55	はい。
0:28:56	コサクです。それで言うとあれですか説明グループ 1 ワー

0:29:01	安保龍馬には書いてますけど、外部衝撃関係一式説明しますっていうこと。
0:29:09	はい、日本インダでございますはいええ、まあダイレクト言えばそうコモリ気がします。外部衝撃関係を説明しますが、説明グループ1、
0:29:22	内的事象関係を説明しますが説明グループに、
0:29:30	うん。
0:29:32	コサクです。
0:29:36	であれば少しそれを整理していただきたいんですけど、今言われたところグループ2はですねそういう表現では駄目で、
0:29:48	内的事象といえば火災もあるわけで、火災事故じゃないよってグループだよねっていうことがあるから、
0:29:56	そのあたり
0:30:01	どの関係を、
0:30:04	どの範囲の設備、説明するつもりなのかということ、もう少しちゃんと整理してわかるようにしていただかなきゃいけないんだらうと思ってます。
0:30:13	特に
0:30:20	となるべく
0:30:22	部、
0:30:24	防護対象施設という関係からすると、
0:30:29	溢水、
0:30:31	の関係に一通り入ってくるので、グループ2で、
0:30:36	入ってくるということではありつつも、火災防護の視点からわあ、じゃあこの部分でいえるんですか入れないんですかと。
0:30:46	ということで、グループ5でわあ、火災防護設備という対策設備系ですね。
0:30:55	ていうのはこっちでやりますよということだと思うんですけど防護対象設備等とも書いてある。
0:31:01	ので、
0:31:03	今、グループ2で質問形で行ったところはいやそこは外してこっちでやらせてくださいと。
0:31:08	というようなことのもあるんですけど。
0:31:11	一方で溢水のほうには消火水による云々とかっていうのもあって、その関係等を整理しますかっていうのもあるんですけど、その辺りってい。
0:31:20	どう。

0:31:21	ヒアリング推し進めていくつもりでしょうか。
0:31:31	はい、乳井西尾でございますはい。基本的に
0:31:38	防護対象設備のまず説明グループの2ですね、これはおっしゃっていただいたように内的的と言ってしまうと誤解を生じるので、
0:31:48	ターゲットは溢水化学薬品漏えいの条文関係を対象に説明をしようと思ってます。
0:31:55	その中で防護対象の関係が当然入ってくるのでそれに対して、
0:32:01	要求される条文というので火災についてはどうするかは今、現状は説明グループ後に飛ばそうと載ってました。火災としての設備の防護設計ですね。
0:32:16	これは結盟グループでやると。
0:32:19	ということで整理をしていますがおっしゃっていただいて消火性との関係まではすいません私が今説明できる状態になっていないので、整理をさせていただきます。はい。
0:32:32	はい。補足です。おそらくですねグループに関連条文には上げなきゃいけないんだろうと思います。
0:32:38	その上関連条文関連する、この部分だけは、
0:32:45	或いは枠としてですね、関連性のあるところの方針こういうふうにしますということまでは、そこで説明をするけども、
0:32:54	具体になってくるところは、切りはそれで、枠で切り離しができるので、グループ側で具体的にやって生かす。
0:33:03	期待ですと。
0:33:04	というようなことなんじゃないかなと思うんですね。MOXもグループ1の中でそういうことでグループさんなり、
0:33:11	グループ2なりさんなりと、
0:33:13	主に3かな、振ってるところがあったと思いますので、そういった整理をしっかりとってください。昨日のヒアリングでも少し、関連条文のピックアップの仕方なりで、課題が出てたと思いますので、
0:33:27	作業を進めていただければと思います。
0:33:32	もう1点今の話にも繋がるんですけど、これまで分類を整理する際に、外的事象内的事象とかっていうので、
0:33:43	ブレインストーミングの関係での図上図上ずつつうんですかね、書いてましたけど、
0:33:52	最終的に分類名を言うときに、
0:33:56	いちいち外的事象何とかっていう必要があるのかと思うんですよ。

0:34:02	例えばグループ 1 脳外的事象対策設備と言ったら、
0:34:07	これ別に竜巻防護の対策設備だけじゃなくてですね、避雷針だって、外的事象の対策設備じゃないかみたいと思うんですけど。
0:34:17	その説明って、じゃあどうしてますかみたいなどころまだ何にも話してないんですけど、どうなってます。
0:34:28	はい、乳井西田でございます。はい。現状は、防護対象とこれは前からある話ですね、防護対象等に入っている建物構築。
0:34:39	物の関係での避雷設備としての防護設計、そういうのを、その分類の中に入れて外的事象全般の説明の中での一部として、
0:34:52	取り扱うと思っておりますが、それを対策設備と呼ばないで、ネットと防護盤だけを対策設備というんですかってのは竜巻でも他の案件であった話と全く同じかと思っておりますので、
0:35:05	名称の付け方も含めてまだ整理が必要かというふうには 20、
0:35:11	はい、古作です。
0:35:15	分類として最終的にこう読みますと言ったらですね、それで
0:35:21	現状だと、20 も 30 もあるわけじゃないので、ちゃんと特徴がわかる。
0:35:28	用語で整理をしてくれれば、端的にそれを言ってくれればいいと思いますので、中途半端な表現をあちこちで作る必要はないかなというふうに思っています。
0:35:40	特に対策設備はそれで整理ができるでしょうから、内的外的と言わずということだと思っております。
0:35:49	対象設備の方は、先ほど言ったように
0:35:54	綺麗にここです。
0:35:56	完全にその設備はこっち側で、
0:35:59	残りはこっち側でっていうふうにいえるもんでもないような気がするので、
0:36:07	MOXの方でも括弧書きで、この関係はグループ何番でとかっていうふうを書いてあったと思っておりますので、
0:36:15	そういったところの関係性を整理していただければと思います。
0:36:20	で、となると共通事項の話にもなってくるのでちょっと先走っちゃうかなと思ったんですけど、早めに言って頭を、
0:36:30	まわしといってもらわないとヒアリングでも結局議論できないかなと思ったのでお伝えしました。
0:36:38	はい、乳井志田でございますはい、ありがとうございます。はい。
0:36:41	MOX御説明グループの整理のときもおっしゃっていて、大分苦労して、

0:36:48	抜け漏れがないように各、ある程度まとめられるものはまとめてということでやってましたのでそういったことがわかるような結果を示さないといけないと思ってますので、はい、ありがとうございました。
0:37:06	古作です。1 ポツは私も異常なのです。というか
0:37:14	何、何も言えない状態なので次回やりましょうねってことなんですけど、ちょっと日報IIを涌井内容に行く前 2、
0:37:24	現状で前回の進め方日やあでのコメント対応しましたっていうふうに言われたんですけど、
0:37:33	2 ページ全くイメージ違うんですね。
0:37:38	なんで、何でしょう、0. 何でしたっけ。
0:37:46	引用どこに書いてある。
0:37:52	全然わかんない。
0:37:56	アベ無限の分でございます。すいません。本文から集まってアノと飛ばして育成とバスの機械じゃないですけど、別添 2 の 5 ページのところからですね、
0:38:07	ちょっとイメージが思ってたのと違うということでおっしゃっていただいたんだと思うんですけど、ちょっとすいませんちょっと私の認識とずれたということなんでちょっとニシカワさせていただく必要があるかと思えます。
0:38:21	補足です。
0:38:25	2 ページだけを見ると前回と変わらないじゃねえかみたいに見えるわけですよ。
0:38:30	こんな項目ごとバラバラバラバラで日付が入れ子になるようにいっぱい書かれても、全体の流れてのがわかんないから、
0:38:38	そういう意味では、今週はこういうことをやりたいです来週はこういうことをやりたいです。
0:38:45	なり医師 1 ヶ月後にはこういう状態にしていきたい、2 ヶ月後にはこういう状況にしていきたい。
0:38:54	というようなこと中長期わかるようにしろと言ってたはずなんですけど、
0:38:59	これで何がわかるんですか。
0:39:01	元ノモトでございます。すいません。私椎野、すいませんちょっと理解がおそらくおよんでなかったんだと思います。そうすると、すいません。江藤。
0:39:11	どういうふうにやると、ここをですね、衛藤渡薬局と言いますか、ちゃんと共通の認識取れる資料になるかという観点で申し上げますと、ここ

0:39:23	時系列で、当面の実施希望それから、藤小なんかね、当時系列ごとに、ここまでが達成できるここまでが達成できるとそういうふうな、
0:39:38	作り、をおっしゃっていただいてたっていうその認識でしょうか。
0:39:44	古作です。達成できるっていうのを言うのかどうかはちょっとわかりませんが、
0:39:49	1度大枠そういうつもりで書いてみたらいいんじゃないですかね。
0:39:54	はい。出野でございますもう少し認識させるためにすいませんちょっとやりとりさせていただきたいんですけれども、このマークとしては検討の全体像として全体のシナリオがまずトップにあって、
0:40:08	それから、今2本項目に対して検討してるっていう、この枠組みは共通認識を進めているのだというふうに思いますからこの1+4の5項目というのが、一番トップになってそれぞれがどういうしてさ。
0:40:23	すいませんけど。
0:40:25	はい。
0:40:27	駄目です。
0:40:28	違いますか。はい。
0:40:31	5項目と何とかじゃなくて、全体としてどう進めるんだと聞いているので、
0:40:36	はい。
0:40:38	全体を見てください。Steeringチームを俯瞰して見てもらわないとお話にならない。
0:40:44	原電の牟田でございます。すいません結構しっかり受けたところで申しわけないんですけれども、全体俯瞰してということだ。今全体の我々の検討が、
0:40:55	この5項目の頭の整理で、タスクを整理していくんやという認識で。だから、そこに分けてとかって言ってる時点でもう駄目だって言ってる。
0:41:06	当然ですよ。ですけど進め方費やで、耐震批判をしようとしてるわけじゃないんだから。
0:41:15	うん。
0:41:16	全体としてはどういうふうに耐震を進めるつもりなのか、竜巻水とはどういう関係になるのかと。
0:41:22	というようなことの話をする場所なんであって、耐震部屋じゃないんですよ。
0:41:27	だったらもうノモトさんでなくくださいよ。
0:41:30	失礼いたしました。

0:41:33	田井新屋でやればいいですよ。
0:41:36	はい。耐震は持ってませんから。
0:41:39	カミデとやってくださいよ。
0:41:43	すいません、えっとですねそうするとここで何を書くべきか私また、ちょっと今ひとつですね、追いつけていなくて大変それは申し訳ないんですけども、古作ですけど、
0:41:54	1 ページと平仄合わせろって言ってんじゃないですか。
0:41:58	ないとは思わないんですか。
0:42:03	元の手応え、じゃあ、高谷さんこれ平仄が合ってると思います。
0:42:10	もうそこは別途どうなんですよ、これ。
0:42:14	はい、高屋でございます。個別の項目が書いてあるという関係で、予測は合っているとは言えないかなと考えております。
0:42:26	あれ、今日決得さんって出てる。
0:42:28	はい瀬谷です。衛藤コサクさんもおっしゃってるのは、ちょっと私は私の理解をちょっと確認させていただくと、2 ポツのところですけども、日本一の話というのはこの、
0:42:39	日本篠原自体はまさに別添に持っていく話であって、ここは、今週、来週、1ヶ月後というのが、どういう姿でなっていくかまだ、すいません共通中との絡みというところまでは多分、
0:42:53	地盤は多分進まないんですけども、金の進め方のところだけを書いて、詳細なこの4市の状況というものを別添2へ整理するというのが、
0:43:06	今おっしゃっていただいている内容かなと思っております。違ってたらまた教えてください。以上です。
0:43:12	はい、古作ですそれでいいんですけど。
0:43:17	決得さんに聞いたかったのは、今私がそう言ったからそうなったっていうこと感じになって、何でSteeringチーム間で、前回のヒアリングを踏まえて、
0:43:28	これで本当にいいのかと、こういうふうにした方がいいんじゃないのかって話ができないんですか。
0:43:34	はい。おっしゃっていただいている横のコミュニケーションってのは私から取るというときながら、まだ十分とれてないところがありますので
0:43:43	特にですね共通中に、青田津野キシノところは少しシハラデータでまとめてもらっているところもございまして、要素平仄的にはまだ

0:43:55	対応方針の平仄まで合っていないような状況ですので、ここ、不十分な状況だと思ってます。また、地盤の方に行きますとまたその共通中に絡みとか全く違う。
0:44:07	ところで日本の例で話してることもあるんですけども、そういうような状態になってるのでですね、せめて我々、現年等級と、
0:44:17	という関係ではそこを合わせていかないと、トーンが取れないと思いますので進めさせていただきたいと思います。以上です。
0:44:25	はい、補足ですよろしくお願ひします。で、先ほど大賀からもありましたけど、審査会合に向けてどうするつもりなんだっていうのが、
0:44:38	特に10月11月2月、その先とありまして、そういう話はこれまでもさんざんしているところですけど、
0:44:48	1歩IIよりもまして、2ポツが、議論としては中心なのにもかかわらず、
0:44:58	このページでの話は最後の数量分ぐらいがポイントです今日しかないからもうお話にならないところではあるんですけど、全くこれ会合で層位もう今年中にこうシマしたいと思ってますみたいなのが、何もないじゃないですか。
0:45:15	全然こちらのスケジュールイメージと合っていないような気がするんですけど、何考えてんですか。
0:45:22	はい。すいません書ききれてないというかちゃんと我々の考えがまとまっていないというのが実態でございますので、10月はですね着地盤の話の西ヒガシの話、できる限りのところを載せていきたいと。
0:45:37	ただそれはまだ決定ではなくて、残り分は11月、またボーリングの結果が出始めるのがまた12月で始めますので、12月とかにはボーリングの結果の一部なんかを入れて1月には、地盤として確定したとこういう大きな流れを持っていますのでその辺のところを、入れていないと。
0:45:54	いう状況ですのでもう少し議論してこういう進め方でいきたいという我々の考え方をここに表したいと思います。以上です。
0:46:03	はい、古作です。そうする等、あくまで途中経過なので、会合の前にヒアリングをそんなにやらなくても、
0:46:12	勘弁してくださいということ
0:46:17	整理をされてるってということなんですかね。
0:46:20	現状(2)D60と2回分けてるのは、物量感が多いので1日じゃちよつと全部なめらんないでしょっていうことで分けてるだけっていいことですか。

0:46:32	その通りその物量、物流間が多いので分けてるだけですので10月の会合はもう途中経過でしかありえないと思っておりますので、勘弁してくれというのは我々から言う話ではないですけどもそのような状況になるうかと思ってます。以上です。
0:46:47	はい。コサクです状況認識はわかりました。じゃ、耐震班、2歩詰まっちゃっていいですかね。耐震をお願いします。
0:46:58	はい。カミデです。
0:47:01	何かもうあまり話すこともなくなっちゃったんですけど、
0:47:04	どうしようかな、何か西側がうまくいってないと言いつつも、資料はとにかく29に出すんだみたいな話。
0:47:14	だったんですけど、それって、何かその292資料出さなきゃみたいなところって何かあるんですか。
0:47:23	いや、そうでございます。これはですね前か飯野、ヒアリングでも少しやりとりさせていただいた中で、全部がそろそろまで、これ、ずるずると遅れ、
0:47:36	じゃなくてできたところから、ちょっと確認していった方が効率的じゃないかと、というようなお話しもアノさしていただいていたかと思っていて、そうするならば、今ですねこれ、つけジュールおり即している西側、
0:47:53	いいですね、合わせておくらせるんじゃないかって結果が出ている東側ですとか、そういうところの変更してお出しすることが可能ではないかというふうに考えてこういうご提案をしたということでございます。以上でございます。
0:48:11	規制庁深見です。29年前には何も終わらないから、
0:48:16	最速で29になっちゃうんだと、そういうことなの。
0:48:21	玄野本でございます。はい。おっしゃる通りです。
0:48:27	はい。規制庁神ですそういうなら、マンパワーの関係でそうなのかなと思いましたが。はい。29。
0:48:35	はい。
0:48:36	あと2ポツ、いやさっきの話なんですけど私もこれ三木の見で、あれなんか全然イメージ違うなと思って。
0:48:47	前回の文字起こしの後見ると、ちゃんと1ポツと平仄を合わせてくださいねと言っているのが残ってるんです。で、
0:48:58	何でそれチェックして、あれなんかこないだこんなこと言われたけど、あの日を使ってるか、自分で見る、もしくは誰かに見てもらうってならないんですかね。

0:49:08	2年ノモトでございますこれはちょっと反省の弁として、お聞きいただければと思うんですけれども。
0:49:16	私教職合わせてというふうにおっしゃっているのか2ポツ前回ですね非常に滝新居といいますか、こうも食うが細かいことをちょっと書き過ぎておつたと。
0:49:29	というようなところがあって、1ポツのもう少し簡潔な形に平仄を当ててと言われたというふうに私は誤解しておりました。それでちょっとこういう形になって、
0:49:40	決まったと言う事でちょっと反省させていただければと思います。以上でございます。
0:49:46	はい。規制庁亀井です私からあんまり言うことでもないような気がしますけど、何か感覚的には、簡単についていう。
0:49:56	メッシュがですね、我々とちょっと能登さんの方が細かい、細かい目に書いてあってもまだ簡潔だと言われているような気もするのでその辺は、
0:50:06	な中で、他の人の目でも見てもらってということが大事なんだと思うので、ちょっと心がけていったら、ちゃう。
0:50:16	はい。ありがとうございます。承知いたしました。
0:50:21	はい。須藤市岡です。あと5ページ目、あと6ページ目が、5ページ目に飛ばしましたと言っているのもその6ページ目の進捗特記事項というのがまた何だよって感じですね。
0:50:36	これも
0:50:38	何だろう。
0:50:40	本来マージされるべき6ページの進捗時っていうのは、減衰のところの話ですから、5ページ目の(4)のところに、マージされているべきなんですよ。それを、
0:50:53	せずに、ただただ後ろに付けておられると、非常に資料としても読みにくいし、今何やってるのかどこまで終わってんのか、これから何するのかっていうのが、
0:51:03	わからないんできちんと
0:51:07	A3、4ポツの(4)の中にきちんと表現するようにして欲しいんですけどできますか。
0:51:14	いやノモトでございます。承知いたしました。ここちょっと字を流しながらコガオカアトベミイが書いてしまったんですけれども確かおっしゃる通り、
0:51:25	ええとを考えたと思います。以上でございます。

0:51:30	はい、規制庁神里私から最後にしますけど、6 ページの、その進捗特記の 1 ポツの三つ目の○ですね下線引いてますけど、ここに書いてあるのかよくわからない。
0:51:43	ですねこれは何が説明したいんですか。
0:51:48	元の方でございます。6 ページ目の 1 ポツのポチ三つ目ですね。
0:51:54	今おっしゃったカッチ資料反映にあたっては、
0:51:58	えっとですね、これはですね前回のヒアリングでのやりとりで、ここですね白前に当たってこういうですね西側と東側での、
0:52:11	再同定解析を中央との差分っていうのはちゃんとわかるように、これは説明する
0:52:19	けども、いただいておりますのでこれを記載するというのがすいません、Commissionやるということはそういう意味ではいただいたようにそのミッションのところに書くべきところというところでもありますのでちょっと整理が悪いんですけども、
0:52:32	それを、この中でもですね、
0:52:35	反映して究明しておこうという思いで僕は書いております。以上でございます。
0:52:44	と、規制庁高見です。今話されたことと、文章が全然マッチしてないような感じがまずするのと、
0:52:52	あとはその何だろう。
0:52:55	普通のことを言っていて、中央も西もヒガシも、基本的にはおんなじやり方でやってるんですね。やってることをきちんと書いてください。何でそういうふうに行ったんですかとか、
0:53:07	ちゃんと書いてくださいって言ってちゃんと書き下すと、自然とその差分があるんだったら、見えてくるはずなんです。なんで、
0:53:16	やっぱり前も言いましたけど最初から中央はこうします西若生しましたヒガシはこうしましたってわけじゃなくて、みんな一緒に検討が始まるはずなんで、同じ書き下してくださいねっていうだけですからその辺は、
0:53:29	認識いただければと思います。
0:53:33	元ノモトでございます。はい。同じ認識であって、この表現が悪いだけだということを、私は今、理解したつもりでおります。
0:53:45	で、その同じプロセスに従って、西ヒガシ級をですね、とてかける際に、その同じその考え方に沿って、異なる、何か

0:53:58	手本を設けたということであればそれは自然に出てくるべきものであって、それがどういう、それぞれどういうふうなプロセスをたどって、こういうふうな結果になったのかというのがそれぞれちゃんとアノを追えるように記載すると。
0:54:10	よかったかというふうに思いますので、今おっしゃっていただいているところ認識と、同じ方法で我々は知れてるかなというふうには思って、この点が悪いのは、
0:54:19	以上でございます。
0:54:23	はい。規制庁管です。
0:54:26	とりあえず私からは以上です次の時には、2ポツの書き方もあり、黙って、当面何をするのかあとは、ちょっと中長期的な戦略的なものが書かれ、
0:54:39	5ページ、6ページのところはまとめて書かれてということになると思ってますので、今日のところは、
0:54:49	私の方から以上です。
0:54:54	院長の岸野です。
0:54:56	お話に関連して、
0:55:04	規制庁の金です。
0:55:06	今の話に関連したんですけども、
0:55:09	スケジュールルールに関して東野西が重要に比べると、大分てこずって遅れが生じていて、ヒガシについては今週あたりですかねめどが立つのかもしれないけど、西ヤマダちょっとわかんないっていう状況なんですけど。
0:55:25	中央に比べて東西井がこんなになかなかうまくいかないっていう要因ってのはもうある程度、同時に検討されているのか。
0:55:34	それともまだそこちょっと目先の作業に手一杯でそこまでは手が回らないとかその辺り、どういう状況なのか教えてもらえますか。
0:55:43	榎本でございます。少しお答えになってるかどうかわかんないんですけども、ですね2ヒガシの方については喘息貫通。
0:55:52	いいですね、ちょっとアノを合わせていくという点で、以前からですね少しアイザワ類といったようなところを改善するといったようなことをやっているところでございますので、同定をですね一度書き直してみたところ
0:56:08	でき、IIクール目ですかね、比較的良好に出てきたような予算にたどり着きつつあるんだけれどもニシダはそちらまでまだ行っていないと。

0:56:19	いったようなちょっと状況にあって、ニシカワまた会おう、これから続けていきたいというところでございます。
0:56:26	すいません。お答えになっておりました評価通知の岸ですそうですね。お聞きしたようなそういうことではちょっとなくて、
0:56:35	なぜそういう差分が出てるのかっていうところなんですね。多分同定するのはトライアンドエラーのところもあるので、一発2月早々なかなかうまくいかないんじゃないかなっていう雰囲気は
0:56:47	私も感じ取ってはいるんですけども、そうは言っても中央が大体6.7ぐらいですっていうのを6月ぐらいの時点で示していたのに比べて、
0:56:58	西ヒガシってのはそこから大分遅れをとってるような状況で単になかなかやってただけどうまくいかないやっというような状況でもないのかなという気もしているんですね。
0:57:08	例えばそれは地震観測。
0:57:11	こうも違うわけで、観測の特徴とか観測データの特徴によるものなのか、観測孔周辺のその地盤状況を反映した結果うまくいかないのかとか多分そういったいろんな要因があるんじゃないかなと思うんですが、
0:57:25	そこら辺の要因分析ってのは、今のお話を聞くと、まだそこまではちょっと分析には至ってないっていうそういう状況と理解しとけばいいんですかね。
0:57:35	日本原燃の藤でございます。伝達活動再現できていない要因に、最近カクウ
0:57:41	といたしますか、うまくいっていないというのが何人、良い、投棄してるのかというお問い合わせかと思っておりますけれども、まずちょっと私からお答えできる人的な能力。
0:57:55	はい。はい。その答えを今この場で求めているのではなくて一応進め方の確認の中で、そういった検討も同時に進めているのかそれともまだ手をつけてなくて今後やる予定なのかといったそういった、
0:58:07	先ほどの見通しを教えていただければと思うんですがいかがですか。
0:58:12	はい、承知いたしました。
0:58:14	確認いたします。ちょっと答えのあれですね。
0:58:18	またこれ、そ、そういうところ
0:58:25	の業務部長の盛です。はい。
0:58:27	ありがとうございます。多分想定してなかったことなんで、なかなかお答えできないんだと思いますので、今すぐ答えられなくてもいい。

0:58:36	だと思っんですけれども、10、逆にですね東西はこんなに苦しんでですね、何らか結果出るのかもしないんだけど、だとするとなんか早々に出てきた中央の辺りってどう大丈夫だったのっていうところにもなるかと思っしますので、
0:58:51	中央で中央と東西の違いが、こういうところにあつてその結果東西は苦しんだんだというところもですね、後日やっぱりセットで説明いただかないと、中央の信頼性とも揺らぐかなつていうところもありますのでそれを踏まえてですね、
0:59:06	今後説明できるスケジュールをご検討いただければと思っますが、理解できますでしょうか。
0:59:12	現状でございます。はい。大変よくわかります。
0:59:20	はい。
0:59:21	します。
0:59:24	付則ですけど、
0:59:26	先ほどの、
0:59:28	カミデの話等、キシノの話は同じことだと思っんですけど、
0:59:36	西側東側で何かいろいろと検討してるよねと。
0:59:40	ところが、
0:59:44	分析作業のプロセスなり、方針、
0:59:49	評価方針といったところにぶれが生じてないのかと。
0:59:54	というようなことで、中央も含めて全体のこのタスクっていうのはどうなつていくのかと。
1:00:00	うん。いうことをちゃんと認識してやつてるのか。
1:00:05	当然そういつて分析して提示されるんだよねつてただ聞いているだけだつたはずなんですよ。
1:00:11	それを下がつたら説明しますつていうだけの表面づらのタスクと思っ込んでいたり、
1:00:18	大本のそういう分析が必要だということをキャッチしていなかったりと。
1:00:24	いうことで、ヒアリングで
1:00:29	論点になつたところのキャッチの仕方つていうのが非常に甘いと。
1:00:34	いうことだと思っます。
1:00:38	前からあるように、ノモトさんこの部分の専門家じゃないということで、
1:00:46	難しいところはあるんだと思っますけど、私だつて専門家じゃなくて、

1:00:51	でも耐震班のちよろちよろ話してるのを聞いたらそういうことだっていうのは、
1:00:56	私別に説明を受けてないんですけど。
1:00:59	すぐにわかりますよ。
1:01:02	なので専門家じゃないんでっていう言い訳は聞かないのでSteeringチームとしては、
1:01:08	ちゃんとどういうことなのかっていうのを確認をし、話を進めていくということが必要だと思います。
1:01:17	これまで原燃の耐震の対応の人たちの行動様式としては、今申し上げたように、
1:01:28	極小化をする焙焼歪曲的にとらえると、
1:01:32	いうことで自分の都合のいいところ、できるところに限定させるということがお得意なんで、
1:01:39	それに乗かってああそうなんだと思い込んでいるのではSteeringチームの作業はできません。
1:01:46	いうことで、よろしく願います。
1:01:50	原因のことです。ありがとうございます。はい。おっしゃっていただいた認識ですね私もそれは同じに引き継ぎますかちゃんと持たねばならんという意識は、もう1つやってるつもりでございますけれども、ちょっとすいません。戸井田のところ反省して参ります。
1:02:07	以上でございます。
1:02:15	店長山崎。
1:02:25	の話ですね。
1:02:29	セガワ説明。
1:02:31	願います。
1:02:48	全然聞こえてますか。
1:02:51	はい、宮城西原でございます。一応言います。はい。
1:02:57	ちょっと時間ももらったらいんですけど私がまだ全然頭の整理ができない。どうやろうかと思ってたところ、あ、はい。すいません。はい。
1:03:05	どうしようかな。
1:03:12	補足です。
1:03:15	昨日少し話を昨日溢水でしたけど竜巻を見ながら、少し話をさせていただいて、その話をした直後ぐらいに、共通12がもう出していただいて、
1:03:32	さらに共通12MOX側も、

1:03:37	出てきたと、ということなので、その辺りも見ながら、全体どうしていけばいいのかということだと思うんですけど、
1:03:46	フォーマット的な話を言うと、
1:03:50	ちょっとここ細かく分け過ぎましたよねっていうのは、やはりその内容的に集約をさせると。
1:03:58	ということと、
1:04:00	というのも、①②ってしてあるものが間に入ってきちゃうとかっていうような、タスクの整理ではなくて、大枠、
1:04:10	ある意味あれですね説明ロジックのようなところで、
1:04:14	必要なプロセスをということにすれば、間に入ってくるのではなくてその中で随時拡充していくということになるだろうと。
1:04:26	いうところはいいですよ。はい、吉田でございますありがとうございます。今日中に
1:04:33	対応方針を出させていただいたときの修正の趣旨はそういうことでございます丸でつけた番号の項目、これをある程度大枠のロジックの中の柱みたいなものにしとけば、
1:04:44	あまりこの間に入り込むことはないだろうということで、そういう種単位でまとめて整理をしたということでございます。
1:04:52	はい、古作です。その時2、小見出しなりなんなりという話を昨日しましたけど、共通12、MOXを見ると、
1:05:03	最小行に丸を振って書いていっていると。
1:05:09	ということで、も複数の1ポツに丸2でいうと、その中で小項目として
1:05:18	括弧書きで見込み出しを書いていると。
1:05:22	いう例があるんですけど、
1:05:25	大枠こんな感じ。
1:05:27	でやっていくイメージでいいですか。はい、宮城西原でございますはい。ちょっとバラバラと同時並行的にやってこの様は一応共有はしてたんですけど、
1:05:40	追従、そういう感じはなかったですけど考えていたのはこういう形で大枠の軸にあるものを丸D項目を書いてそれ単位で丸番号つけてやるということと、
1:05:52	小項目みたいなものはその内数で括弧書きで、
1:05:57	ある程度まとまりでまたこれも項目出しをして展開をしていくというイメージで考えてました。はい。
1:06:04	はい。補足です。MOXの方も1ポツ1の①ってのが非常に、

1:06:12	アライでしかも別途提示ってなって、
1:06:17	ますけど、
1:06:20	これは、そもそも1ポツ1が建物構築物1ポツに書き耐震と分かれていますので、
1:06:28	何でこの和気が出てきたんだっけっていうこともよくわからないんですけど。
1:06:34	何でしたっけ。
1:06:40	はい、日本インダでございます。そこはすみません、私が最後まで手がつけられなかったところで、これ正直ですね、1ポツ一位をこの説明グループ1画項目スミエてるのもおかしい形で、
1:06:53	もともと
1:06:56	共通要因を説明する中で、3章で今後出てくる建物構築物のところへの変更点としての耐震上の設計っていうのを、
1:07:07	変更点を漏れなく、ちゃんとやらないとねっていうやりとりがあったところを、どこにも行き先がなくて今ここに書いてしまったところが多分、中途半端な枠組みができ上がったなというふうに思ってます。
1:07:19	本来であれば、耐震の枠でいくと説明グループであれば、一定の中身が多分対象になるのかなと思いますけど、であれば再処理側での、
1:07:31	タスクとしてあげない何か別の考え方を整理しておかないといけないというふうに思っております。
1:07:38	はい。補足です。
1:07:42	そうですね。
1:07:44	ええ。
1:07:45	ちょっと整理を考えていただければと思います。
1:07:51	加えてですね1ポツ2のルーに、
1:07:57	被災フォーマット先ほどお話ししましたけど、これはこれで良くないなと思ってて、
1:08:04	結局ただ、束ねただけで、
1:08:09	例示が書いてあるわけなんですよ。
1:08:12	本来ここって何坪や、何をやらなきゃいけないつもりなのっていう共通の方針がないんですよね。
1:08:20	どうなってます。
1:08:22	はい、二本木西田でございますはい。まずはおっしゃっていただいている通りです。はい。

1:08:30	① で書いているような全体としてこの項目でやるべきことの方針をまず書いた上で、個別の備忘録じゃないですけど作業方針として、例えばいいことを書くと。
1:08:43	というのが、本来、やるべきこと、そのための小項目の丸でありだと思うので、まず丸の後に何も文章がないっていう時点でもう駄目だと思ってますのでそこを整理して、方針としてはちゃんと立てると。
1:09:00	いうことをさせていただきますはい。
1:09:02	はい。補足です。これ何かっていう等これまでのヒアリングで、表か一ものから、設計として考えなきゃいけないところを抽出しましょうと。
1:09:15	言っていた花Cのアウトプットがここに入ってるっていうことだと思うので、そのアウトプット全部ここに書く必要もなくて、
1:09:27	明日、そのときに整理した資料を呼び込むなどして反映していきますとかでいいんじゃないかなってありますけど、それで言うと、
1:09:38	そもそもこの丸の書き方もよくなって、
1:09:43	共通 12 の本体側でせ、
1:09:47	系統、
1:09:49	評価の関係っていうのをどういうふうに記載してたかと。
1:09:56	いう。
1:09:57	ゴトウでいうと、
1:10:05	止まるんと。
1:10:08	1 ポツ 1 のう。
1:10:11	丸さん。
1:10:14	野中なのカー。
1:10:17	④なのか。
1:10:19	はい。すいませんまずここはですね、整理が中途半端なところは、
1:10:26	ユフでも気づいていて、
1:10:28	本当は④番と③番の間にですねその会解析値釜解析評価のことを考えながら構造設計として配慮しなきゃいけないものっていうのを、
1:10:38	設計として展開するっていう、一つの
1:10:42	論点があったので、それを挙げて、そこに書かなきゃいけないところを今、中途半端に④番の例えばポツが幾つかありますけどポツの一番最後に分散してみたり、
1:10:55	② のところに堀丸さんの中に放り込んでみたりしているので、その仕分けがまだできてないのは、市としてます。はい。
1:11:05	はい、保坂です。

1:11:09	そのあたりを、
1:11:11	何ですかね、設計説明分類の前にやらなきゃいけないタスクと思うのか。
1:11:22	資料 3、4 を作るにあたっての抜け漏れのない対応という、
1:11:28	フェーズにするということなのかっていうこととような気もしますが、いずれにしても、竜巻水でも議論をしている。
1:11:39	ものなので、しっかりと体系整理をしないと、竜巻水の受けっていうのも安定しないんじゃないかなと。
1:11:47	思いますのでよろしくお願いします。
1:11:51	はい。与儀西田でございますはい。承知いたしましたはい。まさしくそこが大事な資料の中での整理としても大事なポイント。そこへ抜けがないようにということと、
1:12:07	そういう意味では、評価を踏まえて、設計の中で考慮しなきゃいけないことってのもありますし、基本設計方針からの展開として、
1:12:17	いきなり評価っていうのが本当に設計ないのかみたいなどの抜け漏れがないような整理っていうのもありますんでそういうことが
1:12:27	ちゃんと論点であり、整理の大項目としてわかるように、整理をさせていただき、
1:12:35	はい、古作ですよろしくお願いします。で、
1:12:41	MOXの方では今話したのは、他のタスクとの関係性のところ今の④を引用、引用というリンクを張られているということなので、まず
1:12:54	共通中に全体の方を整理したらそれもまた修正をされてということだと思んですけど。
1:13:01	まだそこが安定してないの竜巻溢水も含めてですね、その点の
1:13:09	議論をここやっていったナカお互いリンクを貼って、
1:13:15	トータルとしてじゃあどうやっていきましょうかという話を、
1:13:19	進めていければいいのかなと思うんですけど、ボックスでもうすでに話をしてるようなところっていうのが、どちらかというと、先行例で一番具体的に書かれてるなと思うんですが、
1:13:33	このあたり、
1:13:36	例えば溢水では
1:13:39	SEDについて、竜巻を先行でというような話をされてましたけど、
1:13:45	設計評価の関係はどういうふうに、
1:13:49	進めてく予定なんでしたっけ。
1:13:57	ああいう意味ではございます。

1:14:01	それも今、先ほどの共同事業本体で、論点である項目を挙げてどこのタスクでそれを拾ってやるかということで、
1:14:12	もともとは溢水の中でその整理をして一斉のタックスのあれそれを整理をして、
1:14:19	設計と評価の切り分けっていうんすかね仕分けのところをやろうと思ってました。そこを、
1:14:28	今はちょっと昨日のやりとりも踏まえて考えると、
1:14:36	共通中に本体側でそのケアも含めてやる必要があるんじゃないかなと思っているところもあって、項目を立てた上で、そこで整理を、
1:14:46	していこうかというところをあと⑤番も、共通に本体の⑤番も今、完全に竜巻溢水側に振る形になってますけど、
1:14:58	これはもう昨日までのやりとりを踏まえて当方本当にそれで進むのかということも含めて、どうノダ則でやるかという整理をちょっと検討させていただきたいなと思ってたところでした。
1:15:13	はい、古作です。わかりました。そこがやはりポイントそれは整理されていないと、結局、最初に戻ると進め方部屋の最初の、
1:15:23	会計っていうところが、話ができないんじゃないのかな、認識共有ができないんじゃないかなということだと思いますので、整理をしてください。
1:15:33	で、
1:15:35	最終的には共通中に本体仕上げていって、こういう
1:15:42	対応方針というタスクというよりは、共通中に本体で作業内容が明確化され、それに従って個々の作業をしていくと。
1:15:54	いうことに収束する形になるんだろうと思ってます。現状では並行していろいろとやっていくっていうことなので、タスクとの関連ということで相互に見ながらと。
1:16:08	いうことでまあいいかなと思うんですけど、最終的には共通中に落とし込んでいくと。
1:16:13	いうことを念頭に、それ、最終的に共通中に入れ込んだときにですね、他で先行してやっていたものも、
1:16:23	再度確認して、最終的な整理に合っているのかどうかと。
1:16:29	いうのはアノか、確認し適宜反映していくということをしていただければと思います。
1:16:37	はい、乳井の石田でございます。はい、承知いたしましたはい。おっしゃっていただいているように説明ボックスの説明グループ1の対応方針のところにも、

1:16:48	※で一番頭ですかね、書いてますけど各タスクでやったことが共通的な方針に反映が必要なものってのはちゃんと共通情報対話のタスクで拾い上げて、
1:17:00	本体としての整理をするということが必要だという認識をしております。加えて共通要因本体で、本部なり参考資料も含めた骨格としてどこまで整理をするかと。
1:17:14	ということと共通力の時でもありますね結局共通力作ったとき最初は大枠だけ変えて、個別は個別でと思いながら、最終的には記載方針的なものを個別の案件も全部、
1:17:27	共通努力の中で整理をしていたという経緯もありますので、そういうことも含めて、どこのタスクでどう整理するかというのを、
1:17:38	関係者で協議をしながら整理を進めていってその関係性がちゃんとわかるような、今後の進め方の説明というのを組み立てさせていただければと思います。以上です。
1:17:49	はい、古作ですよろしくお願いします。大分、
1:17:53	それぞれのタスクなり関連ということが、大議論が進んできたかなと思いますので、ようやく次のフェーズでまとめられれば、
1:18:05	理解のもと、この作業ということになるんじゃないのかなと期待をしています。よろしくお願いします。
1:18:13	ちょっと記載ぶりにはなりますけど、共通中に全体のほうの丸になり特に③ですけど、先ほども少し言いましたが個別具体を書き過ぎ、
1:18:25	方針が埋もれてしまっていると、いうことがあるので、個別具体、過去の資料なり、何らかペーパーがあればそれだけ十分ですし、
1:18:37	こういう認識をしてますっていうのが何点かあれば、あとはアウトプットを見て対応していければいいかなと思ってますので、
1:18:47	この資料からは、簡易的にしていただいて、現状書いてあるものを捨てるのはもったいないと思うので、社内管理の中で、
1:18:57	整理をしていただければ結構かと思います。
1:19:03	はい。日本原燃石田でございます。はい、ありがとうございます。承知いたしました。
1:19:14	古作です。全体の方で言うとその次、4 ページに 1 ポツになってるんですけど、
1:19:21	こちらの方は、確かに全体の
1:19:26	エース作業方針的な話ではなくて個別部隊なものが書かれているので、分かれるんだろうなとは思ってますけど。

1:19:35	一方で、これ共通中にさっさと或いは、例えば1ポツ2であれば、参考のところで
1:19:47	具体の記載。
1:19:49	の説明がちょっと書いてあれば、それでもう反映済みになって、
1:19:57	共通中に本体の作業っていう意味ではなくなり、小部II農場分対応の人たちの作業ということになってその人に引き継ぐと。
1:20:07	ということになりそうすると先ほど言ったように、このタスクとしてというよりは、共通中に本体での作業方針に従って実施するっていうごく普通の、
1:20:20	タスクになっていくと。
1:20:21	ということなのでここでリストアップする必要もなくなってくるっていう気がするんですけど。
1:20:26	どんなイメージでいますでしょうか。
1:20:30	はい。西田でございますはい。おっしゃっていただいている通りだと思います。ちょっと
1:20:39	特に一番先に何かもう資料として反映できていけば、タスクとして項目としての役割が終わって、資料として成立していけば、
1:20:50	というふうに思ってます。あとは先ほどの全体のタスクの流れMOX今説明グループ1でタスクをあげたりあと最初のやつをどうしようかって悩んでいたというところもあったのもあるんですけど、
1:21:05	現状立ち上げてるタスクが全部を拾い切れてれば、それはそれでおっしゃる通りな水かなと思いつながら穴があると困るので、ここに今置いているというのがあります。そこがちゃんと拾えてるかっていうチェックも含めて、
1:21:21	やらないといけないよという意味でフラグを立ててる場所はあるんですけど、とはいえ、受け側がそもそも受けてないとまたこれも意味がないところもあるのでその辺の整理を進めさせていただければと思ってました。
1:21:36	コサクです。おっしゃる通りですね。
1:21:38	そうすると、
1:21:40	はくうの方針が局所になっちゃってるっていうのが問題なんだろうね。
1:21:47	共通10人に本体に、作業方針をヒアリングでの事項を含めて反映するっていうタスクがまず1点あり。
1:21:59	それを個別に展開をして実施するというタスクがあり、それができているというチェック。
1:22:11	をして、ようやくここはクローズだったことですね。

1:22:15	はい、そうです。はい。はい。コサクです。そういう工程を示してあれば、
1:22:23	消えずに、残しておいて何か発生したら、追加対応項目が付記され、それについてはいつぐらいに対応しますと。
1:22:33	いうことでどの便で載せるかということが明確になっていくと、ということじゃないですか。
1:22:40	はい。ありがとうございますニシダでございますはい。承知いたしましたその辺のタスク間のリンクだったり義務づけですね。あとは、
1:22:49	各タック個別を走らしたときに、この資料 2 だったり資料 3 の中で、共通的にやるべきことが残った、出てきた時にここにもう 1 回戻して、
1:23:00	この中でまた、タスクの内訳として展開をしていってまた戻すというようなエントリーも多分発生すると思うので、そういうやりとりがうまくできるような仕組みにさせていただきます。はい。
1:23:15	はい。補足ですわかりました。
1:23:20	コサクですけど、一応よつつう。
1:23:24	方針を提示されて、
1:23:27	横並び等を見ながら、気になった点は
1:23:33	以上ですと言いながらちょっと付け加えると、
1:23:36	MOXの方は先ほど言った②と、
1:23:39	③ が同じようなことを書いているようでありつつ、妙に丸めを言葉を違うとして、
1:23:48	けど、
1:23:51	2 と③の違いは②はどちらかということ、設計上何らか考慮しなきゃいけないから、例えば資料 3 側でケアしないとねって言うてるものを、
1:24:02	丸さんそううまく分かれてるかどうかをもう 1 回確認しますが、どこかの設定で自分でも与えられて資料 4 で展開をするようなものっていうので、
1:24:15	仕分けをしていたつもりはあるんですけど、あとは頭の枕詞が全くないので、その辺の整理をしていきたいと、どっちみちはですね
1:24:25	設計として評価を考えながら考慮しなきゃいけないものはちゃんと設計として考えた上で、資料 3 の展開をなささい、ギブンで与えられるものは資料 3 塗りはしてるような条件として、
1:24:39	どこからその条件を持っていたかということを確認にして、所評価に使っていくというやりとりが大枠だと思っておりますので、そういうまず方針をちゃんと立てた上で、

1:24:51	それぞれ規制の中で何らか個別に配慮が必要なものがあれば変えていくと、あまり細かいことを書いてもあまり意味がないので資料1とバスの鷲尾鳥羽ていくと、ということかと思ってます。はい。
1:25:04	はい、古作です。その意味ではですね、②③④というのは、
1:25:11	この分けがいいのかどうかはさておき、対応としての類型をされてるといことだと思っんで、その類型は大事
1:25:22	先ほど言ったように、方針が書いてませんよねというところが、書いていたらおのずとこの類型で本当によかったかみたいなこともあって整理が進むんだと思います。
1:25:32	④もこれー
1:25:35	ポツで方針ぼく書いてますけど、
1:25:38	ちょっとずれているというか全体的な、
1:25:42	ここで言ってるものの全体を表す方針にもなってないので、
1:25:46	丸さんとかも含めてですね、改めて整理をしていただくと、
1:25:54	評価の対応状況から設計で考えてることありましたよね、各説明する必要ありますよねという抽出のやり方なり、
1:26:05	どう表すかということまである程度パターン化して、水ができるようになるんじゃないのかなと思いますのでよろしくお願いします。
1:26:17	はい。与儀ニシダでございます。はい、ありがとうございます。はい。この丸のタイトルの、
1:26:24	研究姿勢も含めてかつ方針をちゃんと展開をして、この分類が本当にこれでいいのかっていうのも含めて、整理を、
1:26:32	進めさせていただきますこれも結局、
1:26:36	耐震特化で書いてますが、共通的には別に評価関係制度の全般に同じことなので、小個別にどう設定するか、全体としてどうキャッチアップできるような、
1:26:47	項目立てをするかということも含めて整理をさせていただきます。
1:26:52	はい。補足です。これはMOX能が先頭として資料3を作業した結果で出てきているんですけど、
1:27:02	先ほどの話からする等方針を整理していったら今日通常に本体、
1:27:07	の方にフィードバックをし、竜巻水に展開をしていくということになるんだと思いますので、あわせて対応をお願いします。
1:27:18	はい、二本木西田でございますはい。承知しました。

1:27:26	古作です。で、一応これで四つの方針についていろいろとお話をさせていただいたということで、昨日ヒアリングでの話も踏まえて、どう進めていきますかということなんですけど、
1:27:41	確か昨日は、今日踏まえて方針示しますっていうことだったと思うんですけど、ここまでの話を踏まえて、何。
1:27:49	どうするかは、お話いただけますか。
1:27:56	はい、日本イシダでございますまず、対応方針としてどういうことを書くべきかの整理は、今の共通情報本体のところと、説明グループ1のボックスのやつを
1:28:12	中でまず、整理を速やかにしてそれを取水竜巻でやればこうなるよねというところまで紐付けをしてやりとりをしようと思ってます。それは全体のタスクの関係性ってのが、来週の
1:28:28	進め方で提示をさせていただくと書いていたところの整理が当然あった上での、そのリンクだったりの整理だと思うので、
1:28:40	対応方針の見直し版等、等全体のタスク間の義務づけっていうのをどう整理したかということも含めて、今後の進め方の来週の時にですね、
1:28:50	セットでお示しをさせていただければと思います。
1:29:07	えとコサクです。
1:29:10	全体としては来週の進め方っていうことだとすると、
1:29:18	現状書かれている20日の竜巻の対応方針っていうのはどうなったつけ。
1:29:28	新しい
1:29:36	ていうのは
1:29:38	来週の進め方金曜日って言ってるの前に、竜巻の方針をとと言われても、
1:29:46	はい、見直すんでしようっていう話があったりすると思うんですね。はい。
1:29:51	一方で事前の整理がっていうペーパーは出てきてて、
1:29:57	それはそれであってもいいかなと思うんですけどそれはヒアリング別ですか。
1:30:02	日本原燃車で、まずそこを私が言わなきゃいけないスケジュールに抜けがあってそこは対応方針だけではなくて、昨日出した資料もセットでやるつもりでした。
1:30:12	ので、ももとの予定から対応方針を抜いて、お出しをした個別の資料の方のヒアリングをやらしていただければというのがまず前提です。

1:30:22	かつ、日程は先ほど申し上げたイセ様の体調との関係で清アノ設定をさせていただくということと、
1:30:29	あと対応方針の方は、もうすでに昨日のやりとりも含めて見直しが必要ですので、来週の進め方2の部屋に向けて、全体の対応方針の作り方、
1:30:43	ここでどう書くべきことは何なんだということだったり、それぞれのタスク間の整理っていうのをどうして紐づけの結果はどう示したのかと、いうことも含めた
1:30:54	結果をですね、来週の進め方へヤノ。
1:30:58	中で説明をさせていただければというふうに思ってます。
1:31:02	はい、古作ですわかりましたよろしくお願いします。
1:31:08	山内です。進め方について岡市長側からございますでしょうか。
1:31:15	規制庁の藤原です。進め方のこのペーパーの内容とは違うんですけど。今日冒頭で参加者に1人新たな方が追加されたと思うんですが、
1:31:27	その方の関与ってどういう感じになるのか。
1:31:30	聞かせていただけたらと思うんですけど、いかがですか。
1:31:36	はい。はい。日本原燃決得でございます。ちょっと後程ごあいさつさせますけど、
1:31:42	関西電力からですねちょっとまた審査の応援で、ハセガワというのがメンバーに入っております一応、ヒアリングメンバーに入れてですね今後、規制庁さんとのやりとりと、
1:31:54	いうフロントサイドに立ちたいと考えてます。ただ、役割についてはですね今溢水火災の進み具合とか、共通12の状況なんかを踏まえてですね、今の分担でイクノ、今の分担でまた当たたらハセガワに新しい分担未達のか、
1:32:09	早々もしくはもう分担なんか見直しやるのかというのは、今内部で検討中でございましてまた改めて、もう少し私の考えとか、状況を踏まえて、
1:32:19	PR、ペアリングですでに含むとかいろいろな方策があらうかと思imasuのでその辺を踏まえてもう一度また、
1:32:28	ご提案さして、ご提案というかご報告させていただきたいと思imasu。まずはハセガワから挨拶させていただきます。
1:32:35	関西電力から来ました長谷川と申します。よろしくお願いいたします。私はですね高浜34号、高浜12号のですね、2の審査の際に、
1:32:48	こちら側でカミヤ町で駐在して購入の取りまとめをやったということと

1:32:55	規制庁山王とですね、関連の本体がを繋いで、間取り持ってたということ、ちょっとやってみました。また今回
1:33:03	どういった役割になるかちょっとわかんないですけども、また、
1:33:07	もらえますんでよろしく願いいたします。
1:33:11	以上です。
1:33:12	とコサクです。その意味ではケツクさんと通じるものがある。
1:33:19	だろうなと思いますけど
1:33:22	やはり石膏人として、
1:33:27	何をやるべきか、どこまで整理をして説明すべきかといったところの感覚がどうもずれてるなっていうのが、設問だけ許可の段階までだったんですけど、
1:33:39	あって非常に手間をとっているっていうのがこれまでの原燃の状況ですお聞きになってると思いますけど、その上、そのために
1:33:49	例えば、
1:33:51	書く上で 00、補足の 00 資料っていうのを作っていて、その中でも、別紙 1 だったり何なりで実用炉との比較っていうのをしながら、
1:34:02	説明が足りてるのかどうかっていうのを、検討し、その検討で、どう認識してるのかっていうのをこちらに説明していただいと。
1:34:12	いう状況なんですけど。
1:34:14	その作業をして、
1:34:18	した上であっても、やっぱり認識が薄い。
1:34:22	いや、設備が違うからいいんですってただ言う。
1:34:26	いやでも違うって言っても、こういう趣旨のものは同じ、同じようなものはあって、その点での説明の配慮が必要なんじゃないですかというのを、逐一こちらから言わないと反応しないという、
1:34:38	対応があったのでそんなんでは鉄工に何年たっても終わりませんよっていうことをお話をして、現時点に至ると。
1:34:48	いうところですので、実用炉での設工認の対応というのは非常に、
1:34:55	大事な試験なので、ぜひ生かしていただきたいということと、先ほど野本さんとも話しましたが、
1:35:02	こちらが言ってることの趣旨っていうのをキャッチするっていうのがとても大事。
1:35:06	して、それも取り持つ場におられたと。
1:35:11	ということで、よくご理解いただけてると思いますので、ご存知の通り私も実用炉の審査をよくやって、

1:35:22	いて、今うちの伴指摘してるようなことっていうのは実はでやってることと、
1:35:29	違いを持って対応するつもりはないので、実用炉での経験とかっていうのを踏まえた、
1:35:38	認識をしていただければそんなに外れることはないと思いますので、よろしくをお願いします。
1:35:44	はい。長谷川ですオザキさんお久しぶりです。
1:35:48	実用炉の時にですね仙台のトップバックアップ含めて、
1:35:53	共通 00 って言われてるその基準の適合性っていうんすかね。
1:35:58	そののと、今共通 12 でやってる。
1:36:02	あれですか設備の目線で適合性をちゃんと設計するっていう点と、何かやってること一緒になって私もちよっと思いながら、今現状把握してるっていう状況です。
1:36:14	上手くちよっとキャッチアップして、マネジメントしていきたいなと思ってますんで、よろしく願いいたします。
1:36:22	はい。コサクですよろしくお願いします。今 00 と共通 12 の関係って言われましたけど、おっしゃる通り 00 がちゃんと整理されてその認識を持って説明されてれば、
1:36:36	こんな活動しなくてもよかったんですけど、
1:36:39	残念ながら、それぞれがぶつ切りの作業という認識を原燃が持ってしまって、
1:36:46	いざ、添付書類の説明ってなると、またぶつ切り感を持って、建屋が違えば違う説明をすると。
1:36:54	というようなことがあったんですね。そういうことがないようにっていうので令和 2 年に対応方針こちら示したんですけどその意図を全く理解いただけなかったっていうことで、
1:37:05	特に第 2 回の申請、半年前にさは半年でもないですねもう、10 ヶ月ぐらい前にされてから、
1:37:17	累計っていうのはねとか、こういうことも一緒でしょと。
1:37:22	こういうふうにまとめて説明し、していかないと、
1:37:28	時間が無駄に過ぎますよ、同じ古藤が本当に同じかっていうチェックが必要になっちゃいますよと。
1:37:33	というようなこと

1:37:36	方針は方針と整理をし、それをなるべく集約できるようについていうことで、共通 12 で、まとめ方ということをもた話をしているというのが現状です。
1:37:48	特に
1:37:50	そうなってくると、最終的には添付書類の中で章立てなり、枝番の資料の項目立てと、
1:37:59	いうことで類型を出していくというのが実用炉でもやってるパターン。
1:38:04	だと思っんですけど。
1:38:06	そこに行きついてもらえればいいなあとは思うものですね、介護と、
1:38:12	方での説明というの踏まえると、まずその骨格となる考え方なり、説明すべき項目というのを認識していかないと、
1:38:22	書類づくりにもなっていないので、その概念整理をここでやっていると。
1:38:27	いうふうに思っただけであればいいかなと思います。
1:38:30	ありがとうございます。了解しました最終のゴールはやっぱり申請書の図書だと思っんです、ちょっとそういう全体を俯瞰しながらやっていきたいと思っんです。
1:38:41	よろしくお願っします。
1:38:42	はい。コサクですよろしくお願っします。はい。おはようございませう。
1:38:48	清家ヤマグチですとかに関して、
1:38:52	規制庁がございませうでしょうか。
1:38:58	よろしければ、
1:39:01	続いて、さっき、対応方針少し話もありましたけれども、92 個くらいの本について、
1:39:09	移りませう。
1:39:14	提出いただいたのが昨日になるので、まずそういった点を主
1:39:20	に対応したのかっていうところを元から説明していただければと思っんです。
1:39:27	基に説明しても、
1:39:32	半分な目次で、
1:39:36	久慈区切って、
1:39:39	いければなともその中でちょっと関連して、別添とか、
1:39:44	後ろの添付とか使っって説明があれば時、
1:39:48	用いて説明いただければと思っるので、

1:39:52	ちょっと、
1:39:54	ちょっと一瞬調査官が席外されたので少々お待ちください。
1:40:09	でも、
1:40:17	やっぱ、
1:40:19	区切りも任せてあるんですね。
1:40:21	清家ヤマグチです。区切り方もそうですね原燃側の説明しやすいように、ちょっと1、2の説明にならないようにってことで適宜区切って説明いただければと思うので、
1:40:33	原電側から説明の方お願いします。
1:40:39	日本イシダでございます。はい。ありがとうございます。まず、今回、資料を、本部の修正後本当に関連する、
1:40:49	参考資料の修正後、MOXの説明グループ1ということで添付になりますけども資料1から資料3までのセットを、
1:41:01	提示をさせていただいてございます。はい。
1:41:06	資料、
1:41:08	さあ、イシイ2とか3のグループ1のところについてはこれまでのボックスの説明の中でのやりとりを踏まえて、修正をしたものになります。
1:41:20	特に今回、本部の修正ポイントということで、
1:41:25	先ほどあった対応方針のですね、①番は全般論になりますけど、
1:41:31	②番の共通利用の目的であったり、全体構成に係る整理という部分で、紙右下を押すペースでいくと3ページの1ポツ、
1:41:45	のところを、まずは全体の構成資料1、共通要因ってのはどういう構成になっていて、それぞれどういうことを役割として、それぞれの主事を立てているかと。
1:41:57	ということと、あとは前回、言葉の定義というのがありました。説明すべき項目だったり設計項目というものを立てています。こういったものを、どういうやり方をして、
1:42:10	最終的には生成対象設備全部を、ある類型化をした上で、構造設計等の説明を抜け漏れなくしていくということにつなげていくのかということの整理をした上で本文を、
1:42:26	修正をしております。まずここでお断りをしなければいけないのが多分架線が足りてない気がしてますのでそこはある程度直したんですけど、私が仮線を引くときに、ちょっと見過ぎました。
1:42:42	というところあります。市場全体的な整理ですので先ほど対応中の②番に書いてあるような考え方の整理をした上で、展開をします。

1:42:53	いうこととございます。
1:42:55	はい。
1:42:56	ここで区切っていいですか。
1:42:59	はい。これはあんまり意味ないかな。はい。
1:43:03	次の2ポツ目いきますか、2ポツが説明すべき項目を含めた申請対象設備の類型の話ですが、ここは
1:43:13	特に前回大本としての2.1で言う設計類型の考え方が、丁寧さに欠けたということと、いきなり(1)の再処理廃棄物になったらいきなり詳しくなってそことのリンクがうまく
1:43:29	とれてないというところもありました。ということもあって全体の整理をしたということを説明すべき項目っていうのが要求事項、事業指定だったり基準記事、
1:43:40	技術基準規則あたりの適合ということ考えた上での要求事項をちゃんと展開をするということと、
1:43:47	あとは施設の特徴と、前回一言で言っていたものが、今回の申請対象設備っていうのが一体どういう位置付けのものかという審査会合でご説明したAだったりBだったりということの分類との関係があるんだよと。
1:44:01	いうことを示した上でそれぞれの特徴をどう反映していくかというのを(1)(イ)につなげていくということで整理をし直してございます。
1:44:10	いうこととございます。先ほど、③番ですか対応方針の③番で、いっぱいぐちゃぐちゃ備忘録乗り換えてましたがアマヤツジで書いていたものも含めて、
1:44:21	展開をしているのがまさしくこの部分とございます。はい。
1:44:28	まだおっしゃって、先ほどおっしゃっていただいたように8ページである設計説明分類ですね、これがまだ、左から順番に読まないで分類にならないのかと。
1:44:39	というようなこともあります。でも実際これ見ていくと、建物構築物、
1:44:47	あれ、何かこれ古いの。
1:44:50	いいのか、建物構築物だったり防護対象であったり、あとは対策設備であったりということである程度、項目を立ててその中に入っているものがどんなものかがわかるようなイメージがつかめるような分類の説明の、
1:45:07	示し方ができるはずなので、今一度これを整理をしていきたいと思っております。はい。なるべく名は体を表すと、というようなことにも、
1:45:17	できればなというふうに思っております。廃棄物の設計説明分類もあわせて今回提示をさせていただいているということ。

1:45:28	あとは前回のイデ本文で説明グループについてあまり細かい話を書いてなかったんですがあとは本文としての説明グループが一体どうなったのかというののやりとりは示しておく必要があるということも考えて、
1:45:43	右下 10 ページ以降に再処理の設計説明グループからののを整理をしたものをつけております。ただこれも、
1:45:50	先ほどあったポイントですね、
1:45:57	一応竜巻だったり、大屋系井ながら落雷をどうするとかってというのは一応括弧書きで、説明グループで説明、補御説明グループです行う関連情報のところにですね、
1:46:09	それでどんな条文の何を相手にしてどういうことをここで説明したいのかと、いうことを、整理をしたつもりではありますけども、先ほどやりとりがあったポイントもすべて、
1:46:19	抜け漏れがないかというチェックを再度させていただく必要があると思っ てます。
1:46:25	1017 ページ以降が、MOXになります。こちらもどちらかという前回、 あっさりしていただく考え方をしたということ等説明グループについても、
1:46:37	同じように表をつけて展開をさせていただいているということでございます。
1:46:43	はい。ここで 1 回区切ります。はい。
1:46:50	院長山口です。
1:46:54	それでもし規制庁がわからないか。
1:46:56	あればお願いします。
1:46:59	規制庁の橋村です。
1:47:02	今回その 10 ページ以降ってところで、説明グループのところを細かくは記載していただいているんですけど、
1:47:11	8 ページ目の下、
1:47:13	の文章と、9 ページ目は、通しページで 9 ページ目のところ、
1:47:18	もう少しその考え方は、
1:47:21	キソイできませんかね。
1:47:23	で、この表までいってしまうと結構細かくて、実際どういうふうな考えをも とにされているのかがわかりづらくて、もともと
1:47:32	通しページ 9 ページの、
1:47:34	矢羽根の二つぐらいはその説明グループ 1 について簡単に書かれている んですけど、そのあとの 3 から 6 っていうのは結構ざくっとされてい て、

1:47:44	結局どういうふうな形でまとめたのか。
1:47:47	どういう観点でこういうふうに整理したのかがわからない。
1:47:50	ですね、さっきの進め方の資料で少しなんかどういうものが含まれるのかみたいなのはかいま見えるんですけど、それもどうやって考えたのかがわからないかなと思ってるんですけどどっか、
1:48:01	文章としてちゃんと書いてるところってそれかありますか。
1:48:08	はい。乳井西田でございます。まず文章として書いているところはないので、整理をして、書かさせていただきますおっしゃっていただいたように 989 の文章と、10 ページ以降が、
1:48:21	かなり飛んでいって 10 ページ以降結果を書いているだけですので、総務に至った考え方。
1:48:26	先ほどの、
1:48:29	対応方針でも、自分で自分に
1:48:34	備忘をにかけていながらも、説明グループ一つの説明物量があまり方やないように書くとはいえあまりこま切りにならないようにと。
1:48:44	いうことと、相互間の関係っていうのを考えながら、説明グループを考えるとということが、どう具体的に考えたのかということの試行ですし公会堂をですね、文章化して、
1:48:59	記載をさせていただきます。はい。
1:49:04	規制庁の藤原です。はい。よろしく願います。すいませんちょっと戻るんですけど 8 ページ目で、設計説明分類があつて少し名称とかどういうふうな、
1:49:14	整理をするかっていうのはもう一度検討されるかと思うんですけど、その分類分け方はそんなにもう変わっていかないのかなとは思っていて、
1:49:24	その時にちょっとどういったものが仕分けられるのかをイメージを合わせたいんですけど。
1:49:30	今はその
1:49:32	修正をされると思いますけど、外的事象を防護対象等の屋外機器配管っていうのと内的事象防護対象と屋内機器配管があると思うんですけど、
1:49:42	可搬型の SA 設備って、どちら側に入ってくるのか、その視点って使用の時なのか他の時なのかっていったところとか考え方あったら教えてください。
1:50:03	はい。日本原燃清でございますはい。基本建屋間建屋についていうと、
1:50:11	保管庫含めて建屋になってしまうので、基本

1:50:14	対処する建屋の中に入っているものは屋内で整理をしようと思ってました。事故が発生する建屋より外の入っているものは、
1:50:27	屋外だよね。
1:50:29	いや、これは骨格をどうするんだってやね。
1:50:33	他の建屋だろうって。だって保管庫対処する側じゃないから建屋の中でやったら話おかしい。
1:50:42	使うの外だね。
1:50:51	何も考えてないみたいなんでは考えます。はい。すみません。基本、事故が発生する建屋は、そこに入っているものを建屋内で整理をしてもいいかなと思いつながら、
1:51:02	保管庫とカーに入っているものは屋外に置いている車両とあまり位置付けは変わらなくて使用関係は外なので、そこも含めて屋外の機器配管でやってもいいかなという気はしてますけどそういった仕分けを、
1:51:15	二重にやって、整理結果を踏まえた上でこのそれぞれにどんなものが入るかの結果の見せ方考え方の整理の示し方も含めて、やらせていただきますはい。
1:51:28	はい。規制庁の藤原ですよろしく申し上げます後ろにつけてある。
1:51:35	いえ。
1:51:36	代表例というか、
1:51:45	実際にどういうふうに
1:51:46	どれも、
1:51:49	大きな考え方を
1:51:50	見た上で、
1:51:52	あと入れていける。
1:51:56	と。
1:52:07	はい、与儀西尾でございますありがとうございます。はい。昨日の溢水191K
1:52:14	溢水量でキタノSAっておっしゃっていただいたように保管場所の話をすればいいだけでは多分なくて、使用場所の話もしないといけないので、
1:52:24	そこも含めて機能が達成できることっていうのが要求事項だと言われた時にじゃあどこでの整理をするんですかっていうところをお示しできるようにしたいと思います。
1:52:34	はい。22のヒアリングには、そういうところも含めて説明をさせていただきますはい。
1:52:42	補足です。22に説明されるということ。

1:52:48	で、
1:52:49	刷っ系統、一方でDBSAの話の整理っていうのがまだちゃんと着手できてなくて、
1:52:56	本当にできんのかなっていう気もするんですよ。
1:52:59	言われるよう2 保管と設置、使うところというので、考えていかなきゃいけないのはその通りなんですけど、
1:53:12	特に外部事象についてでいうと、
1:53:16	他のところは当然考えるんですが、使ってる場所って言ったときに、じゃあ、
1:53:23	SAという超レアな。
1:53:26	事象のときに重ね合わせて外部事象、
1:53:31	どこまで考えますかっていう話はある程度していたと思うんです。
1:53:39	その上で、どうしますかっていう話もしてたと思うので、
1:53:43	その内容をまずちゃんと押さえて
1:53:48	説明の内容からするとどっちでどうした。
1:53:52	どっちを主眼にしながら分類した方がいいのかっていうことを考えていたただかなきゃいけないかなと思ってて、
1:54:00	私のイメージからするとイシハラさんとは逆で他の方を中心にした方がいいんじゃないのかなっていう気が。
1:54:06	今はしてます。
1:54:11	屋外で使うものについて飛散防止で固縛をするかっていうとそんなことをする予定はなかったはずで、
1:54:19	飛んじやったら予備品持ってきますだったはずなんですよ。
1:54:23	であれば、構造設計として説明することなんかなくて、
1:54:28	保管の時に、建屋に入れます。建屋、
1:54:33	守りますということで建屋の守り方ということに主眼を置くという古藤の方が筋が通っているような気がしてます。
1:54:43	そんなあたりも許可をちょっと振り返っていただいてですね、ちゃんと整理をしていただければと思います。
1:54:50	で、
1:54:51	今はその保管庫だからあれですけど、まだあれですけど、コンテナに入れてるものとか、
1:54:58	そういうものとかを考えると、
1:55:01	また悩ましくてコンテナは建物構築物等に収納されてるっていうことでもいいのか、コンテナ自体が過半ということなのか。

1:55:11	どう、何か整理してありますか。
1:55:19	はい、日本インダでございますはい。コンテナ自体は屋外。いえ、置いてあるものと同義として整理がしながらもじゃあなんでそれでいいんだっていう、
1:55:31	ロジックは多分整理できてないのでその整理も進めますはい。
1:55:38	はい。補足ですよろしくお願いします。
1:55:43	そうですね。
1:55:44	一方でそれより大きなものになってくれば、当然、屋外に保管をし、
1:55:51	使うのも屋外ということなんで、あまり悩ましいことはないかなと思いますけど、
1:56:01	少なくとも来週
1:56:04	検討状況なりを聞かせていただくということで、来週、来週は、
1:56:13	金曜日に、
1:56:14	金曜日ですねはい。
1:56:16	そうするとあれですねまた進め方ヒアとセットで、対応方針の整理も含めてなので、そのDBSAの関係どうしていかってというのも議論一緒に生きるということだと思うんで、
1:56:30	進め方も含めて、
1:56:33	考えを、
1:56:34	来週聞かせていただければと思います。
1:56:39	はい、日本インダでございますはい。承知いたしました。
1:56:51	規制庁岡です。ちょっと、ちゃんと見れてないんですけど 10 ページ以降の本説明グループで説明を行う関連条文のところ、
1:56:59	ここちょっと出てくる、例えば 11 ページ目の 2 の最急配 6、一番下のところにある、
1:57:07	この第 36 条。
1:57:08	三、四と併せて代表とか何か、あわせて代表っていう表現が結構出てくるんですけど、これどういうことを表現してるんですか。
1:57:23	はい。日本原燃新屋でございますがこれも見事にボックスの
1:57:30	19 ページと書き方が全く違うので、合わせ行きます。はい。まず、
1:57:37	言わなきゃいけないのは、どこの説明グループでそれを説明を、違うな、これ相川、あれを持って、
1:57:47	最後 4 と合わせて代表、

1:57:53	古作です。例えばどっかの一つのところで具体的に考えてること述べてみてもらっていいですか。
1:58:35	駄目だこりゃ
1:58:41	これ 36 条の(3)の 4 と合わせて 34 は 12 ページで言っている。
1:58:47	大の 4 の屋外の機器配管 1-36 条。
1:58:57	併せて代表っていうのは、
1:59:00	併せて代表ってあわせて代表wノダ医長。
1:59:03	なわけないんだ。
1:59:07	企業資料 3 をどっちに預けるかだけじゃない。
1:59:13	そんな広さんあるかいな。
1:59:16	何かを出すんだよ。
1:59:19	でも屋外の方の環境条件で説明をするんじゃないで、
1:59:25	来的なるほど。
1:59:27	怒った。
1:59:32	環境条件に対して多様性知的財産については、
1:59:39	上をメインでやりますよって言えばいいんだよね。最後 4 は同じですということ。
1:59:48	コサクですよ。だから、例えば 19 ページ、括弧代表って書いて、
2:00:00	おそらく、
2:00:03	合わせてって言うってことわあ、何て言うんすかね、建屋側機器側っていうのでそれぞれあいまって対応しているので、
2:00:13	この設計説明分類だけでは説明できませんっていう、
2:00:17	ことじゃないかなあと思うんですけど。
2:00:21	だとすると、
2:00:23	併せて代表というよりは、説明すべき項目というのが、内容としてちゃんと分解をして、
2:00:33	展開をしていく、その分解したものについての代表ですっていう、
2:00:39	ふうに言わないといけないんじゃないかなと思います。
2:00:43	で、そのときに、
2:00:45	関連してくるってことだと思うんですよ。そうすると、
2:00:51	MOXの場合は関連するものはグループとしてまとめます。
2:00:57	建物と機器等を同じグループに入れて、
2:01:01	関連性含めて一体として説明します配置設計だったりなんなり、
2:01:06	ということだったと思うんですけど、今の話だ等グループ違うところに、

2:01:13	入って、
2:01:14	いる。
2:01:15	ものと合わせてと言ってて、それと方針が違うのは何でかと。
2:01:21	いうことがありますけどそのあたり何か説明できることがあります。
2:01:34	はい。日本原燃瀬谷でございますこの後の括弧書きとの関係はちょっと整理をしますが一応 11 ページからが最後といっているところから説明グループ 2 が始まって、12 ページの差異の中までが、
2:01:51	説明グループ 2 番の内数になります。
2:01:55	今、11 ページラムグループ 2 の際の 9-1 采配の 6 と書いてあるところの、例えば第 36 条では採用と合わせてといっているこの採用は、
2:02:09	同じ説明グループの最後の議論をさせていることではあるようですが、どこをどうするかがこれだとよくわからんので、その整理を進めます。はい。
2:02:25	うん。
2:02:27	重大事故 36 条と書いているものの、あれですね。
2:02:32	提起できるのか、括弧内適性を再球と合わせて代表系材の 4-12 ページは時も書いてますけど、これはそれ、
2:02:40	古作です。玉田説明項目あってないので、はい。
2:02:46	やっぱり違くてっていう感じになってるから。
2:02:49	現状で詰めてもしょうがそうなので、新たな機能の論点もありますし、
2:02:57	改めて整理の仕方っていうのを、
2:03:02	確認をして、
2:03:04	提示いただいた方がいいかなと思います。
2:03:12	はい、井上渋谷でございます承知いたしました。
2:03:28	こ
2:03:42	古作です。
2:03:44	11 ページの上の、グループ 1 としてる範囲どこまでやるつもりなのかというので、今見たところですね。
2:03:54	当初わあ、10 ページ側の対策設備だけっていうような話だったのが、それだけだと条文としてクローズしていきませんよねということがあって、
2:04:06	採算 34 というようなところの対象設備側も入れてきたと。
2:04:14	いう古藤ですけど。
2:04:18	再救済中は何か。
2:04:22	ていうと、ちょっとどういう考えっていいですか。

2:04:39	はい。
2:04:40	与儀調べてございます。
2:04:47	はい。ここ、
2:04:54	オビタなあ。
2:04:56	階級プロ方向は、屋内に入っている機器系が入ってますので、いわゆる
2:05:06	オオクボ対象対策設備とせ、
2:05:09	とで、
2:05:11	国内のは、配置等を、対策書記。
2:05:18	組み合わせみたいなものを
2:05:20	説明グループ中で展開をする必要があるかなということで、
2:05:26	はい。
2:05:27	9 はPDF。
2:05:30	えっとさ。はい。19 は、はい。すいません。
2:05:35	いえ。
2:05:42	規制庁コサクですちょっと音声が大分とぎれとぎれ聞き取れない状態になっていなくてもいう、
2:05:50	キタノで昼休みにも入っているし、関連する説明グループで出ますけど、資料3をつけるつもりは多分ないはずなので、
2:06:02	最中は書きしていいっていう。
2:06:05	だと思ってみます。はい。はい。どうもすいませんでしたはい。
2:06:13	はいコサクです。
2:06:16	多分最初の流れ方の問題だと思うんですけど、説明するつもりのない内容が主条文のところに書かれている。
2:06:26	んだと思うんですね、外的事象についてを中心に説明しますと言っているの2歳9で、内的事象を説明するような形で書いてあったり、
2:06:37	この表を見ただけで本当にわかんないので結果、最初にフジワラから言ったように、そもそも何でこういう順番でここで何を説明するつもりなのかっていうのを言ってくださいって言って、
2:06:48	ならないと全く読めないってことになってると。
2:06:51	ここがもうちょっとちゃんと書かれていれば、見てもわかったような気はするんですけど、整理をしていただきつつ文章でも書いていただければと。
2:07:02	はい。事務部西田でございます承知いたしました。
2:07:14	えっとコサクです。あとですね。

2:07:16	ちょっと資料入っちゃってあれですけど、廃棄物管理の扱いなんですけど、
2:07:25	共用してるものもあつたりしますけど、そこはあれですかね、パラで上げつつ、兼用ですというこ等をお互い行って、
2:07:37	資料三、四とかでは合体させてと。
2:07:41	いう形で進めてますか。
2:07:44	はい。二本木、西野でございます。はい。おっしゃっていただいている通りでございます。それぞれ行ってますので、それぞれでエントリーした上で、それぞれ呼び合う、共有してますよっていうふうに両方して、
2:07:58	シマ結局は再処理がメインになるので、最初の資料3側で、廃棄物の要求も含めて、全体、構造設計なんかを説明していくということで考えてました。
2:08:18	はい。補足で終わります。
2:08:21	さあ、
2:08:23	先ほども課題あった項目で、一で一じゃないや／で、並べられていて、その中に、
2:08:36	廃棄物のものもある或いは兼用のものがあると。
2:08:40	いうことがわかるようにはなってるかなとは、
2:08:44	思うんですけど、
2:08:48	また資料、
2:08:50	それを束ねたやつの一式が見れる資料1の後ろにつけてるやつで番号で見れるっていうことでしたかね。
2:08:58	その時2、
2:09:00	と、
2:09:03	ガードもあるか、片方を見れば兼用が何かわかるから、
2:09:07	うん。
2:09:08	関連性が廃棄物側だけのものと、再処理を使つてのものを使うから審査としてはもう最初にまで見てますよと。
2:09:20	いうことなのかっていうのは結構、何らか見えるようにしといたらいいかなどは思いますけど。
2:09:29	はい。
2:09:30	どんなふうにして見えるかって今、
2:09:33	イメージありますか。
2:09:36	ちょっと。

2:09:40	リストで兼用のことがわかるようになるのはその通りではあるんですけど、資料三、四とかに入ったところっていうことで、
2:09:49	ちょっと、
2:09:57	入れてないね。
2:10:02	はい。瀬谷でございます。はい。
2:10:11	はい。日本原燃瀬谷でございます。資料2の段階ではまだ少なくともリンクを張るで、そこで多分、
2:10:19	資料3に入る前に、資料、同期間、
2:10:23	多分、全体を整理して共用部分のリンクみたいのをどこでどう預けてるかも含めて整理をした表を1枚かまわした方がいいかなと思ってました。
2:10:34	はい、小谷野です。
2:10:37	そうですね何らか
2:10:40	わかるようにしてもらったらいかなと思います
2:10:44	個別のず一面の最初に大枠としてこの機器はこういう要求がありましてと、というようなところでもう、
2:10:54	再処理の条文、
2:10:56	廃棄物の条文というようなことで上げることになるんだらうなというところでも、少し見えてくると思いますので、その際にこの
2:11:05	分類の中で、これはこっちの単独だけとこちらは共用、或いはこちらは廃棄物だけ。
2:11:11	いうものがまざってますというようなことが、何らか分かれていいかなと思いますので
2:11:17	検討いただければと思います。
2:11:22	はい、与儀西田でございます。はい。承知いたしました。
2:11:38	コサクです先ほどのあったよう2、現状だと、抜け漏れがあるなあという分類になってるんですけど。
2:11:49	なんでこんな状況になってるのかっていう状況説明をお願いします。
2:12:04	はい。4人ってしゃべった。
2:12:09	ほぼ、
2:12:10	これ、
2:12:12	は、
2:12:14	で、
2:12:15	表を、

2:12:16	やっぱ、どれぐらい。
2:12:20	でも言えて、
2:12:23	aフクダ、
2:12:31	いや、
2:12:36	失礼。
2:12:49	止めようか。
2:12:51	石原さん、聞こえてないかもしれないですけどちょっと音声が全く届かなくなっちゃったので、午前中のヒアリング1回止めて、
2:13:01	通信をちょっとリセットかけて対応後、対応したいなと思います。
2:13:11	それを、
2:13:14	横尾分解をして、すいません、午前中のヒアリングを止めたいと思います。
2:13:23	あと、
0:00:00	はい、どこを返しました。
0:00:05	規制庁側ですが、特に午前中からの参加者の変更はありませんので、原電側も特に参加者、参加者の変更があれば出席者の紹介をお願いします。
0:00:18	はい。日本原燃事務局中浜です。はい。日本原燃側も参加者の変更はございません。よろしくお願いいたします。
0:00:30	それからの続きでして、共通に資料の再処理のグループの丁寧。
0:00:38	この今の状況についてっていうことで、原電側から説明をお願いします。
0:00:43	はい。日本についてはでございますはい午前中いただいたご質問とご指摘というか説明グループの設定の中でいろんな説明しなきゃいけない項目に抜けが、
0:00:56	あると、というような状況になってます。なぜこんなことになってるかということについては、
0:01:04	上流の整理がしっかりできてないから、多分今こうなってるんだという認識を私はしてまして。
0:01:11	00 資料の別紙2の団体です。基本設計方針の項目等、設備を、一体一部どんな設備がその基本設計方針に該当するのかという整理を、
0:01:24	ちゃんとできていればこれを単純に要求事項と紐づけて展開してって、

0:01:31	条文の中での要求事項が、どの設備に類に対して説明しなきゃいけない項目かという展開をし、それが抜け漏れなく説明グループの整理の中で、それぞれ、ちゃんと入ってるよねと。
0:01:45	いう確認ができるということに繋がると思っていますが、
0:01:51	出だしの整理がまだちゃんとできてないっていうのをずっとこの3年経ってもまだこの状況だということがそもそも抜け漏れが出てしまうかつ抜け漏れができていないことがチェックできないという状況になっていると思ってます。
0:02:04	やはりまずベースになる情報を愚直に整理をするということ、前々からさせますと言いながらできてないんですけど、これをちゃんとやらせるということだと思ってます。
0:02:15	これ溢水とかで言うそのDB側での要求事項をどう展開するかだったり、DBSAの展開の井清型の要求事項が何かということの整理、
0:02:27	っていうのもちゃんと紐づけてやらないと全体網羅的にできないということもあって、
0:02:32	そういうタスクアノ費もリンクも含めて整理をさせていただき、必要な作業に、を進めていくということだと思ってました。
0:02:45	古作です。
0:02:51	共通 12 の 7 ページ 8 ページ。
0:02:57	6 ページからですね、あたりの来とって、
0:03:03	概念的に決め打ちをここでしたような形にしておかないと、
0:03:13	資料一位の中で、分類をもろに入れてかなきゃいけないっていうところがあって、形式上ここでこう書いてますけど、
0:03:23	実態上は
0:03:26	資料 1 の作業を通じて、どういう分類が適切かっていうことをトライアンドエラーをして収束させていくと。
0:03:35	その結果がここに表れていて、鶏と卵じゃないですけど、それを踏まえた資料 1 という形に、
0:03:43	提示がされると。
0:03:45	いうことだと思ってまして、
0:03:48	MOXはそういうようなことをやって進めてきたっていうことかなと思うんですけど。
0:03:57	と最初には、なんかそういうのをすっ飛ばして別概念作業してしまった感があるんですけど現状、資料 1 ってどうなってるんですか。
0:04:14	はい。上西瀬谷でございますはい。資料 1、

0:04:19	作ってますといったところで、昨日の閉じ込め等イセの関係でもマルがうまくできてなくてリンクがとれてないとかですねまだ抜けがあるんじゃないかなと私自身は思ってますので、そういうところを、
0:04:33	整理をもう1回しないと駄目な気もしてます。
0:04:39	資料1としての体裁的なところはできてるし、中身がと、具が伴ってるかってところで若干、若干、ヤスタがまだ残っているのが、
0:04:50	再処理の状況だと思ってますそれが正しいよねっていうチェックがやはり
0:04:58	目的でやったやり方でできてないところがですねまだ抜けが出てる状況なのかなと思ってますのでおっしゃっていただいているように、どういうふうに、資料1、資料に至ったり
0:05:12	紐づけ辺りをやっていけばいいか抜け俺がないように、チェックもしながらやっていけるかっていうのは、MOXの形は作っていったと思ってますので、
0:05:23	それを同じようにトレースしていくということだと思ってます。そこでうまくできてないのがまさしくさっき言った、
0:05:31	00-別紙20の基本設計方針等の設備のリンクがですね、バックとしてあまり具体が書いてなくて、
0:05:39	施設名称がただ書いてあるだけ、何が対象だかよくわかんないってところもあって、本当にこの資料1で言う、この条文の対象物って何っていうのが、やはりチェックするにも明確じゃないってところが、
0:05:54	資料1のレベルが高くないってところなのかなと思ってますそれが今、
0:06:00	まさしくトライアンドAにもなってないってところなのかなというところだという認識はまだ今持ってます。
0:06:07	はい。コサクです。
0:06:10	今の説明からする等、我々に資料提示はしていないものの、社内では資料1を作り込んでいて、
0:06:20	現状
0:06:23	通し8ページで書いてある分類で作り込んでますってことですか。
0:06:32	はい。逃げインダでございます。はい。状況的にはそういう状況です。それができたという状況なのかどうかはさておき、ものはあります。はい。
0:06:41	コサクですとそうすると一抜けがあるということはないはずですよ。
0:06:47	てすると表現が悪いってことですか。

0:06:52	はい。乳井ニシダでございますまず、なんてばいいんだよな。先ほど来た あった 10 ページ以降の中に入ってる隅括弧とかでいろんなキーワード を書いてますこれ
0:07:10	紙資料 1 の段階では条文ごとに対してタテを見れば、1 行のところ、0 ではなくて今の都営とかB湾とか、
0:07:21	BIIが入ってるところの枠に幾つかまだ内訳があってその内訳を飯を区 切って、
0:07:28	この梶川の驚見括弧で書きながら、それをどこのボックスに入れてどう いうグルーピングで説明していくかという整理をしていると、ということだと 私自身は認識をされていて、
0:07:39	これが正しく基本設計方針の項目が抜け漏れなくちゃんと資料に展開 できてるよねって、ここで言う資料 1 でゆある設備の、この条文に対象 があるよといったものは、基本設計方針のどれが対象だと考えているの かと。
0:07:56	いうところブレークができているから隅括弧のところを書いて、それぞれ のリンクを飛ばせるということだと思ってまして、この隅括弧の項目にま ず、
0:08:07	全体網羅的に抜け漏れがないこと、かつこの設計説明分類の対象にし ている角括弧の対象物がですね、抜け漏れがないこと、というようなそ のチェックがまだできてないと駄目なのかなと思ってます。
0:08:21	いうことがまずベースであって初めて飛ばし愛南なり、どこでまとめてや ろうかということの説明の整理ができるのかなっていうのが、認識でし た。
0:08:40	古作ですけども、
0:08:45	まがりなりにも表を作っているということ言えば、どこに入れるかって いうのはちゃんと漏れなくない。
0:08:56	その結果対応条文にも漏れがないはずで、
0:09:03	けどこの表、8 ページなり 10 ページ以降なりを作るときに、
0:09:13	その辺りでの作業に漏れが出てきた。
0:09:19	ということのようですけど。
0:09:23	何か本当かなっていう感じがあるのと、
0:09:28	何でそうなっちゃうんだらうっていうのがまだ釈然としないんですけど。
0:09:33	どうやって作ってったんだ。
0:09:49	はい。日本原燃石原でございますまず、ベースとしては、資料 1 イデ、 各設備ごとに、

0:09:59	条文適合の対象物が整理をされて、
0:10:05	それが8条は、事象ごとに多分、確かわくわく開けていたので、外貨だ落ライダー火山だ竜巻だという縦軸があった上で、それぞれの設備に、
0:10:19	そのマーキングが何らかされると、それを、
0:10:23	何の適合性を説明しなきゃいけないかという分類を見ながら、あるまとまりを作っていくって、資料1の段階では、設計説明分類を送りますと、
0:10:34	いうことはイメージを持っていただいている通りここで条文の抜けがなければ、この説明グループでの隅括弧も含めて抜けがないんじゃないかというのが、
0:10:47	おっしゃっていただいているところだと思うんですけど。
0:10:51	一つは基本設計方針をまたブレークして紐づけをしたりですね、等、
0:10:58	縦軸の枠だけでは表現しきれないその中に内訳が幾つか当然あって、その内訳ごとに対象物がやはり変わってくるパターンもありますし、
0:11:09	その中で構築物と設備機器がリンクをしていたり、外、
0:11:15	屋外屋内というのがリンクをしたりいろんなリンクがあるので、そういったもののリンクをどう整理をしていくかということも含めた抜け漏れがないということだと思ってるんですけども
0:11:27	そういうところの紐づけだったりリンクも含めて、トライアンドエラーするときには、対象物抜け漏れがないっていうのは、資料1がベースであることは変わりはないんですけども、
0:11:37	そのメッシュをさらに割ったところでの、多分整理の問題かなというふうに思っていますが、今一度やり方を含めて、抜け漏れがないことをどう担保するかと。
0:11:49	いうことは、整理をさせていただきます。はい。
0:11:55	たとえば、あまり例示としてよくないのかもしれないんですけど、先ほど言った平伊井。
0:12:03	防護の関係で言えば、
0:12:06	避雷針自体ワー設備登録はしてないけど、方針として述べていて、
0:12:14	方針として述べている設備だっていうこと設備リストには入っていると。
0:12:19	いうことでよかったですか。
0:12:27	はい。与儀インダでございますそこも、あれですね。
0:12:32	落雷に0ってないんだよね。
0:12:36	多分施設共通基本設計方針が何かでリンクを取ってるんで、その整理が失敗すると、抜ける可能性はあります。

0:12:45	ただおっしゃったように 10 ページでいくと、外て木山再処理の 3 番、1 の一番ですかね。
0:12:52	2、落雷手当チャクラ直撃アノ対策学校建物廃棄と、なんでここで建物廃棄という場合ですけど、括弧代表と書いてあるので避雷設備としての設計をしないといけないその説明しないといけないっていうのは、
0:13:06	エントリーをしているつもりではいるということです。
0:13:14	コサクです。廃棄とあれですね一番高いところで平石にとって出てきているということは理解しますけど、
0:13:26	あとタテも附属物として扱ってるってことですか。
0:13:31	はい。建物の附属品というか、何だ、竜巻で言ってたフードとか何とかと同じで、っていうのを一種タテにならないんですよ。
0:13:43	取り扱う。
0:13:44	はい。
0:13:46	コサクですってそうするとー。
0:13:51	結局また前、今、江尻記者さん言われたことと一緒にですけど、対策じゃねえのと思いながら対象の中に入っていると。
0:14:01	ということで建物自体もそうなんですけど、
0:14:04	その辺り、どこまでを含めているかと、いうことを明確にさせていただいていうことが必要なんだろうなと。
0:14:15	思います。で、それで雄踏、竜巻D少し議論をしているところですけど、その分類に何が入っているのという。
0:14:26	をいかに全体像を見せられるかと。
0:14:32	ということで、
0:14:34	竜巻だと事前紙の整理資料の中で、添付 1ー1 と 23 とだったですかね、分類ごとの、めくって、
0:14:46	横軸にその月並べて五つ、ある程度その類似のものはまとめていくと。
0:14:53	いうことの作業をしているかと思うんですけど。
0:14:59	MOXの本をグローブボックス等と言いながらグローブボックスと何とかちょっと分けながら、集約できるものは集約してやっていたのdや、
0:15:09	てる。
0:15:10	ことは一緒に、
0:15:14	とその中で、まとめられるものっていうのを何ていう要望でか、説明するとわかりやすいかと。
0:15:22	いうことかなと思いますけど。
0:15:29	竜巻

0:15:31	のようなことを全般にやられてるかどうか。
0:15:36	なりはどんな感じですかね。
0:15:55	はい。日本イデシダでございます。おっしゃっていただいている部分当然
0:16:01	先ほどのヒライ設備へのとくべきライン対策設備であったり、
0:16:08	他でもあれですかね火山なんかのフィルターをつけるとかいうのも、対策設備と銘打ってはいないですけど一種の防護設計としての、
0:16:18	対策のための機能を期待するというものも、この防護対象と中に入ります。それは基本設計方針でどういう要求が課されてるか。
0:16:30	いうものに対してどういう設備に展開をするか。
0:16:33	いうことを考えながら、対策設備と銘打ってなくても対策として考えないといけない設計が何かあるかと言うことを挙げて、この隅括弧のところに展開をしようということやってはいます。
0:16:46	そこがかつ網羅的に整理ができてますかっていうその見せ見せ方も含めて整理できてますかっていうところについてはまだそこまで切ってなくて、頭に表の中で出てきたものを整理をしてこの形にしていますということだけなので、
0:17:03	ちょっとどう見せるかも含めて、我々説明しなきゃいけないポイントではあるので、共通上位のこのタスクの中で、その整理をして、見せできるようにしたいと思います。
0:17:19	今言われたようなところで 10 ページの方を見る等、先ほどの日直撃依頼に関しては建物廃棄等ということで、もうちょっと、
0:17:30	具体がわかるように書けるといいなってポイントではありますけど。
0:17:34	その下を見ると、バードスクリーンというようなことがあったりして、
0:17:39	意識はされていると、いうことは見えるんで、
0:17:43	そういったところ資料 1 の、
0:17:49	後ろにつけてるやつだと番号でただ列記するだけで、それが実際なもののかっていうのの集合体のイメージがつかないので、それを実態としてこういうものが入ってますということをもとめていただきたいと。
0:18:02	思ってます。それは
0:18:05	介護資料DMOXのときに結構話をして、見える化をしたんじゃないかなあと。
0:18:12	思うので、何らかそれを示す場所も必要だろうと思いますので対応をお願いします。で、
0:18:21	共通 12 のこの資料で言えば、8 ページのその分類書く時 2、ただ分類を書くだけじゃなくて例示として、

0:18:31	どのような種類物がアノこの中に入れてるのかと。
0:18:36	いうことの例示をなるべくその全体像がわかるように上げていただいたらいいんじゃないかなあとと思います。
0:18:47	それが今話で言えば、3番4番。
0:18:55	9番。
0:18:58	といったことになるん。
0:19:00	だと。
0:19:01	思います。
0:19:06	当然入ったものはあまり練習しないでいいと思うんですけど。はい。はい。
0:19:13	はい、承知しました日本のイシダでございます承知いたしましたはい。設計として考慮しなきゃいけないもの。ただ
0:19:21	現状確かに対策設備としてメールっていうのがネットや防護番だったり、井清の対策だったりっていうものでも抜け漏れなく網羅的にということのイメージがつかめるように、ある分類ナガエにどういったものが代表として入ってるかを、
0:19:37	8ページ目の表の中でも、展開をするようにさせていただきます。はい。
0:19:44	はい。補足です。その時に、8ページの表はそういう工夫してもらえばいいんですけど、大本でいうと、防護対象等という中にそういうものを入れますよと。
0:19:55	いう方針を変えてナイトウ混乱するっていうことだと。
0:20:00	思います。
0:20:02	現状は、
0:20:06	ただ分けるとしては書いてないような気がするんですけど何か配慮されました。
0:20:15	はい、イノウエイシダでございます読んでいただいた通り排除できてないので、そこもちょっと考え方を整理します。おっしゃっていただいているように以前のやりとりで、明示的に分けたところで設定は、
0:20:32	合わせ技で説明しないとねっていうところあればいいながらも、いろんな、
0:20:37	特徴的な今回の申請物が網羅的に入っていますよということの説明も含めてできるように、対策設備と防護対象等と、
0:20:47	いうのを対策設備側を上げるという考えは整理しつつ、防護対象と中でどういうものを整理していくということを前提にこういう枠組みを作っているのかと。

0:20:58	いうことを文書の中でも整理をしていきたいと思います。おっしゃったようにハザードに対する対策って別に対策設備としてね売ってるやつだけではないので、そういったところの設計上ここ説明すべき項目ってのが抜け漏れがないですよというのがこの分類の中でも、
0:21:14	わかるような展開を、7 ページですかね、6 ページから 7 ページにかけての整理の中で、させていただくようにします。
0:21:23	はい。補足ですよろしくお願ひします。現状だとですね 7 ページの、一方、5 行目のところに、
0:21:32	新たに設置する設備を対策設備と言ひ季節を防護対象等というとな、
0:21:38	言うかのように書いてるんですけどこれ大きな間違いですよ。
0:21:45	はい、吉田でございます。はい。おっしゃっている通りなので、はい。誤解を招きますね。はい。
0:21:52	はい。竜巻対策設備はそうかもしれないけど、
0:21:57	溢水火災はそんなことは全くないので、着手をしたことで断片的に表現をせずに、ちゃんと網羅的に見て、
0:22:10	適用できる考え方をしっかりと書いていただきたいと思ひます。
0:22:17	その次の文章もうすごい短絡的でして、
0:22:23	全然意味が通らないし先ほどのトライアンドエラーをして、こうした心みたいなところが全く読めないなので、そういったところはしっかりと書いていただきたいと思ひます。
0:22:34	そういったところが
0:22:37	その対象設備の中にこういうのも入ってますよということにもなりますし、
0:22:44	どう配慮していくのか、説明グループに繋がっていくと。
0:22:48	いうことになりますので、今回分け分けてますとかっていう、表面面は書いてあるんですけど、やっぱり実態がよく見えないということで、もう少し拡充をお願いします。
0:23:02	はい。日本原燃石田でございます。はい。いつものくせで、結果論になってしまってますのでここに至ってる考え方これが、
0:23:13	申請対象外で、施設に対する設計を説明する上で、
0:23:18	ベストフィットな分類になっているんだということも含めて、この中で説明するように、整理をしていきたいと思ひますはい。
0:23:30	はい。補足ですその上でですね 8 ページの表を見て、毎回言ってますけど、3 番 4 番は、
0:23:38	或いは、この 3 番 4 番はなぜ分けてるんでしたっけ。

0:23:46	橋田はい。日本以上でございます。はい。
0:23:50	屋外というと、項目だけということも考えたんですが、名和田井をあらわすじゃないですが今回の申請対象設備特徴的なものが、
0:24:03	抜け漏れなく入ってますと、先ほど何が入ってるかを、この中で例示していけば、特段そんなことを気に使う必要はないと思うんですが、項目立てとしての、明示学生っていうかね、というのも考えて、
0:24:18	建物後期キクチ配管は今のところはまだ分けて、提示をしました。あとは今日の午前中の話も含めて防護対象といえば屋外と屋内。
0:24:29	分けてやっていく。ただ建物構築物っていうある種 I 分類をどうするかというところは、設計例、資料に資料 3 の中でどう設計のリンクも含めて、
0:24:42	説明をしたいかということも考えた上で、分類を立てればタテないかも含めて整理をしていきたいと思います。先ほど分類の線考え方のところで、
0:24:54	どう配慮も含めて整理をしていきます。現状はあくまで右下 7 ページの上から、
0:25:02	三楽目ですかね単純に、申請対象設備を網羅的に展開することを明確化することを考慮し建物構築物体系を挙げましたと、タイトルとして、目立たせましたということしか書いてないので、
0:25:16	考え方を整理した上で、思ってます。はい。
0:25:20	古作です。それで言うそうですね、対象設備屋外と言ってから分けるから変な感じがしていて、
0:25:27	そもそもこの建物構築物って対象というよりは対策なんじゃないのと。
0:25:32	というようなこともあるので、
0:25:35	であれば屋外云々とかと言わずに、
0:25:38	頭から、
0:25:39	建物構築物、
0:25:41	建物構築物は対策の意味合いもあり、もともとの環境維持みたいなところでの機能もありと。
0:25:51	ということで単純に機能だけを考えている、機器配管系とはちょっと意味合いが違いますと。
0:26:01	ということであれば、比較的納得感が、
0:26:05	あってですね、あって、その上で土岐配管は屋内と屋外では大きく設計方針が違うので分けますと、
0:26:14	いうのであれば

0:26:16	なるほどなど、建物構築物については、対策設備との関係対象設備との関係と、
0:26:23	いうことを両にらみしながら、関係性を見て、審査をしていくということが可能かというふうには思います。
0:26:32	はい。日本原燃石田でございます。ありがとうございます午前中のお話をしながら、こちらで考えていたのも、建物構築物建物がメインかもしれませんが、あるっていう、
0:26:45	対策の意味も含めるので防護対象等の中に入れていければ例えば構築物っていうのがあって、さらに建物構築物の
0:26:55	分類の、
0:26:57	あと2、防護対象として屋外屋内ということが来ると、全体としては、意味合いが要るのかなということで考えていましたので、そういった整理も含めて進めていきたいと思います。はい。
0:27:10	はい。補足です。そうするとですね、より一層その内てキー
0:27:17	ですけどどうのこうのとか
0:27:21	無理くりなんか書いた感がありますけど、もう少しシンプルに、そうだなって思えるような表現ができるんじゃないかと思います。で、同じ間、
0:27:31	点にはなりますけど、678は何で分けたんですか。
0:27:37	はい。はい。日本原燃志田でございますこれは以前も火災の基本設計方針の項目立てを考えるとってはいたんですけど、火災防護対策、火災防護対策設備っていう品であっても別に
0:27:53	基本設計方針の1項目を切り売りするだけに近いので、三つに分ける必要はないかなと思いつつも、また買い取る分けを今してしまっているところになってます。
0:28:06	一方で、MOXの方はどうなってるかっていうと、
0:28:12	101112等、
0:28:16	はい。分けてます。
0:28:19	あって、分けているんだけど、結局説明グループになるんですね。そうですね。はい。そういう仕組みに、結局は引っかけて、同じウツミで説明するか。
0:28:33	ということで分類等説明グループがついたというのはおっしゃる通りで、
0:28:38	NAグループの中で合わせ技にしています。はい。
0:28:42	古作です。一方グローブボックス等については、町まとめおいて、中で分割してるじゃないですか。
0:28:50	はい。はい。

0:28:52	個別なのでちょっと温度差があるなあと思いますので、やってることあんま変わらないからそんなに、どうってことはないんですけど。
0:29:02	特に再処理の8ページを見ると、なんでここだけは県のほかはもう機器配管ってまとめちゃってんのにっていう、
0:29:11	感じなんで、MOXの方はもともと分けてるからそんなに違和感ないんですけど、再処理は相当に違和感があるので、
0:29:21	まとめる方にとって言った方がいいんじゃないかなとは思いますが。
0:29:28	はい。乳井ニシダでございます。はい。全体の設計説明分類のとか説明グループのバランスだったり分類の考え方をちゃんと置いた上で、整理をさせていただきます。はい。
0:29:49	はいコサクです。大体言おうと言わなきゃいけないかなっていうところをお伝えしたんですけど。
0:29:58	この後資料12の話にもなってっていうことではあるんですが、
0:30:03	どうやって進めるんだろうっていうのがちょっとイメージわからないんですけど、どうされますか。
0:30:12	はい。乳井西原でございます。はい。資料123までが今回直してましかも
0:30:22	本文、
0:30:23	としてどういうところを整理したのかというところの大枠を話させていただきながら
0:30:30	20日に向けて、再度ブラッシュアップしなきゃいけないポイントみたいのを、話をして影響をはそのぐらいかなと思ってましたがはい。
0:30:43	うん。
0:30:44	ごめんなさい、補足です。今日どうするかではなくて、この再処理の設計説明文をどうブラッシュアップするか。
0:30:55	説明グループのところの表を、
0:30:58	いつまでにどういうふうにしていくか。
0:31:01	そのための作業プロセスとしてはどうなるかということです。
0:31:08	はい。日本原燃伊勢でございます再処理の設計説明分類説明グループの整理ですけども
0:31:18	先ほどあった英語性のタスクだったり、最初の本体に書いてましたが、DBSAの整理も含めて、
0:31:28	連帯セットをしないといけないところもあるので、
0:31:34	をですねさっきの

0:31:38	分類をどう考えるか、どういうものがどの分類に入っているか、かつ、S d-DSAの仕分けって意味での、
0:31:48	整理をどう、引き渡しつつ説明グループでどう配慮したのかというところもセットで、
0:31:58	5 ベップの一つの作業として整理を進めていこうと思いますけど、それをどう進めるかか。
0:32:08	これができないと井清もくそもないんだ、井清せるにしても、そういう意味ではあれな、全体のタスクを全部整理しないと、みんな同じことやってもしようがないと。
0:32:28	ということで、私が頭の整理をしないといけないというですね松見ちゃんとか、
0:32:34	はい。
0:32:35	はい。
0:32:36	そうですね先頭バッターとしては事前の整理ってこと竜巻と溢水は、特に竜巻は先ほど
0:32:46	添付って形で表を作って、概念整理しましたよねってことでしたけど、溢水がまだそれに着手できてない。
0:32:54	ですよ。はい。
0:32:56	はい。それを着手できてないどころかタスクとしての認識が取れてなかったような気がするんで、
0:33:03	ちゃんとしていただく必要があってその中に、評価で見込んでいるもので設備としてちゃんと登録してあるのか、どう扱うんだってところ。
0:33:15	の拾い漏れってというのが多分あると思うので、
0:33:18	その点をどうしていくのかっていうのは早々にやらないと、ここでの拾い漏れにも繋がると。
0:33:27	ということで、先ほど少し話ありましたけど、
0:33:30	設計基本設計方針の共通でまとめちゃってるって言うやつは、それじゃ、その具体が拾えないよねってことで、
0:33:42	別表作って、こういうものがというので、
0:33:46	資料3につなげるように工夫されてます。
0:33:49	するってことですよ。
0:33:51	はい。
0:33:53	それが、あれですかねMOXはやったけど最初にはまだやれてないってことなんですかね。
0:33:58	はい。

0:34:01	わかりました。であればそれを早くやるということで、
0:34:06	やりつつII
0:34:08	先頭バッテリーたる竜巻溢水、
0:34:13	特に水ですね、が評価を見せながら、しっかりと抽出し、こういう抽出の仕方をしますそれによって漏れがないようにします。
0:34:23	である
0:34:25	成果物としてはこういうふうに表示していきますと。
0:34:28	いう古藤の確認を取っていくということを進めつつ、
0:34:35	全体にフィードバックをかけてやっていくというプロセスを、はい。
0:34:40	プロセススケジュールを明示していただければと思います。
0:34:45	はい、乳井西田でございます。はい、ありがとうございます。はい。それがスベンについては来週の進め方で、全体像、それぞれにリンクタスクとしてにしなきゃいけないものっていうのを、
0:34:56	整理をして、お示しをしますといったことだと正しく思いますので、はい。整理します。はい。
0:35:06	はい。補足です。
0:35:09	ちょっと具体なんですけど、先ほど少しがいて聞い辞書のことは話しましたが、
0:35:16	グループ2の内的溢水、薬品の関係で見ると、
0:35:22	12ページ。
0:35:28	再算ではなぜか屋外が入っていて、
0:35:34	何かなってみると、
0:35:40	一番右の欄の説明を行う関連条文というところで、外部衝撃の降水と、
0:35:46	いうのが入ってまして、
0:35:49	ここにこうあるってことワーグループ1の時2、
0:35:54	こういう趣旨からグループに飛ばすんです。
0:35:59	飛ばしても、グループ1としては説明がつきますと。
0:36:03	いうことを説明されるっていうことでいいですか。
0:36:18	はい、日本以上でございますそういう意味でそうですね。
0:36:24	こういう観点でっていうのを、だから別のグループで説明できるんだと、 いうことの整理をした上で、展開しようと思ってました。
0:36:35	実際はどこに今度の経営者、
0:36:39	別添1、
0:36:41	別添してこう何ページ。

0:36:45	1.1 の、
0:36:47	男児が見えたページ 34 ページとかですかね、別の説明グループでって 言っている遊佐猪野さん、説明グループ 1 の中で一番右側の欄、
0:37:00	2 コースに対する防護対策で貫通部の止水処理等手間等の中に何が 入ってるかありますけど、
0:37:07	これが、グループに預けるもの。
0:37:13	ということで、これが多分なぜこれが、この資料グループに預けられる かは、屋外の溢水の配慮として井清の条文適合として説明する。
0:37:25	ナカとアノ設定としては競合するから妥協じゃないんだ、同じだからとい うことで、そちら側に預けますという整理をしているというのが現状でご ざいます。
0:37:36	ただこの書き方も、お互いのリークはそれでいいんだってというのがわ かるようにちょっと記載が工夫する必要があると思いますが、
0:37:45	はい。補足です。それで言うと、そうですね。
0:37:50	これはあれでしたっけ会合でも使う。
0:37:53	資料なんです。はい。のつもりでございますので世間の人が見てもわか るようにいかないといけないというところでいくと余りにもバックと質疑と いうところは、
0:38:06	はい、古作です。今言われたところの前のページに、
0:38:11	四角囲みで説明はあるんですけど、事実関係しか書いてないということ なので、考えをちゃんと述べていただくということかとは思いますが、よろし くお願いします。
0:38:24	はい。日本原燃伊勢でございますはい。承知いたしました。
0:38:35	古作です。
0:38:39	資料の作り方なんですけど、結局これ、この
0:38:43	別添とはしましたっけ。
0:38:46	アベイダカネナリミイナリタを見ないと。
0:38:50	わからないんですけど、
0:38:56	10 ページ以降の兵頭別添等、それぞれつける意味は何かあるんです か。
0:39:06	はい、西田でございます。はいそういう意味で、それがですね、中途半 端ですいませんけどマルヤマてください。9 ページ、さっき午前中ご指摘 あった 8 から 9 ヶ月の文章がまずスタートかけてないので、
0:39:23	それを書いた上で、その具体がどう展開されているかの少なくともイメージ がわかるものが、10 ページ以降についていけば、実が足りるというこ

	とです。具体は現時点を見てくださいってということで飛ばしに行こうかというのがもともとのやりたかったことです。
0:39:38	かなり文章が去ったので、それを表に預けた結果 10 ページからの表と別添の差が全くもってなくなってしまったのが、
0:39:49	現状の悪いところと言う事です。はい。
0:39:52	コサクです状況わかりました少し整理をして、また提示いただければと思います。
0:40:03	はい、二本木西田でございます。はい。先ほど 8 ページの分類も含めて全体、整理をしてまた別途お示しをします。はい。
0:40:14	はい。補足です。もう 1 点だけ、先日、管理区域外漏えいの話の時に、三角のものがうまく拾えてないというようなことが、
0:40:27	それが事実かどうかわかりませんが、あったと思うんですけど、素行の対応方針なり何かありますか。
0:40:37	はい。二本木の石田でございますまず
0:40:44	下血が漏えい器にまず溢水の丸がついてないってのが現状だ。
0:40:49	多分そこが最初のボタンの間違いですか。雪害漏えい液が管理区域の境界について閉じ込めの境界としてはまず堰の役割がありますと。
0:41:00	ということで閉じ込め側に今もともとの申請対象設備でいくと丸三角なので、タンクがついていって今回で言うとB-4 がだぶついていると、いうこと。その施設外漏えい積の欄を見ても、溢水の条文のところきても何も書いてないというのが現状です。
0:41:17	とはいえ管理区域の境界にある堰に対して、管理区域で水を外に出さないという、協会としての認識を持たせて、
0:41:28	機能を期待するということであれば、当然その一斉にも丸をつけた上で、一斉としての、外へ出さないという機能を期待をすると、いうことをしっかりとエントリーをするということが、
0:41:40	必要だと思ってます。現状それがまず、立証の時点で抜けているというのが、状態で、かつ、閉じ込めとのリンクもう正しく書いてないという状況ですね。はい。
0:41:54	なのでまずリストから整理をして、何を対象にするかっていうのを明らかにするという整理をしていくということです。
0:42:02	はい。古作です。状況はわかりました何となく、何だそれと思いつつも、そうだろうなと推測できるところでいうと、
0:42:14	設工認なり許可もそうなんですけど、物として一つの用語であって、
0:42:21	1ヶ所に行って登録するということじゃなくて、

0:42:25	ものが一つなんだけど、複数の設備の登録 12、違う名前でエントリーを すると。
0:42:33	ということがあるので、
0:42:36	この名前としてはこの機能だけですかという意識があって丸付けをしち やってるんじゃないかなと。
0:42:44	思うんですけど。
0:42:46	現状この共通 12 での作業でいうと、物の名前は一つで、
0:42:52	こっちの観点からとこっちの観点からの要求があります。
0:42:57	それを、
0:42:59	抱き合わせて、このものとしてはこういう設計をしてますという説明をす るようになっていはいはなCなので、
0:43:09	許認可図書NO本文での扱っていいのはちょっと視点が違うと。
0:43:15	ということがあるので、それを踏まえてどう資料 1 を変えていくのか。
0:43:21	まとめたところで説明していくのかというこ等を、
0:43:25	意図的に意識しないと、作業漏れを起こすんじゃないかなと思いまし た。
0:43:34	はい。出野石原でございます。はい。ありがとうございますおっしゃって いただいている通りかと思えます。ナンバー一つに対して 1 機能ではな いので、いろんなものを考えてどういう機能を達成しなきゃいけないかを まず抜け漏れなく、
0:43:49	エントリーしていくという作業をしっかりとやると、ということだと思ってま す。はい。
0:43:55	はい。コサクですそれでいうと設備リストの縦軸にですね、一つのもの が複数の場所に書かれないようになってい話を前してたと思うんですけ ど。
0:44:06	今の関についてはそれが集合体として書いちゃってるからっていいこと もあるような気はするんですけど、うまく整理できてないっていう感じで すかね。
0:44:18	はい、日本原燃瀬谷でございますはい。
0:44:21	現用のとこで書くかどうかの微妙ですけど今は単純に施設がえろうエザ キというもともと会計建物の境界みたいについて関はその名前でエント リーされていて、
0:44:34	それとは別に、溢水対策設備としての積が、関一色ですけど、別の表の 欄として、整理をされているということになってます。はい。

0:44:45	はい。なんだろうかと、古作です。思うので、こういうずれが生じてくるんだと思うんですよ。
0:44:52	今の、
0:44:54	話で、
0:44:56	悩まれてる感じはしますけど確かに兼用かなんかでそっちの機能も持たせてますと言いつつ、
0:45:03	たすき掛けをしといて、
0:45:07	※書きなのかな何なのかなそちら側の機能もある部分があるからそれも付記しておきますと。
0:45:13	いうことなのかなあとは思いましたが全体の整理もあると思いますので、どうするかをまとめてまた説明いただければと思います。
0:45:25	はい、宮城瀬谷でございますはい。承知いたしました。
0:45:36	規制庁岡です。ちょっと、
0:45:38	8 ページ目の廃棄物管理の方の分類のお話なんですけど、
0:45:44	これ、項目の 2 番目の屋外につけた時間が、今、10 ページ目から書かれているところで表現されてなくて、
0:45:54	後ろの方の別添見ると、
0:45:57	1ヶ所の形態であって、58 ページ目の 6 番。
0:46:02	書いてあって、で、
0:46:03	一方で再処理の屋外の機器配管でナカ 4 で表現されてるからここにあって言うのかなと思ってたんですが、
0:46:12	この辺の共用、
0:46:14	タケダなんかエントリされてる間になって、どういう扱いになってるか教えていただきました。
0:46:30	日本医者でございます岩井っていうのが、肺の 2 番ですかね。
0:46:36	奥川委員や斉木菅。
0:46:46	少々お待ちください。
0:47:05	本日、ちょっと、
0:47:21	ちょっと今調べてますが昔廃棄物管理で燃料貯蔵といったような家政府が入ってるわけでもないですし、それは府ユーティリティ系の、
0:47:30	タンク類の話をしてるんじゃないかなと思いますけど、にしても、ネーミングが今ひとつです。
0:47:37	ようわからんという、
0:47:39	はい。ちょっとだけお待ちください。

0:48:14	はい。リストを一生懸命見ても、燃料長の設備しか出てこないみたいなんで、ちょっと時間いただいてちょっと進めてる間に、何者か調べていることをお伝えします。はい。はい。
0:48:26	はい。
0:48:27	です。
0:48:37	再処理側じゃないグループ 6、
0:48:40	で扱うような形になってるっていう。
0:48:42	その辺の整理のこともちょっと、
0:48:44	あわせて回答いただける。
0:48:51	はい、承知しました。
0:49:04	なんです。わかんない。
0:49:12	ないんだなと思ってるんですね。
0:49:19	規制庁の藤村です。江藤。
0:49:21	8 ページ、通しページの 8 ページで、文面のところはちょっとまた違うんですけど、
0:49:27	衛藤、ここちょっと整理をされるっていうことなので、その定義の中でどうされるか。
0:49:34	今は北海道、
0:49:36	3 番目の建物構築物、この辺はちょっと、
0:49:42	変更されてくるのかなと思うんですけども、10 番で勤怠と制御室っていうところに、建物構築物があって、今はその後ろの方の表とかを見てると、10 番に入っている建物構築物っていう緊待所の行しか入っていない気がするんです。制御建屋の方は、
0:49:59	3 番の方に入ってきたような整理になってるような気がするんですけどそのあたりってどう。
0:50:04	もともとはどう考えて、今後どうするべきなのかっていうところ、何かしゃべったら、福祉部、
0:50:23	はい、三野石田でございます。
0:50:28	本当に緊対しかねえな。
0:50:30	はい。あり、
0:50:39	まず建物構築物、新規今回勤怠がエントリーなので、勤怠系のものを建物構築物としては差異の中、
0:50:52	の中でのエントリーとしては考えていると、いうことだと思っておりますが、成立後 1 玉木に関わりませんということなんでしょけど、とはいえ今回建物広域に先ほどの対策系も含めて入ってくると。

0:51:06	説明することあるやろっていうところも含めて整理しないとこれだと抜けてるように見えますね。はい。整理します。はい。
0:51:25	規制庁山道です。当町でもか規制庁側からチューニングがありますでしょうか。
0:51:37	よろしければ、
0:51:40	近年側から説明をお願いします。
0:52:03	どっち。
0:52:05	はい。
0:52:06	乳井西浦でございますはい。
0:52:08	あとこの後、本文で修正した箇所を中心にということで
0:52:17	先ほどの兵頭委員の全体の対応方針でいきますと、
0:52:24	今日の午前中の話で、大きな論点となる項目がスポットと抜けてますという説明をしたのが、
0:52:32	まさしく 2.322 ページから始まって 2.3 の資料 2 でした、ここが 92 年での抜け漏れがないことという仕組みの
0:52:42	2 番目に、資料 1 に続く大きなポイントですと書いてます。そこが、
0:52:52	23 ページのところに表が、それぞれの機器要求種別の関係でどういうスキームで、小設計項目とひもづけていくかと。
0:53:02	ということ、特に評価については評価高評価要求になってるからただ評価ということで紐付けては駄目だよと、設計として考えなきゃいけないことがあるからちゃんと構造設計側にもひもづけて、評価コード設計とそれぞれのコラボ税整理をする必要があるよと。
0:53:19	というようなことのケアをしていくということ。タカキテライ会滝田イデない。
0:53:24	これじゃつくれんだろうなと思っているのが正直ありますけど、現状そういう手当をしていっていると、ということです。あと運用要求についても運用要求だからないよということじゃなくて、
0:53:35	設備とセットで運用も組み合わせながらやるものはちゃんと設計として展開をなささいというようなことの配慮でございますということをお聞き
0:53:47	予定の作るにあたっての展開としてはしてきた。
0:53:50	ということでございます。
0:53:53	はい。資料 3 がー
0:53:59	資料には大きくはその紐付けで、まず大きく抜け漏れがないこと、あと説明設計項目間でのひもづけをちゃんとすることということがポイントかと思っております。

0:54:11	27 ページ以降の資料 3 については、資料 2 で設計説明分類、先ほどはしょっちゃいましたけど代表を選んだものに対して構造設計等の展開をするということ。
0:54:25	あと構造設計として説明を何しなきゃいけないかは審査会合でも委員会ご説明した通り、設計として考えなきゃいけない要素っていうのをちゃんと抜き出して、
0:54:36	単純に添付書類の裏返しみたいな雑な構造設計の説明にならないようにということを念頭に、具体的な設計の説明をしていくと、ということ赤は図面との関係で、
0:54:50	何を対象にどういう設計を具体を展開したかがわかるようにも付けをしながら説明していくということを、供給の方針としては、掲げようということでございます。
0:55:03	はい。
0:55:04	まだちょっとこう書きながら実際出てる今回の資料 3 も、添付書類の裏返し案っていうようなことになってしまっているところもあるので、
0:55:15	まだここがうまく浸透できてないと思っておりますが実際そういう手当をしていかないといけないというふうに思って、本文側の手当をしたということでございます。
0:55:26	はい。
0:55:28	以上です。
0:55:31	新城山内です。資料 23 の説明までで、規制庁側から何かございますでしょうか。
0:55:41	うん。
0:55:44	規制庁コサクです。
0:55:50	対応方針でいろいろと議論させてもらった設計評価の関係について、
0:55:56	現状だと、2324 ページのところ要求種別から注意をすべきことを書き下しつつ、まだ書き足りてないと。
0:56:08	というような話で、これ対応方針特にMOXが先行して話をしてるようなやつをちゃんと書き下していくところの中にも入り込んでいって、
0:56:20	具体的に資料 2 で対応ができるようになっていくという孤島のようにも思いますけど、その理解で大丈夫ですか。例えば、格納容器の 102 でも、
0:56:30	評価に繋がるようなこともあるんですけど、
0:56:34	はい。日本のインダでございますはい。まずはおっしゃっていただけてる通り今日の値を防止、

0:56:42	共通に本来対応方針まだ金脳天になる項目として、
0:56:48	2人でないというところがまさしくここが提案をして、どういうふうに対応していくのかという方針を展開することによって、
0:56:57	教育事業本部側の手当というのものです。
0:57:02	明確になっていくと思っておりますので、対応としてはおっしゃっていただいている通りだと思います。はい。
0:57:15	はい。補足ですってそしたらまた来週どう進めるのかに応じて、反映状況等を確認したいと思います。
0:57:25	ソウノ、
0:57:27	点では、その後反映されるかと思うんですけど、25ページで後半部分で、アンダー引かれて、特に地震っていうようなことで書かれていますけど、
0:57:39	先ほどもあったように、地震っていう必要はあまり
0:57:44	大枠でいうとなくて、
0:57:46	そういう点での記載が大分足りないなあという気が。
0:57:52	しています。これよりも上のところとかでももうちょっと文章をブラッシュアップがした方がいいんじゃないかっていう気もしますし、
0:58:00	一方で、
0:58:03	特に地震によると言っているところだ等、その主添付書類が複数階層に存在することと違って言っていますね。
0:58:15	これ、
0:58:17	が何らかの意味を、
0:58:19	持つんであれば地震特有に何か解体をすることがあるのかと。
0:58:24	ということ具体で言うと、資料2の中の添付書類の、
0:58:29	引用してくるところの構成を少し変えなきゃと違ってという話につなげようと思ってるのかってというような気もするんですけど。
0:58:39	どんなもんなんですかね。
0:58:41	はい。まずもって中途半端ですいませんってことですね。はい。25ページの特に地震という地震に当て付け通りは全くないんですけどやりたかったのはおっしゃっていただいている通りで、
0:58:56	資料2の段階での添付書類のところに、どういう展開をするかだったり、消火体制設計のもととフローでいろんな条件設定みたいのを考えながら、
0:59:10	構造設計として考慮しないといけないキーワードを捨ってくるということも含めて、

0:59:17	評価ごとのコラボがあるものはみんな同じような展開が必要だと思いつつも耐震特に、どこにどの店舗を持ってくるかみたいなことも含めて、
0:59:29	ケアが必要だと思ってこの 25 ページの一番下から 2 番目の矢羽根を書きました。書きましたが意図が全部伝わってないところとか期待でないところは認識してます。はい。
0:59:41	はい、大崎です一応推察してたのが正しかったんだということはわかりました。
0:59:49	それで言うとその次の重大事故対処もう同じで
0:59:55	DBと合わせてハザード対応ということに引き継いでいくというところの工夫が必要ってところで徳田しよう。
1:00:05	されているという理解ですので、資料に一般的なところのルー記載ルールから多少脱線して、
1:00:17	わかるようにしていくという工夫資料のある部分っていうのでその内容がわかるようにしていただければと思います。
1:00:29	はい。日本原燃伊勢でございますはい。まずもってまず前半部分で共通的な方針として書かなきゃいけないことの拡充というもの、あと 25 ページにある留意事項も、
1:00:42	共通的な留意事項というのと、特別に何か考えなきゃいけないみたいなことの留意事項というのをちゃんと整理をした上で書き分けていくということかつ書き分ける以上はその目的が、
1:00:55	達成できるような書き方をするというので、記載の、
1:01:00	現場も含めてですね整理をさせていただきますはい。
1:01:13	古作です。
1:01:17	その点、
1:01:18	はいとしつつ、今の重大事故のところ
1:01:23	前半、追記された部分のところはその趣旨なんですけど、その一番後ろの
1:01:33	ところから、次のページにかけてということと言うと、代表に係る説明を行うってなっちゃって、
1:01:43	いや、代表ではなくてまず SA と DB が一、同じものわあ、一体として説明しますということで資料 2 自体飛ばすんですよねと。
1:01:56	ということが書けてないんじゃないですかね。はい。はい。峰インダでございます。ちょっとここ、大分、9 州として変えたところがあるのでおっしゃっていただいてるまず資料 2 でそれぞれちゃんと、

1:02:11	要求をあげた上で、共通項、飛ばし飛ばし飛ばし合いというか、受け合い、リンクを図るところをまずやらなきゃいけないことの1個目、その上で、そういったものを、同じものの類似性を考慮して、
1:02:27	同じく、同じ分類の中で説明をしていきますよと、というようなことをまずやりたいなと思ってますのでそれがちゃんとわかるように、記載をさせていただきます。
1:02:37	あとは、
1:02:41	そっか代表の話をここで言わなくていいのか。
1:02:44	はい、わかりましたはい、おっしゃる通りって書いてある通りですね。はい。いろんなことを全部言おうとしてぐちゃぐちゃになっているのはここで言わなきゃいけないことをまず、整理して、書かなきゃいけないことに、
1:02:56	強くして展開をしたいと思いますはい。
1:02:59	はい。補足です。資料2の一番右の欄では確かに代表の云々ということはあるのですが、
1:03:07	まずは、重大事故対象の条文で、差分を明確にした上で、その差分も含めて、
1:03:18	各受賞対応資料2の方にも突っ込んでいって、
1:03:24	DBもSAもう、
1:03:28	一体で違いも含め説明をしていくという、
1:03:33	ことなのでそういうふうになんとんと所を元の資料2の条文で言えば、DBのほうの条文として作り込んでいくものの、SAの30。
1:03:46	三条だったら3通16条だったりとかいうことを踏まえてのことも統合しますよと、部隊はそっちでやりますよって。
1:03:58	重大事故対処設備の条文としては、振るところ、特に環境条件という意味では降るところまでと。
1:04:05	いうことで具体の説明はここではしませんということになるので、そういったことがまず書いてあって、その上でどうするかって、代表のところと例えばそれまで言ってしまえば、
1:04:18	共通ルールのもとでやることだからということがあるわけですね。
1:04:23	はい。前の方で読めると思うのではここで書くことではないと。はい。
1:04:28	はい。コサクですわかりました。じゃあ整理をよろしくお願いします。
1:05:22	慎重ヤマグチです。どっか資料2、3人か、2と3までのところに関して、
1:05:28	藤。
1:05:29	規制庁側から他ございますでしょうか。

1:05:36	規制庁上出ですけど。
1:05:39	来週のヒアリングするので、どの辺をしっかり見ておけばいいのかわかっていう観点での質問なんですけど、さっき話があった 25 ページの、
1:05:51	1 タカヤ二つ目の矢羽根で、地震は、いろいろ、
1:05:58	ありましてと言ってますけど、これって耐震 6 条なりにかかる、
1:06:07	資料 2、
1:06:09	について、一旦整理をしたんですって言うので、もうそれでもう見てくださいっていう形で今出てきているのか、まだまだちょっと言う段階なのか、ちょっとステータスを教えてもらえますか。
1:06:23	はい。ニューメディアでございます。はい。25 ページの文書が綺麗に大豆ができましたって言うても説得力がないかもしれませんが、今回お出しをしている資料にはこれまで、
1:06:37	2-1 第 2-2 の整理がうまくいってなかったところ、これまでのやりとり踏まえて、我々として考えた結果で 2-1 で提示すべきものっていうのを、
1:06:48	ちゃんと資料 2 の段階で紐づけて、形としては整理ができているものを出していると思っておりますので
1:06:58	今、見ていただいて、ご指摘あれば当然、修正はしていきますが現状版としては、そういうステータスでございます。はい。
1:07:08	はい。規制庁管です。見てと言われても見えないぐらい字がちっちゃくて困るんですけど。わかりました。なんで、そのテンプレの奈良部。
1:07:19	方で並べている店舗の内容も含めて一応自分たちとしてはやりきったということですね。
1:07:29	なかなかはいっていうのはいるんですよ。はい。
1:07:34	はい。で、規制庁個別で、中身を
1:07:39	この表、
1:07:41	の中身を一つ一つ見てこれが認識違うなんていうのもなかなか辛いんですよ。こういう考えでこういうフォーマットに行き着きましたみたいな説明ってどっかに入ってますかね。
1:08:13	はい。右のイシダでございます。
1:08:15	それが資料 2、参考資料に入ってますって言いたいところなんですけど、そこまで参考資料でも書ききってない気もするので、
1:08:26	を令和いいですね。
1:08:31	何個ですか。
1:08:33	早めに参考資料をふやして、

1:08:36	演じさせてもらって、こういう考え方でってのがわかるようにして、
1:08:41	ポイントが明確になれば、
1:08:45	ねえ。
1:08:49	はい。ちょっと参考資料側でのケアをもうちょっと丁寧にさせていただいて、角田さんおっしゃってる資料 2、耐震でのケアをどうしたか。
1:08:59	いうことをどういうところにどういうふうな抜け漏れないような整理をしていって落としていたかと、いうことも含めて書かさせていただいたものをまず、
1:09:10	今日の話でほとんど本文も大分直さなきゃいけないので、二重にも一体何がっていうところもあるのでまずその参考資料の拡充をさせていただいて、それをもとに、
1:09:22	見ていただくっていう方がいいのかもしれませんが。はい。
1:09:27	はい。規制庁、菅です。今言われてた参考資料というのは、大体何ページぐらいに近い。
1:09:34	はい。先ほどの
1:09:49	5、551 ページ、元は 500 だけ。
1:10:05	そうか。
1:10:06	でも、
1:10:08	思えると添付書類の後ろから追ってって形できんじゃない。
1:10:12	資料 2 だけに、
1:10:13	資料読んだ方って、
1:10:17	うん。だってあそこに落とした理由、考え方を説明して、
1:10:22	だから、資料 2 の段階野瀬担保資料の 500 何ページだけ、資料 1 の何ページか。
1:10:34	529 から。
1:10:37	ただこれ、カトウ料で何か何か書くべきでないばっかしか書いてない。
1:10:44	これを多分拡充してCO2 の展開として、
1:10:49	特に 2-1-2 ヤギの設計等評価で、つまり、
1:10:55	工夫したところを確認してつけるってことって、
1:11:00	すいませんどっちがどっちに話してるかですけど、そういうことでどうでしょうって言うんですけど。
1:11:07	ものすごい急に言ってきた。
1:11:12	規制庁神戸です最初言われてた 4 からの展開だとそもそも駄目で、
1:11:20	大木。

1:11:21	は普通に突っ込んでんの方針がそこから展開できるはずなので、はい。そんな話だと駄目と思ってたんですけど
1:11:29	529、30 とか 2 ある参考資料のことであればとりあえずわかりつつ、基本方針をどう引っ張りましたか、何。
1:11:41	まず本部だと思うんですけど、そこからどう引っ張り並べてきたかというところがないので、そこを拡充してもらえばとりあえずはって感じですかね。
1:11:53	はい、わかりました。日本理事会でございます。はい、承知しました。その(10)番を並行してちょっと作って、はい。
1:12:02	お出ししますはい。
1:12:06	はい。伊勢。
1:12:07	同じ話になっちゃいそうな気もするんですけど 23 ページの表の一番下の、
1:12:16	評価要求のところでは評価により構造設計等が適切に行われていることを確認する。
1:12:27	評価に該当する場合は、
1:12:29	構造設計となってこれ日本語難しいんですけど、
1:12:35	何か、
1:12:36	この方針に基づき、ここだけはちゃんと書けてるんですみたいな、このことを言ってるんですみたいな、具体のページっていう所の方に特化あります。
1:12:56	少々お待ちください。
1:13:29	そっち。
1:13:31	資料 2 でこれの該当ページを、はい、西田でございます
1:13:40	先ほどの、
1:13:41	共通要因への対応更新のルー、ちゃんとグループ説明グループ 1 の対応方針の③バーンが
1:13:51	の項目で例えばで例示を挙げて、これの該当ページはどこかということをお示ししていければなと思いますけど。
1:14:01	ちょっとし、資料 3 の該当ページはすぐ出てくる資料の該当ページ調べて、そのあとで、あわせて、この項目にあたって該当するのはこのページを見ていただければというのが、をお伝えします。はい。
1:14:19	はいわかりました要はこの記載で、なんだろう
1:14:26	設計項目との関係が明確になってますよってということで説明終わりました、ないですよ。

1:14:35	はい。
1:14:39	規制庁神栖資料 23 についてとりあえず、私藤会長です。
1:14:52	院長山内です。
1:14:54	規制庁側から、ここは何かございますでしょうか。
1:14:59	規制庁岡です。さっきから使っていたその参考資料の方で、たまに、右上のところに、対応方針については検討中っていうか、網野リポートについては検討中とかってあるのは、
1:15:13	ここはまだフィックスしてないっていうことなんだと思うんですが、例えば、
1:15:18	526 ページ目、これ、どこがフィックスしてない。
1:15:38	うん。
1:15:46	ちょっとお待ちください。
1:15:58	はい。日本原燃志田でございますこれこれは私が前お約束したやつの宿題がまだ回答できてないっていうものだと思っていて、
1:16:10	ここで注 1 で全部まとめてフラグ立ててますけど、例えば 36 条側でジャンプアップみたいな条件があったときに、
1:16:21	やる、防護する設計とするは一緒だけど条件変わるよねみたいなところも含めて、
1:16:27	これを中 1 だけで全部やるのはまさに無理があるんで、どうやるかを考えてお示しますといったものが、まさしくまだ見直しができてないっていう検討中の状況でございます。
1:16:42	そのあとの 300 はじゃない。
1:16:45	132 なんかは、
1:16:47	でも似たような話ではあると思うんですが、
1:16:52	はい、人間者でございますこれは先ほどコサクさんとのやりとりでた資料 2 の段階での 36 条と八条のアノ飛ばす飛ばされるの関係で、
1:17:04	どこまでを 36 条側で書いてっていうのは条件まで違う、こういう条件が立つようというところとかも含めて、違いのところを書きながら飛ばして、比木オカの設計として、
1:17:18	全体は合わせてやっていきますということの、
1:17:21	まずは全体整理をちゃんとやった上で、どう示していくかということなので、そのベースの整理ができてないので、
1:17:28	それとの関係で見直し中という状況になっていく認識をしています。はい。
1:17:35	ないですね資料。
1:17:37	では、そういうところはまだ、

1:17:42	はい。
1:17:50	瀬戸山内です。2 で規制庁はございますでしょうか。
1:17:57	よろしければ、
1:18:00	宇井です。
1:18:05	資料 4 は特段河成。
1:18:08	原燃側から状況説明をお願いし、
1:18:12	はい、吉田でございます。はい。資料 4 は、大変申し訳ありません私ナカマがまだ
1:18:20	進んでませんので、院長また手つかずになってます。とはいえ、10 月末にお示しするというので
1:18:31	資料 3 枚の段階でも、先ほどまだ整理をしなければいけないものが残っている状況でもあるので、それと並行して検討は進めたいと思いますが、現状まだ進んでいるところは特にございません。
1:18:44	はい。すいません清水まで行っていただいたのに恐縮でございます先ほどのカミデさんからのご質問があった件については、
1:18:55	礼儀としては
1:18:58	資料 2 でいくと 168 ページ、それから、
1:19:05	これ支援方針だけ。
1:19:08	耐震の指示方針の展開がされていて、この中で、
1:19:14	構造設計で考慮することを、設計部の考え方だったりあと評価として受けるときに市岡側では何を説明するのかという構造設計と評価のコラボと機能やりとりをアノというもの。
1:19:30	整理をした結果がそういったところにちりばめてはおりますので、各上流からどう攻めてきたかというのもこの資料の中では展開をさせていただいてますそれを、
1:19:43	まさしくどういう非公開で作ったかを参考ナカでご提示をさせていただくということかと思ってましたので例えばの例で恐縮ですけどそういったページ、
1:19:54	でお示しをすることになると思いますはい。
1:20:02	はい、規制庁カミデです。今のところ、延寿。
1:20:07	次の評価により、
1:20:13	設定が適切に行われてることを確認するとか。
1:20:20	そうせえとの、
1:20:22	うん。そうですかって感じ。

1:20:26	そういうつもりで書いてるってということで、はい。まずはわかりました、読んでおきます。はい。
1:20:40	井清の構造設計でなくて、早田根本がない、耐震駄目だね。そうすつと、強化要求とPLUGだってないから、これで構造設計を売り切れるって言ったら、相当何か
1:20:54	胸椎の本文で書かないってのは、これ展開できない。
1:20:59	はい。
1:21:00	はい。すいません鶏と卵なってますんではい。
1:21:04	本文側のケアも含めて頑張ります。はい。
1:21:13	きちんとヤマナカイトウ。
1:21:17	原燃から本日時点での説明となると他ございますでしょうか。ごめんなさいコサクです。
1:21:26	今の点で本部も含めて頑張りますと言われたところなんですけど、ちょっと私が意識を飛んでしまったのでよくわかんないんですけど結局、
1:21:36	23 ページのところの記載、もうちょっと拡充しないって私最初の方にも、
1:21:42	お話ししましたが、この中身ってことでいいんですかね。
1:21:46	はい。与儀ニシダでございます。おっしゃっていただいている通りで先ほどご指摘いただきました機能要求でも、評価みたいなものを、もあるよねっていうのとあと、
1:21:57	私が完全に失念しておりましたっていうところで費用種別って結局コラボで書いてるものもあったりするので、そこをどう展開するか、そこはもう、
1:22:08	なんて言えばいいんですよ。こういう時は勝手にその性要求種別ごとにちゃんと展開できるんでいいんですけど、あとはケアしなきゃいけないところが一体どこかということも考えて、
1:22:21	先ほどあったように機能要求等評価をセットでやる場合は有休種別は機能要求②と例えば評価。
1:22:28	要求っていうのが、基本設計方針を要求種別展開するとき二つ立ててやっていたりするところもあるよっていうことを念頭に、とはいえ、先ほど耐震みたいに、明らかに評価要求、設計があるにもかかわらず評価要求という答えだけ。
1:22:44	結局は構造強度がもた、もつということの設計保守に対して評価をしてそれを0っていうことを確認しますよっていう意識で、要求種別を立てて

	る人は、いやいやそこには設計もあるよねっていうところをちゃんと意識して、
1:22:59	設計項目での展開抜け漏れがないようにねっていうところが、ちゃんと手当ができるように、この記載を整理をしていくと、ということかと思しますので、
1:23:09	その範囲の中だと思ってますはい。
1:23:14	はい、古作です。そこをまず整理してもらー
1:23:20	はナイトウ、ここでどういうところでの対応が適切なのかがわからないので、まずはそうなんですけど、
1:23:30	169 ページという話をされていたところですね、これ縦軸が
1:23:40	設計説明分類D、並べていてそれぞれに、設計方針がどう展開されているのかというのを、
1:23:51	書き下してってるっていう古藤ですけど。
1:23:56	分類が何か、ここを見ると細かく見えちゃう。
1:24:01	テーマ、
1:24:02	やっぱりMOXだからっていうことだと思うんですけど。
1:24:10	特に、これだと有限要素モデルなりなんなりってバーツと。
1:24:14	並んでるんですけどこれ、同じようにちゃんと考えられていますか。
1:24:19	とか、違いがどっかありますかみたいなどころを見るにはちょっとしんどいなあと。
1:24:25	思うんですけどどういう作業をしてるかってそれを何か体系的にこういうふうにやっていますっていうような説明をして、
1:24:33	いただいてそれが具体的に展開されてるかっていう、ワンクッションあった方がなんかわかりやすいなって気もするんですけど。
1:24:42	どうですかね。
1:24:44	はい、わかりました。吉田でございます承知しましたおっしゃっていただいていることは理解ですとはいえ、前にもお話した設計説明分類をどの条文を軸にして分類するかによって
1:25:02	分類が変わってきたり、さらにその内訳のうち括弧じゃないですけど、グローボックスを大分まとめた結果、内数がいろいろ出てきたりということもあって、どこで分類するのが一番いいのかってところは、
1:25:17	何を一緒に条文として考えるか、ということかと思ってましてその人にエントリーしなくて関連条文になった人はどうしてもその分類が、その条文の
1:25:29	視点で、メッセが限られてない以上、

1:25:32	同じ有限要素法でも、三つも四つの分類が重なってくると、いうことはあり得るのかなと思いつつも、そこにまず抜けがないよねっていうのをどう整理したかと。
1:25:45	いうところの入口の考え方ですね、先ほど参考資料で整理するといったところで、そういう上流からの整理、あと分類との関係というのを、
1:25:55	どう整理していった抜けがないように展開しているのかと。
1:26:01	いうことの説明を付加させて、追加させていただいて、それを本文の修正版と合わせて出してええですかね。
1:26:11	話をさしていただくということかと思えますはい。
1:26:21	古作です。
1:26:23	ちょっと、
1:26:24	どう見えてくるかがよくわからないんですけど。
1:26:30	北光。
1:26:32	同じことを書いて、
1:26:35	いるのであれば、先頭で書いて、
1:26:40	以下同文というかですね、同じ同じということでもいいんじゃないかなと。
1:26:48	思いますけど。
1:26:52	はい今はすみません分類単位で愚直に書かせてます。おっしゃっていただいて同じ事書いてるのはわかった上でそうしてるんですけど、
1:27:04	それも多分1回全部書いた上で、整理の仕方、見せ方としての、もうちょっとこういう工夫があるようにということは、当然あると思ってますのでそこも、
1:27:16	せえを進めさせていただければと思います。現状はおっしゃっていただいて同じ事がいっぱい書いています。
1:27:24	これコピーして見せるパターンも増えるだけなんですけど、
1:27:28	現状はそんなことになってますけど決してこれが一番いいやり方だとも思ってないんですけど、抜けがないようにということでやらせていただいているのが現状でございます。はい。
1:27:39	はい。逆にですね埋もれて見つかりにくくなる。
1:27:46	時があって、
1:27:48	特に差分はですねしっかりと見えるようにしていただきたいですね。
1:27:55	ていうことから考えると同じものは同じでここが違いますとかっていうようなことを書いた方が、

1:28:02	明快じゃないかなと思ったということです。作業の仕方でいろいろあると思いますので検討をお願いします。
1:28:14	はい、日本インダでございますはい。承知いたしました作業の仕方おっしゃったように、来場だったり、その差分であったり、この中での、
1:28:26	見せるべき説明として見るべきポイントみたいなのがわかるようにするというのも大事な要素だと思いますので、整理の仕方の検討を進めます。はい。
1:28:48	市長山口です。
1:28:51	かと原燃側から以下での説明となりますでしょうか。
1:28:59	弓削西原でございます特にございません。
1:29:03	センターとして、
1:29:05	藤規制庁側から確認でございますでしょうか。
1:29:10	規制庁神谷です。ちょっと資料 4 がやっぱりよくわかんないんで一応聞いておきますけど。
1:29:17	550
1:29:19	ページ。
1:29:20	もうちょっと前誰かな、548 ページの概念図で、資料 2 から四条 4 に対して矢印が引っ張ってあって、
1:29:33	そうあるべきだとは思いますが、この 2 から 4 にどんな情報を持っていきますか、読んでどう展開しますかっていうのが、いまいちその後ろに、
1:29:44	見えないんです。550 ページの、
1:29:48	左側な気もするんですけど、ちょっとどういう考えでさっきの 548 ページ、下向けの矢印を気象展開してるかみたいな、説明できますか。
1:30:02	はい。二本木の伊勢谷でございます。はい。まず、
1:30:10	資料に書き直すってやつってどっか書いてなかったっけ。
1:30:22	これ多分今の資料に海田でヤギ出て来ないよね。
1:30:36	そんなレベルで、もうちょっと整理してっていうんであればまだ読まないのでもいいんですけど、
1:30:49	もう 1 個、
1:30:51	背任インダでございますはい。まだ置いといていただいていいかもしれません。はい。もともとは 551 ページですかね資料西田側の資料 2 って書いてあるところ赤字で書いてるところはこれ
1:31:05	資料 4 を考えた上で何らか追求をしないと、

1:31:11	資料 3 に飛ばしたりするとき代表云々を資料 2 でやるのでそれとのコラボでよくわかんないんやなと思って、資料 4 の整理をする段階で 1 回資料に戻っていろいろツジ情報を追加しながら、
1:31:25	した上で、先ほど資料 2 から矢印下に受けて、評価項目だったり、代表云々の話も含めてやってアップをすると。
1:31:36	いうことを考えていこうかなと思ってましたがおっしゃったヤマダアノ生煮えなので、見ていただかなくてもいいと思いますはい。
1:31:48	はい。うん。4 から 2 の矢印は、その 551 ページにあるし、
1:31:56	基本の 2 から 4 が見えない、イエスでまた読もう。最後計算書にいくと思うんだけど、どうもこう計算書等リンクしてるような感じもしないしなあと思いながら見てたんでまあ、
1:32:11	それにしてももう少し悩まれるということなんですが、それにしてもですねやっぱり資料によるにしても、4 をイメージしておかないとっていうところもあるので、どこまで詰められるかなあとは思う。
1:32:26	ていうところですか進め方としてちょっと綺麗に
1:32:31	治療に言わせ、できないっていう形にはなりそう。
1:32:35	以上です。
1:32:40	と規制庁コサクです。
1:32:43	同じなのですが、資料の 4 のイメージが私と全然違うんです。
1:32:52	資料 4 のイメージってどう、どう、どうなってるのかっていうことなんですけど。
1:32:57	これで言うと資料 4 も①②③と作ろうと思って、
1:33:03	いいんだ。
1:33:08	丸さんになってないんだ。
1:33:10	丸になっちゃってるけど②が何か全然違うのがついていますが。
1:33:16	3 部構成かなんかで作ろうとしてて、
1:33:20	ということなんですけど特に一番最後のページのイメージが全然違ってて、
1:33:27	カミデが言ったように最終的には計算書になるはずですけど。
1:33:31	いうところなんですよ。
1:33:40	で、これ何で計算書があるにもかかわらず、
1:33:44	説明がこんなポンチ絵になるのかがよくわかんないんですけど、何を考えてるんでしょうか。
1:33:58	資料 3 はあの構造設計だから、ポンチ絵でいいんですけど。

1:34:04	はい、乳井西田でございますこれだよね。資料3の絵を使っていいんだよね。
1:34:11	資料3。
1:34:13	書いてある数字のどれをリンクして条件として使ってるかを見せるために、
1:34:19	一番最後のページは、図面をつけていいと私は認識していて、上は資料3で下が資料4-1ですか。はい、そうです。はい。
1:34:29	そうすると下が資料4D表になってます。この表は前のページ。
1:34:37	今日峯村は402と一緒にことですか。添付。はい。同じですね。はい。
1:34:46	本当だ。
1:34:49	抜粋なんだ。
1:34:56	そうすると、
1:35:01	あと150、550ページが、資料402の、
1:35:07	全体像を示していて、その具体どういうふうに関連して作っていくのかっていうのは次のページ次のページでいい。はい。
1:35:18	はい。はい。
1:35:21	で、そうするとー。
1:35:24	資料4は①②の二つの構成ですか。
1:35:30	変更点は、
1:35:33	そういうことで、
1:35:35	図面ないわな。
1:35:39	今は、
1:35:42	010にですね評価項目一覧表というやつと、550ページの基本設計方針から展開をする。
1:35:54	計算溶接というか、
1:35:57	各種計算書作成方針みたいな、縦軸になってますけどこれごとに条件だっつりの設定の考え方を変えていくということで考えてました。
1:36:14	入って、古作ですけど、この表を作る意味が何があるんですか。
1:36:22	経産省じゃ駄目なの。
1:36:40	次。
1:36:44	はい、イデシハラでございます。はい。
1:36:55	もともと計算書に行く前に、言ってみれば、竜巻みたいな会社でも評価奉仕の添付書類があったり、
1:37:08	耐震の耐震計算書作成方針があったり、

1:37:11	そういうところで全体の評価としての枠組みでの全体の流れだったり、条件設定の考え方からみたいなものとも展開をしていたので、
1:37:23	そういうのを全体集めた上で、累計して、その設定の具体については代表で説明をすると。
1:37:30	当然ながらその計算、増設に従った結果は当然、結果として当然あるんですけどもそれをリンクして、
1:37:39	その最終的な結果を紐付けて説明していくと、それが 2-2 が小正しく 550 ページみたいな計算のプロセスみたいなものを説明する。
1:37:49	3-2D 計算結果の計算書そのものというリンクかなと思って、考えてたのがもともとの施工でした。それがもともと違ってたんであればもう 1 回考えます。
1:38:05	よくわかんないんですけど、計算書って言っても、計算方針の部分と計算結果の部分があってですね、方針のところはそもそも累計で書かれてるはずなんですよ。
1:38:19	令和 2 年 6 月のペーパーは、設工認そもそも累計申請書の中で累計にされてて、それだけで確認がとれるようにというつもりで言っていて、
1:38:31	別途こういう説明を求めるつもりはサラサラなかったわけですよ。
1:38:36	そういう申請書になってないから、整理し直しの議論をしてるんであって、
1:38:42	計算書においてはさほどそんなに、
1:38:45	ずれが生じてない部分は多いと思ってて、
1:38:49	だとするとそこをわざわざマターなんか作業する必要ってないので、
1:38:56	引用してきて、しかもその計算書兼添付書類での計算書での計算方針っていうことだと、まだ補足しなきゃいけないことが幾つかあるので、
1:39:08	そういうのはもう即説明資料に、実用炉でもなってるはずで、
1:39:12	そのときに、
1:39:14	代表機器の例示っていうことで、こういうふうな設定の仕方してますよと。
1:39:20	いう説明をしてるんじゃないかなあと思うんで、そういうことをやってくれるもんだと思ってたんです。
1:39:27	ある意味、共通 12 の中の資料というよりは、個別補足説明資料になってりゃいい。
1:39:34	いうことであって、その紐づけとかがされてれば十分じゃないかなと。
1:39:40	これで十分ですよって説明がここにあればいいんじゃないかなと思っただんですけど。

1:39:57	はい、井上瀬谷でございます。すいません。根本的に私が考えが違ってた気がするので、もう1回整理します。はい。
1:40:07	規制庁上出ですけど、多分そんな根本的にも違ってなくて、今回の耐震計算書って、実用炉みたいに、1個の機器に対して説明があってモデル図があって、計算式があってっていう、
1:40:22	ものではなくて、共通するものは上にまとめて掘計算書の作成方針という形でまとめて書いているので、要は、
1:40:35	それをやってる会社さんはその計算書の作成方針に紐づくところまでやればあとは自明でしょとなるので、この形で計算書まで展開ができると思っていただろうし、
1:40:49	とは言ってもそれが本当に大丈夫か後はそ、
1:40:55	基本方針だけにも書けないところもあるし、とかいろいろあるので、イメージがちょっと合わなかったのかなという気はしますが今回の
1:41:05	計算書の作り方っていうところを踏まえればそんなにずれてないのかで、私もイメージが違うと言ってイシハラさんに同じような説明をされたときに、
1:41:16	そうは言っても今回そういう形だしなあと思って一旦こう形を見てみたいかなと思ってその時はそのままっていう形だったんで、それが今回見れるかなと思いつつまだ見えてないので、ちょっと、
1:41:32	接っちゃうようなところはあるんですけどそんなにずれてないんじゃないかって一旦形にしてもらったらいんじゃないかなっていう気はしますが
1:41:47	はい、西田でございますはい。
1:41:52	はい。まずは、
1:41:55	入力と、何か手戻りもダイバーの手配、1回、うん。
1:42:00	3、今回の説明グループ1のやつで、
1:42:03	こういう形っていうサンプルを作ってみて上げ再計算者との関係どうなってるんだっていうところも含めて、
1:42:10	整理をしてみてくださいか。はい。
1:42:15	はい。規制庁加茂です計算書も、結構構造が一緒に、1ポツに概要があり2ポツに、何か配置があって3ポツに計算。
1:42:26	ガーッとみたいなの、その辺の構造は体型とるっていうのでそこに合うように、整理ができるような気もしますので、まずはちょっとやってみてって感じですか。
1:42:40	はい、日本インダでございます承知しました。

1:42:49	古作です。
1:42:53	あまりですね、この作業で新たなことをやられても、各作業する量が増え確認する作業が増え、
1:43:03	ということにしかならないと思ったのでお話ししてるんですけど。
1:43:09	一方審査会合で、
1:43:13	この類型での評価の内容を説明するというニーズはあって、
1:43:18	その
1:43:22	レベルでは何らか作業しなきゃいけないと、具体については、計算、添付書類で済むものは済むだし、その分、補足説明。
1:43:34	代表が入れてしまえばそれで済むオーナー済むと。
1:43:37	いうことだから、
1:43:41	それで十分な感じはしててっていうのをどう、どうつなげていかなあという中間生成物の、
1:43:50	会合としての、
1:43:51	対応なのかなという気はします。
1:44:01	古作です。そうすると、資料 40 にわあ、
1:44:04	委員会市赤井会合資料の本体として出すものじゃないですよ。
1:44:11	いうことだから、それをどういうふうなものにするつもりですかっていうこと。
1:44:17	になるかと思います。
1:44:27	はい、米田でございますはい、ありがとうございます。まず、私自身の頭を整理します。はい。
1:44:37	コサクです今回、
1:44:40	あんまり
1:44:42	頑張った作業の結果ご破算になるというようなことがないようにって意味ではこの段階で話ができてよかったかなと思うんですけど。
1:44:51	ちょっと入口に帰って確認なんですけど、
1:44:54	548 ページ全体の流れが書かれていて、今の話でいうと資料 2 から、
1:45:04	資料 4-1 ということで項目を受けますと、そこ
1:45:11	代表ということでこの項目をこう説明してきますということで抽出をして、具体をとる流れは、
1:45:21	そうだろうと。
1:45:23	②の方ではもうちょっとポイントを絞ってあれば公開で、説明がしやすいようにと。

1:45:31	ということの配慮をしていただいてということで、
1:45:36	②から上に戻っていくものについては先ほどのこの後のページであったように、具体を見ていった中で資料に反映しなきゃというフィードバック者と、
1:45:48	ということで実態はその資料 402 という、
1:45:52	よりは実態の内容をちゃんと資料に入れ込むという作業で、
1:45:58	ゆ、並行して作業してるとその支店がやりやすいよねってということでこう書かれてるというふうに理解をしています。
1:46:06	で、資料 3 の方は、
1:46:11	胃瘻を分けをしている意味合いはちょっとよ、あれですけど。
1:46:15	ええ。
1:46:17	さんから入ってくると言ってるのはそもそも資料 2 の中で、下におりると、右にイクノとっていうのを関連付けをしながら、
1:46:28	整理をしていると言ってる関連づけたものを、
1:46:32	資料 3 と 4 の間でも見えるようにしますよという矢印だと思えばいいんですよね。はい。すみません。はい。宮城ニシダでございます。おっしゃっていただいた通りでございます。
1:46:44	はい、蘇武です。質問は、
1:46:48	左の線なんですよ。
1:46:52	これは何の意味があるんですか。
1:47:08	はい。人間ニシダでございます。今までこれ、
1:47:12	いや、いや、左側、
1:47:19	実際にはないですね、真ん中の矢印上がって戻ったよっていう、女性だけなんでこれ用意しとけばいいか。
1:47:35	わかりましたあまり、
1:47:38	必要ないなら書かなくてもいいですし、書いてる出資がどうしてもあるんであればちゃん等、説明をしていただくと。
1:47:47	ということでよろしく願います。
1:47:51	はい。日本原燃石田でございます。はい、承知いたしました。
1:48:04	市長山口ほか 2002 年前、規制庁側から、
1:48:17	よろしければ、
1:48:20	本日の振り返りですけど、
1:48:23	休憩を挟んで、
1:48:26	やるってことで原燃がよろしいんでしょうか。

1:48:30	はい。日本原燃石田でございますはい。10分ほどお時間をいただければと思います。はい。
1:48:37	わかりました。それでは、
1:48:43	35分再開で休憩。
1:48:46	さみませう。
1:48:48	ませう。
0:00:00	公開しました。それで人間側から振り返りをお願いします。
0:00:06	はい。日本イシダでございます。まず今回、ここのごめん。
0:00:13	等のやりとりみたいな金
0:00:16	小刻みな項目になってますが、来週の前め方までに修正を言うていた共通12の全体の対応方針、
0:00:27	説明グループ1に関わる部分もあるかもしれませんが全体だと思うのでそちらの対応方針を修正する際に、
0:00:37	項目立ても含めて、整理をして、それぞれちゃんと収納していくと、考え方を整理していくということでさせていただきます。今日時点では16項目ですかね幾つか挙げてますがほとんど最初の設計説明分類説明グループの
0:00:54	項目でとってますが、まず、本部再処理と書いてますがもう設計説明分類、設計説明グループの設定の考え方を、
0:01:06	意外とちゃんと整理をする、要求事項に対して、抜け漏れなく説明ができていて、あとは設計と説明することに対しての名は体を表すじゃないですがイメージがつかめるような、
0:01:19	かつ共通項を類似性を持って分類、合わせていくと、まとめていくということから、どういう分類がいいのかということ資料1のトライアンドエラーじゃないですけど、
0:01:32	ヤタ様としてもう一度ちゃんと整理をしていこうと、いうことだと思ってます。
0:01:36	そういう意味で③番みたいなところで3要件は、建物構築物オクウエキオク内規みたいな、整理も含めて、
0:01:47	スキーム整理していきましょうということだったり、④番の火災防護対策設備、ただいま5設備課、これは全体の整理、さっきの三、四、9みたいな整理等の
0:01:59	横並びということも考えてどういう分類で整理していくのがいいのかと、いうことを、
0:02:05	整理を進めていくのかなというふうに認識をしています。

0:02:09	はい。
0:02:10	あとは⑤番は
0:02:13	分類順、再々50ですね、これのところの勤怠飯野とか静養室も含めた、説明グループの整理の中での書き方ですね、何か抜け漏れがあるような推移記載になっているので、
0:02:30	そこで全体抜けなく、説明すべき項目がちゃんとピックアップされてますよねと、ということかと思えます。
0:02:39	あとは、3位、34、③番④番、③番角栗原3番のところの項目は分類の後に、本文上でも主な設備どんなものがあるかと。
0:02:52	というのが今回の設計の説明のイメージとの紐づけができるように、展開をしていくということかと思ってます。
0:03:02	はい。
0:03:03	⑥番は記載の趣旨をちゃんと確認した上で適切な表現にしていくと。
0:03:10	ということかと思えますあと、⑦番は、
0:03:18	IT部と最終の共用のやつですね、資料に資料3での紐付けがあったり資料三、四の展開だったりというところは、ヒアリングの中で、どういうふうに整理していくかと。
0:03:29	イメージをお話した通り、検討を進めていくと、ということかと思ってます。
0:03:36	はい。⑧番は、これ、資料1の政治条文の要求事項が抜け漏れなく、
0:03:46	急いできてるはずなのに説明グループの整理になると何か抜けがあるようになっているというところは今一度どういし整理をしていけば、抜け漏れなく資料1から順番に展開をしていけるかということの、スキームの整理をまずちゃんとやると。
0:04:02	ということと事実の整理ということかと思ってます。
0:04:08	はい。これ、それが⑨番も同じだな。はい。
0:04:14	すいません、丸です。はい。スクロールしてっちゃうので、ちょっとコメントすると⑦番で書いてあるのは、
0:04:24	三、四はいいけど2においてっていうふうになってんですけど私どちらかっていうと34でちゃんと見えるようにコメントしたつもり。
0:04:33	なので、
0:04:35	そちらがこういう心配をしてるんだとしたら、各段階でちゃんと共用が見えるように、或いは共用じゃないものも、との混在もあると思うので、
0:04:45	ちゃんとその範囲がわかるようにということで、
0:04:51	お願いします。

0:04:53	はい。乳井ニシダでございます。はい。ありがとうございます。はい。ちょっとですねヒアリングの場で話したのは、資料3での設計の中で共用として考慮することだったりサブも含めたいろんな展開の仕方で、
0:05:06	必要なことがちゃんと書かれるようにということだったと認識をしておりますので、脅威、同じイセ設定説明文の中に共用するものと共用でもなく単独であるも、
0:05:18	というのがあればそういう書き分けも含めて、抜け漏れがないように整理をしていく。
0:05:23	ということで認識をしております。はい。
0:05:32	コサクです。次8番9番。
0:05:37	ウワー。
0:05:44	いっぱい書いてあってちょっと頭に入ってこないんですけど、
0:05:55	大丈夫かな。
0:05:59	と、
0:06:01	そうですね、何か。
0:06:05	私がしゃべったことをそのまま書いてる感がある。
0:06:11	それも多分同じことに対して8番と9番を言ったような気がするので、
0:06:17	私がしゃべったことが長かった方がよくないかな。
0:06:27	でもあれだな10番でこれに関連して書きちゃうとなんか、9番小宅ませんかって話。
0:06:34	これに関連じゃなくて施設が漏れい時が完全にもう今の時点で抜けてるから書かないとねって話なんで、
0:06:42	そういうの他にも同じように複数の条文要求割合は、ケーヨーの中に書いてあり、見て漏れがないことを見てっていう話なんで、
0:06:51	9番、8番9番はもう別途も言いたいよね。
0:06:59	ふうん。
0:07:03	ToBeと条文の紐付け条文の要求事項の各内訳みたいなものも、基本設計方針等の整理で、抜け、の設備がどの要求に該当する。
0:07:16	かっていうのを抜け漏れがないように、展開をしていきたいと思いますということがもともとやらないといけないことだと思うので、そこをちゃんと書けばいいのかなと思ってます。はい。
0:07:30	はい。補足です。まず、資料1なりの、
0:07:36	作業はそうだと思いますし、
0:07:41	⑨の後段側で書いてるやつでいうと、共通12の

0:07:49	説明グループの記載だったり、別添でしたっけ、の記載の中で、抜けない重複なり、
0:07:59	ずれだったりっていうのがあったような気がするので、
0:08:03	その内容についてもうチェックをしていきますっていう、
0:08:09	こと。
0:08:11	あればいいんじゃないかなと思いますけど。
0:08:14	はい、ありがとう。
0:08:16	何か表記で何か工夫しなきゃというよりはまたちゃんとやるっていう。
0:08:20	はい。はい。
0:08:22	あって、大枠で言えば一番上であったコメント対応されれば、はい。見えてくるんだと思います。
0:08:31	はい。
0:08:33	ありがとうございます。
0:08:36	いえ。
0:08:40	止まってる。
0:08:42	これが竹前。
0:08:45	出して、
0:08:46	今修文しなくてもいいですよ。はい。対応方針が定期やってきて、そこは方針整理ですよというぐらいにもう、今、残してあれば、
0:08:58	はい。後で整理してください。
0:09:00	はい。
0:09:02	そういった下を行っていただいて、
0:09:07	10、
0:09:11	一番、
0:09:20	これ 11 番さっきの設備の話。
0:09:25	はい。
0:09:26	でも、MOXっと書いてあるところが 12 番。
0:09:31	は、
0:09:36	これはどちらかというと、温度の話ですか。はい。
0:09:40	MOXと書いてますがどちらかというと本部そのものの話です。評価し、資料 2 での有給種別からの展開のところの、
0:09:52	記載の拡充は必要だとか要求種別が複数点変えられるとか、もともと要求シミズ評価としかなくてないところ運営構造設計部、

0:10:03	やるべきことをちゃんと抽出するってところの抜けが抜け漏れがないように、どう大枠の方針として展開をしているか、いかかという、いうことで本文の拡充が必要だということ。
0:10:16	あと同じように、資料 2 の、配慮事項みたいなやつで書いてるところはまず全体のスキーム、整理をさせていただきます共通事項と個別に、
0:10:27	何らかやらなきゃいけないことみたいのをちゃんと書き分けるということと、
0:10:32	DSAのところについては、DB
0:10:38	への設計制度の設計その共通項みたいなものの飛ばし合いみたいなものも含めて、協定でまとめて説明するという流れになるような考え方をわざと本文では、ミツイオカいくと。
0:10:53	ということかと思ってますので、カトウセガワでちゃんとどこまで資料 2-136 条ですかね、の方で示していくかというところの、本文事項としての整理をしていきたいと思います。
0:11:10	はい。14 番、
0:11:15	これはあれですね参考資料の拡充をさせていただくということで、資料 2、特に耐震の部分も含めてどういうふうに榎を設計欲しいから、要求事項展開をして、
0:11:29	行動だったり、評価をしないといけないところのコラボだったりというところの書き方の展開をしたかと、いうことを、参考資料を拡充して、示しをするということ。
0:11:42	はい。あと資料 2 そのものでページがここでといった該当ページのところで
0:11:53	昔の設計説明文に対して同じような設計の内容が書いてあるところ、どちらかというと同じことを書くというよりは、差分がどこにあるのかというところを明確にするというところで、ターゲットを明確にして、
0:12:08	記載の方向を考えると、ということだと思ってます。
0:12:12	はい。16 番は資料 4 の話は実際、審査会合も含めてどう評価、解析評価の部分を示していくかと。
0:12:24	いうことのイメージをまず、整理をさせていただこうと思いますので、それを踏まえて、また議論をさせていただければと思います。以上です。
0:12:37	コサクです。大した話じゃないですけど、14 番、
0:12:42	2 行目に経緯を示す内容をもって言ってるんですけど。
0:12:48	キーワいらないんじゃないかなというなり、
0:12:56	じゃないですかね。

0:12:59	はい。
0:13:00	はい、ありがとうございます。はい。
0:13:10	大丈夫。慎重ヤマグチですよ。
0:13:15	もう全体を通して、規制庁側からもらえますでしょうか。平瀬オオオカです。再処理の管理のところで、ちょっと分類のところで話があった管理の、
0:13:27	第2項目の屋外の機器。
0:13:30	の扱って、調べますって話になります。すいませんでした。なぜヤノ分類その最初の差分が出てるかちゃんと整理をしますということですけども、
0:13:42	退職自体は、廃棄物管理施設の予備電源の燃料用のタンクです。
0:13:50	リアのディーゼル発電機の燃料用のタンク、
0:13:53	ということとタンクと供給用の配管。
0:13:56	ヘビーか。
0:13:58	は大丈夫ですけど、勧誘の共用のフラグを立ててあそこにあれだけが入ってて、差は処理側でも同じ分類のやつは特になくてあそこだけはてくださいというのは、
0:14:11	多分、
0:14:12	コラボできるところを説明して最後に残ったスパイはそこに落ち込んだってことだと思うんですけど。
0:14:18	本当にそうかはちょっと整理を別途します。はい。はい。
0:14:23	他のとどうも合っていないことではご検討お願いします。
0:14:32	規制庁ヤマグチですよ。
0:14:34	絶対お仕着せでわかりますでしょうか。
0:14:37	コサクです。今の話でいうと、何ではじかれちゃったんだろうなあと思うと、相変わらずズー、別で作業してんじゃねえかっていう、
0:14:49	気がしているんですけど。
0:14:52	同じ再処理事業部なんですから、
0:14:56	一体でやりやいいのと思うんですけど、体制どうなってます。
0:15:02	はい、乳井の石田でございますはい
0:15:06	まあ、おっしゃる通り同じ最初に事業部です各許認可業務課は最初にも廃棄物関係も一緒です。同じ人間ですんで、来て初めてやってるわけではないと思っておりますけど、

0:15:17	どうしても忘れ間言う、上げられるような体制になってるような気がしますんで、ケアしていきます。はい。
0:15:24	はい。補足ですよろしく申し上げます。
0:15:28	山内SE兼確認ですが
0:15:32	今日のヒアリング、また来週 22 日に処す具体の確認すると思うんですけど中元下、本日のヒアリングで大きな
0:15:43	何か何か確認して修正があればみたいな話をしてたと思うんですけど、資料自体ってなんか、本文で直して、来週までに直してとかそういうのがあるんでしょうか。
0:15:56	はい。入園者でございます。はい。自分で自分も首を絞めた感はありませんけど。はい。今日のやりとりを踏まえただけでも、本文それなりに直さないといけないところもありますし、
0:16:10	あと午前中やった対応方針としてのいろんなタスクの関係ですね今後の進め方でやっているアノ関係の整理、いろんなタスクがあってやらなきゃいけないことがどこの、どうスキームで整理されてどういう優先順位だったり、リンクが張られてるかっていう、
0:16:26	整理をした上で、今日、いろいろと、
0:16:30	お話にも来上った最初の設計説明文とか説明グループの説明の考え方だったり、
0:16:37	DSM当然その中で考えながら整理をしなければいけなかったりするんで、全体整理をしないといけない。
0:16:46	思ってますので、対応方針もそうですし、資料の本文自体も修正が必要で、
0:16:55	来週お出しする必要があると思ってます。参考資料も間に合えば当然それまでに出ささせていただくということかと思ってます。
0:17:04	はい。その上で、多分出すタイミングの関係でヒアリングの日程も含めて、またご相談しないといけないかなと思いつつながら、はい。受けましたが、
0:17:15	はい出来高含めて、再度調整させていただければと思います。はい。
0:17:20	はい、山内です。わかりました。またその資料の修正状況とかを踏まえて、連絡いただければと思うのでお願いします。
0:17:28	全体通して規制庁側からでございますでしょうか。
0:17:34	井清はこれね、原燃側もよろしいでしょうか。
0:17:39	はい。2 年は特にございません。
0:17:42	それ、これに本日はヒアリングを終了しますので録音を消します。

時間	自動文字起こし結果
0:00:00	公開しましたとそれではただいまから日本原燃とのヒアリングを開始します。本日のヒアリングは令和4年12月26日に申請があった最初にフッ化廃棄物
0:00:12	また令和5年2月28日に申請があったMOX燃料加工施設の設工認申請について資料をもとにヒアリングにて事実確認を行うものになります。
0:00:21	ヤマザキ成長側の出席者を紹介いたしますと本庁会議室からハバサキヤマグチとその他WEBからカミデ等また
0:00:32	耐震の内容が終わった後の進め方の方に入って竜巻の方に入ったときに改めてメンバー追加になるのでそのときに、
0:00:42	トランペット。
0:00:43	現時点でのあと原燃側の出席者について紹介をお願いします。
0:00:50	はい。日本原燃事務局の中でございます。
0:00:53	日本原燃側の出席者紹介いたします。
0:00:57	Steeringチームより、ケツクノモトイシグロタカヤイシハラ。
0:01:04	あと六ヶ所側からMOX及び再処理の事務局へ参加させていただいてございます。以上です。
0:01:12	それでは本日の旧リングの、
0:01:17	について、説明シート③の資料について原燃側から説明をお願いします。
0:01:24	はい。日本原燃の大戸でございます。それではですね本日、
0:01:28	冒頭にですね9月8日に提出させていただきました入力地震のさ、
0:01:34	あほ
0:01:36	に、
0:01:36	基づきまして現状の我々の一番、すいません、地盤物性関係の進捗についての状況報告をさせていただく。
0:01:49	というふうに考えてございます。状況は9月8日付の資料で、ご提出いたしました通り、岩盤部分の減衰定数ですね。衛藤。
0:02:02	オオニシ側から、はい。今の9月15日までメキにスタイルを適用してるところで檜垣ヤギさんのところ方が、サイトウてですね、それなりの精度でできたかなというところで今姫路城解析にかかっていると、
0:02:17	今ちょっとそういうふうな状況でございます。一方地震アカシ方法につきましては、今ちょっと入社とはイシハラのですね傾向が伝播経路の中でうまくとらえられていないような、

0:02:29	データが出てきているところということでございまして、これちょっと尾藤計測でのデータもとっておるもんですから、これ元にもう1分析できないかということらしてると。
0:02:39	ざっと申し上げますとそういう状況でございます。
0:02:44	その岩盤の減衰定数はそんなところございまして、あとですねちょっと口頭で恐縮なんですけれども、表層部制部門ですね、こちらまたちょっと今後の進め方の資料の方でもまたちょっと研究はさしていただいておりますけれども、
0:03:02	全体にですねこのちょっとシナリオの検討というのを進めているところなんですけども、ちょっと外部のですね、ご支援もいただきながらちょっとやっておるところなんですけども、
0:03:14	ちょっとその外部のご支援の方ですね議論してる中で、もう少しちょっと切ってじっくりですね、検討すべきであるといったようなコメントもいただいておりますね
0:03:26	今週中にはまとめてとっていたんですけどもそれが少しちょっとお時間いただいてまとめた方がいいかなという状況になってございます。またちょっとスケジュールの話ではある。
0:03:37	衛藤すべてまた
0:03:43	他にちょっと大蔵。
0:03:52	藤。以上でございます。
0:03:56	はい規制庁浜崎です。神谷さん聞こえてますか。
0:04:02	大丈夫ですと、私の方でちょっと進行やってもいいですか。
0:04:09	はい。よろしくお願ひします。はい。キュウチョウハバサキ月へと。
0:04:13	ちょっと今日、急遽、
0:04:17	このヒアリングの構成をですね、最初に地盤モデルの技術的な話をさせていただく、で、後から今後の進め方の中で、スケジュールに関してそのうちの一つとして地盤モデルをという話だったんですけど、
0:04:32	ちょっと要は、最初に技術、技術的な話ということで今野元さんから、
0:04:38	話がありました表層についても含めてもですね、技術的な話については、ちょっと前半で、はい。やって、後半の進め方はあくまでもスケジュールの話ということにして、さしていただきたいと思ひます。
0:04:50	それで、今の説明で何点か確認したいんですけども、まず
0:04:57	東西地盤については、まず減衰の話があまり当初の進捗スケジュール、
0:05:06	通りにはいってないと。

0:05:07	いうふうに理解しましたけど、理解しましたけれども、
0:05:13	まずですね、ちょっと技術的な話を聞きたいんですが、
0:05:16	地震干渉法の話ですけども、これは伝達関数、伝達関数を使った評価とは違うやり方、要は、
0:05:26	GL-2メートルと125メートルでしたっけ、の記録をもとに、統計的な処理を行って評価するというような、
0:05:38	地盤モデルのモデル化っていうものは関係ない、ある意味ですね、手法というふうに理解してたんですけども、
0:05:46	その伝達関数を用いる方も、東西地盤特に西側がうまくいってない。
0:05:53	こと自身は干渉法の東西の話っていうのは、何か関係性があるものなんでしょうか。
0:06:00	技術的な話で。はい。辨野でございます西澤がてこずっていう話をヒガシがもう一度やり直しをしたんですけども。はい。というのとこの干渉法で、このデータのあれですね、連絡。
0:06:16	高校の入試は、傾向がどうもちょっと崩れてると言うのとは何か技術に関係があるのかということで、はい。7月ですね今あのですね、江藤六ヶ所の方で、これの担当の者を控えておりますのでちょっと私からはちょっとお答えできる能力がないので、向こうからちょっと答えてもらえればと。
0:06:35	思うんですけども六ヶ所オガワすみません、今浜崎さんのお問いに対してお答えすることができませんでしょうか。
0:06:43	はい。日本原燃のオオハシですこちらの声はすいません聞こえますでしょうか。はい聞こえます。はいありがとうございます日本原燃のオガセでございます。今のアノハバサキさんのご質問について回答いたします。
0:06:55	今浜崎さんおっしゃいました通り、あくまで地震伝達関数による検討は、速度とか、あと減衰定数そういったものをセットにして同定をかける手法で、一方で地震は干渉法というのはそういった地盤の速度構造とは関係なく、地震の観測記録から、
0:07:12	単純にその山の何ていうんですかね入射と反射の比率だけで減衰を単純に出すというところで、その地盤のモデル化みたいなのところの速度構造の同定みたいなのところが関係のないものになってございます。ですので、今回アノコウノ資料でもお示している1ポツの伝達関数に受けんと、
0:07:28	あと2ポツで地震干渉による検討を並べてますけれども、どちらもちょっと西ヒガシちょっと今うまくいってないですねと言っておりますけれども、

	その要因、うまくいかない要因というのは、別のものになっているというところでございます。まずここまでアノすみません事実としてお答えします。以上です。
0:07:43	はい。規制庁浜崎です。そうすると、自販消防に関しては、これは独立で、要は伝達関数の話とは独立で、今後資料提示等があるというふうに考えておけばよろしいですか。
0:07:59	日本原燃のオガセでございます。ちょっとタイミングのはなCも絡んでくるとは思うのですけれども、検討としてはどちらかに引っ張られるということはありませんので、個別に出すことは可能です。今のところ今後、今、この後スケジュール関係の話があると思うんですけれども、
0:08:16	なるべく一緒のタイミングで出せればというところでの検討はしているところでございます。以上です。はい。規制庁浜崎ですこちらで勤務してましたのは、今のところ中央地盤については伝達関数と地震は干渉、
0:08:31	法の結果というのが1回説明されてるんですけども、
0:08:35	今後、その伝達関数と自身は干渉の話がリンクするようなことだと、それを待ってないといけない。
0:08:45	だから時間的にはですね、できたところからまず内容を確認しましょうっていうスタンスの方がいいと思ってまして、そうすると、
0:08:55	伝達関数の話が、ある程度めどが立たないと、干渉法が出てこないのかなという危惧をしてたんですけども、
0:09:07	技術的には別物と考えておけばよろしいわけですね。
0:09:13	全然乗って、別物という認識でございます六ヶ所がされてよろしいですね。
0:09:19	はい。日本原燃はすべておっしゃる通り別物の認識でいただいてOKです。大丈夫でございます。
0:09:26	はい。規制庁浜崎です。その上でセットで資料提示がある、か或いは別に、別々で提示されるということは原燃の方で、
0:09:38	今後スケジュールを考えてもらえればいいと思いますのでまず技術的には全く別物というふうに理解しました。
0:09:48	はい。それでは、
0:09:52	瀬田浜崎です。
0:09:54	それで今後の進め方という観点では、スケジュールの話じゃなくてな、技術的な中身についてですけども、
0:10:04	当初はかなり、一つ二つ前ぐらいに、東西も含めて、伝達関数も地震干渉法も、結果を提出するという予定だったと思いますけれども、

0:10:18	やはり何だかんだという形でちょっと遅れがあって、なりつつある、ありますので、
0:10:25	今日の段階では今月末ぐらいに一つの資料提出ということで、お話あったんですけれども、
0:10:34	これがまたずれ込むような話っていうことは、まだあり得る。
0:10:40	大丈夫ですか。はい。全然ノモでございます。正直申しまして、それはまだあり得るというふうには思っております。特にですね今西垣坂は、9月15日まで再同定を実施しておりますけどもその結果を、
0:10:56	やはり見た時点で、社内の支援の方もう見ていただいてこれはもう一度同定すべきだよなとなればもうワンクールちょっと回すことになりますのでそうしますと、
0:11:06	少なくとも1週間は後ろ倒しになっていくと、いうことになるとは思っております。当初ですね9月8日までにシミュレーションを完了して9月15日に資料のご提示をと。
0:11:19	いうふうに申し上げておりましたけどもやはりダンメンでは全部ワンパスでいけるようなスケジュールリングを、ひとまずはご定義はしておりましたけれどもちょっとこれは、
0:11:30	イタレーションが起きればちょっと遅れて、
0:11:35	あり得るだろうなということとはちょっとお話をさせていただいたところで危惧しておったことがその通りにちょっと起きてきたかなというところがございます。
0:11:45	ただ、ある程度こういうふうなやり直しが生じるというのはある程度想定内ではありますので、びっくりするようなことが大きい。
0:11:55	でございます。以上でございます。
0:11:58	はい、既設浜崎です現時点での野本さんというか原燃側の見解ということでは理解しました。
0:12:07	粗相は言いましてもですね、まだ10月以降の審査会合のスケジュールの話とかございますんで、
0:12:17	今後ですね、先ほど言いました、これはC、
0:12:23	D、今後で説明していただくのか、或いはある程度パッケージで出しますって話ですと、結構その会合だとか今後のスケジュールにも影響してきますんでですね。
0:12:34	ちょっとそこはある程度、麻痺、えっと、今日の資料っていいですか今後のスケジュール後からの資料もそうなんですけども、

0:12:43	10月或いは10月以降の審査会合の進め方も含めてですね、ちょっと今後説明の方、計画を立てて説明の方をしてもらいたいと思いますが、
0:12:55	まだ
0:12:57	ササキの話といえば先の話なんですけどね。はい。
0:13:00	今の段階からそういう。
0:13:02	計画を、を持ってですね、説明をお願いしたいと思います。
0:13:06	はい。原燃野本でございます。はい。承知いたしました。
0:13:13	はい。
0:13:14	来てた形です。
0:13:16	ちょっと中身の本当の中身に入る前にですね、技術的な意味での現状とか、今後について私の方から聞いたつもりなんですけども、
0:13:29	カミデさんの方から何か現時点で確認しておく時点事項とかございますでしょうか。
0:13:38	はい。カミデです。
0:13:42	雲南門田目聞けばいいのかなっていうのありますけど、とりあえず、聞くとすると、今、今日の
0:13:49	件、同状況メモの
0:13:52	西側も東側もそうなんですけど1ポツのGL-18メーターは10-125メーターの伝達関数についてって書いてあって、
0:14:07	資料を見ると他のところにもず全部で6種類ぐらい伝達関数あるんですけど、そのうち1ヶ所だけ頑張ってるってことなんです。
0:14:18	県の方でございます。すいません六ヶ所側からお答えできればお願いしたいんですけども。
0:14:32	六ヶ所が応答できますか。
0:14:35	すいませんマイク切れておりました日本原燃のオガセですいません。今回地盤モデルの構成として耐震建物08には書いておりますけれども、うちの地盤モデルというのは表層と岩盤と解放基盤以深というふうに分かれておまして、今回こちらでご説明しているのは岩盤部分の減衰定数ということで、
0:14:54	まさしく深さ的にはこの-125分の-18というところに該当いたします。今回その増幅特性として例えばシミュレーションなんかとして
0:15:04	観測記録に対して、合わせていくっていうのがまずリニア然りバイリニアで減衰出す時にやっているわけなんですけれども、やはりそういうシミュレーションとして効いてくるの結果として見ているところに対応するところがこの-125--18ですので、

0:15:18	少なくともここは合わせんとあかんだらうというような観点で、今こちらの深さのところを徳田市でこちらの進捗のペーパーには書かせていただいた次第です。ただ当然実施していることとしましてはカミデさん今おっしゃいました他の深さ間の
0:15:32	計 6 組み合わせの深さからですね、伝達関数を合わせに行っているというところは事実としては変わらないところです。以上です。
0:15:41	規制庁小峰です。
0:15:44	答えがよくわからないんですね。
0:15:47	1ヶ所だけやってるんですかっていうことに対して、
0:15:51	イエスなのか、ノーなのかで答えられると思うんですけど、もしくは、この結果を踏まえて褒められるのかね。半田。
0:16:02	とかっていうのもあるかもしれないですけどちょっと簡潔に答えて。
0:16:07	はい、原燃のオガセでございますアノけすみません回答でいくと、Yesです全組み合わせの深さでやっているというところです。
0:16:15	派遣ノモトでございます。ごめんなさい。小形さん。全深さのそれぞれの階層で、この伝達感染に対してのフィッティングはやっているんだけども、
0:16:26	GL-18-125年の愛を重点的に見ながらやっている、そういう理解で、お答えしてるっていう理解でいいですか。
0:16:36	日本原燃尾鷲すいません今おっしゃった通りです。はい。
0:16:42	辨野でございます。失礼いたしました。そういうことでございます。
0:16:47	そうだとすると、
0:16:50	今、
0:16:52	相川、東川ハママツ、
0:16:55	T
0:16:55	東側のGL18、125 イケダから、
0:17:01	今 2 メーター—2 メーター18 とか 2 メーターの 125 とかっていうのは今どうて書けてるっていうことなんですか。
0:17:15	日本原燃のオガセでございます。一応これって、検討としてはですね六つの深さ間の伝達関数が個別に構図として表されていますけれども、全部 1 度に同定全部、六つですので、今のお話の観察や、
0:17:31	今の話の始め方だと、もう終わってます。以上なんじゃないですか。
0:17:42	アンケート日本原燃、あ、すいません。ヒガシははい。大体いいところまで行ったというこのペーパーに書いてるところですけども、六つの深さ

	の組み合わせの伝達関数それぞれが終わっているところというステータスです。
0:17:57	はい。規制庁甲斐ですそれぞれきちんと同定できたねっていうのが、原燃の目でもそうだし、支援してる人の目でも大丈夫ということですか。
0:18:10	はい。日本原燃オガセです東側地盤についてはおっしゃる通りです。
0:18:16	はい、規制庁管理ですなんかそうだとしたら、そう書けばいいのになっていう感じがするし、
0:18:22	何か変に限定をかけてて、ここだけ大事なんですっていうんだったら、大事なところだけ耐震建物つつう8でやればいいし、結局何のためにこの6ヶ所やってるのかっていうところもう何か定まってないとりあえずやってみましたっていうふうにな、
0:18:40	話を聞いている限りでは、思ってるんで、そもそもここ何ヶ所やんなきゃいけないのか、それはそもそもどういう目的を達成するためにみたいなのところから、ちゃんと認識がお我々と合わせていかないと、
0:18:55	何かいちいちこんな話になっちゃうんだなって。
0:18:58	やはり、まず08とかその検討のロジックっていう意味でも、気をつけてもらいたいしあとこういう状況紹介っていうところでもう、まず全体どうなのかっていうところを押さえた上で各論という形で、
0:19:13	記載をしていかないと、いつも他どうなのって思っちゃうのでそんなちょっと気をつけてもらえんと思います。
0:19:20	前の方でございます。失礼いたしました。確かに、全体にですねどういう位置付けで全体がどうやって、今の進捗はそのうちの増であると。
0:19:30	いうことがちょっとわかるように、こういうところでも表現すべきだと、いうことがちょっとできておりませんでした失礼いたしました。項目をつけたり、
0:19:38	以上でございます。
0:19:40	はい。いいですか、ちょっと規制庁ハバサキですちょっと中身の話なんですけど、資料がないんで、空中戦にならないようにしますけれども、
0:19:51	大垣さんにお聞きしたいんですが、先ほど大橋さんが言われようとしてたことがちょっと気になります。今、6ヶ所の六つの組み合わせの伝達関数で、その度、フィッティングを見みながら、同定かけますと、
0:20:08	で、同定するのは今回ですと地盤の減衰定数なんですけれども、そのときに、
0:20:16	GL-125分のマイナス18に対しては、何らかの重みをつけてますのか、重みをつけてますとかですね、全くやそういう話ではなくて、

0:20:28	ただ、結果的に、125 よりも、125 分の 118 を、は、岩盤部分ということでは重要としますけれども、解析、同定上の
0:20:41	検討では、全くそこはフラットに扱ってますってということなのか、そこら辺の説明がですね先ほどのカミデの話にも通じるんですけども、なんでこの 125 分の 18 を、徳田Cになるの。
0:20:57	或いは徳田しなくていいのっていう話もありますねこれ -200 からの伝達関数に意味を持たせるよってということもある意味、技術的には議論の余地があると思ってますので、
0:21:11	そのあたり、今現状としてどうやって同定をして、伝達関数のフィッティングに関して主ミイなり、評価をしようとしているのか。
0:21:22	ちょっと資料がない中でですけども、口頭ベースで可能な限り説明いただけますでしょうか。
0:21:31	一本原燃のオガセでございますすみません私の説明に誤解があったようで恐縮でした。-128 分の 18 を徳田したというところで重みがつけているのかつけてないのかという話については、今回は重みをつけていません六つの深さ間についてフラットに何ですかね同じ重さに同定かけているということになってございます。
0:21:51	なんで地盤の上から下まで全体を、同時にフラットな条件で同定かけているということになりますこれはまず事実関係としてあります。今回この資料の中で 125 分の -18 というところ徳田市でわざわざ書いてしまったところというのが、
0:22:06	資料もない中で恐縮なんですけれども、東側地盤の伝達関数の合い具合というのは前回のご提出の資料で出しているところなんです、そのうちの深さ間のうち、この 125 分の 18 のところで、この特定周期での合いが悪いという課題があったというところが、はい。
0:22:22	前回までの同定結果での宿題といいますか、何ていうんすかね課題として残ったところでしたので、そこを何かこううまく説明する地盤の再同定をかけようという意味で、この合っていないところがどこでしたかというところで深さ感のところを徳田して書いた次第でございました。以上です。
0:22:39	はい既設ハバサキです今の大賀さんの説明は理解しましたが、
0:22:45	これやはり耐震 0 アノ建物 08 の資料を見ながら、やはりお互い認識を確認し合った方がいいと思いますんで今のお話ですとあたかも GL-125 分の 18、
0:22:59	の特性が、例えば、目的関数に当てないって言われてますけども、マイナス 200 分の 18 も同様の傾向であってないとかですね。

0:23:09	或いは、-200分の-2メーターはじゃどうなんですかみたいな話が、こちらとしては確認。
0:23:17	すべきと思っておりますんで、ちょっと今後やはり具体的な内容については、08を見ながら、確認したいと思っております。
0:23:25	ちょっと先ほどの125分の18の電卓単数の意味合いも含めてですね、現状の資料ですとなかなかそこら辺もわかりにくいところあるので、
0:23:40	今後ですね説明の準備の方お願いしたいと思っております。よろしいですか。
0:23:46	はい。案件の方でございました。おっしゃる通りですねこの結果のご説明の際にはもちろん、何をに着目してどうやったのかと。
0:23:58	いうことがちょっとわかるような、ちゃんと説明をとということが必要だと思っておりますので対応して参りたいというふうに思います。以上でございます。すみません六ヶ所がわかればいいのか補足ありますか。
0:24:14	はい。日本原燃はサノ08側のところで、見ながらご説明できるように準備しております。以上です。はい、木崎です。1点だけすみません今回西側に関しては再度という形でトライして、
0:24:27	しますということなんですけども、具体的にす。
0:24:31	どんな変数を、或いはどういう所作を変えることによって再同定をしようとするのかとかですね、そこら辺の情報もですね非常に重要になってきますんで、今後説明の方お願いしたいと思っております。よろしいですか。
0:24:47	はい。日本原燃のオガセでございますはい。今、いろいろと取り組んでいる状況という意味では、ご説明は可能です。はい。
0:24:56	はい、北崎です富沢さんすみません途中を挙げておりました、
0:25:03	はい。
0:25:05	とはいえ、私、規制庁カミデですけど私から、
0:25:08	それ以上今言うことないかな。
0:25:12	東西、西に関しては08でも、まだですっていう感じで、
0:25:19	資料提示を受けてからその重みづけなり、フラットになりっていうのはまだ次の時にそういう話でも、当然ないと困りますよっていうことだと思うので認識して対応してもらえればと思いますし、
0:25:37	中央の方も、そういうところまでは説明がまだきちっとされていなくてただ結果として、こんなもんです。うんっていうだけですから
0:25:48	なぜこういう検討をしてるのかなぜこれでいいのか、あとはデータのどういふところを見て判断したのかっていうのはちゃんとしてくださいねってのは会合でもお伝えしたところですから引き続き、
0:26:01	ああいう対応とか認識してもらえればと思いますちょっと今回の資料は

0:26:06	何か変に徳田していける。
0:26:09	うん。という感じがしました。はい。私からは以上です。
0:26:15	はい。既設浜崎です。
0:26:17	今もお話がちょっと出ましたけれども、中央に関しては、従来の結果ということで説明があるんですけども、なぜ中央と東西が違ってきているのかっていうところもある、説明のポイントとってますので、
0:26:33	先ほど東西について詳細に説明してくださいという話は、企業との比較も含めてですね、説明をしてもらいたいと思ってます。
0:26:43	緒方さんそれよろしいでしょうか。
0:26:47	はい、原燃のオガセでございます。かしこまりました。はい、そのようにいたします。
0:26:53	神ノモトでございます。すいませんちょっと私だけがわかってない。すいません六ヶ所からも突っ込んでいただきたいんですけども、えっとですね、今ウツミですねやっぱりきちんと伝達関数を見ながら同定かけて行っていて、投資名称に移行してくと。
0:27:10	こういう流れだとは思ってるんですけども、ユーザーにやっぱりちょっと合いが悪いよねという状況の報告はさせていただいたところがございます。ただこのそれぞれ今日もですね、西もヒガシも、
0:27:22	前ちょっと合いが悪かったのを、ここをこう変えてこうしましたとかそういうふうなここ時系列を打っていくような形ではなくて、
0:27:32	やはりさ、同定をこういう形でかけて、こういうふうな再現性のよいものが置き換えられましたという、
0:27:42	やっぱり結果形でちょっと素直にご説明差し上げるののかなっていう印象を持ってたんすけどそこは認識は同じですかはい規制庁ハバサキです
0:27:52	最終的に今、言いますか基本的にはそのスタンスでいいと思うんですけども。はい。ご存知のように、同定ってある意味ブラックボックスなわけなんで。はい。ある意味我々としては、結果を見て、
0:28:04	合ってやってない。うん。で判断してくださいって言われると。うん。いやそのための条件じゃ。うん。今回中央と当然変えるんなら、なぜお帰ったことによって今回良くなったのかとかですね。
0:28:17	そういったところを、本当に正しいことをやられてるのかどうかっていうのを確認する必要があると認識してますので、
0:28:24	主なといたしますかですね。
0:28:27	ちっちゃいところから、細かい話までは必要ないんですけど、ある程度やはりその結果に影響し得るような因子については、

0:28:37	きちんと説明をしてもらいたいというふうに思ってます。日本原燃野元で ございます。はい。わかりました。別に系列がどうか、作業ステップが どうということではなくて、
0:28:50	中央と調査について、何か条件変えることで、その活力の下げがうまく いくということであれば、何か得ることによってどういう物理現象をあれ ですね、衛藤を模擬できることになったのかと。
0:29:03	多様なところの部分も含めてその差分については、説明が必要である というご指摘だと、いうふうに、すいません私あまりちょっととください てあれなんですけれども。
0:29:15	理解いたしました。すいません六ヶ所だから私の今のちょっと理解に誤 解があれば、出して欲しいですし、何か補足あればお願いいたします。
0:29:25	はい。日本原燃のオガセです今の会話でよくわかりました大体何か区 間のイメージつきました今西側東側についてははいわかるその伝達関数 への整合性の改善みたいなところに取り組んでいるんですが、その時 にハバサキさんがご懸念されているようにある程度何かしらの
0:29:42	例えば初期条件に転送されたりとかっていうところも視野に入れてやっ ているところです。そういったところが、中央の時はそれはなかったけど 西側の時にはそれをやったなぜならばってというようなところとかそうい ったところをちゃんとご説明してあげる方が、必要だというふうに認識しま したので、先ほど浜崎さんおっしゃったように中央と、
0:29:58	西東出の条件の違いみたいなのところも、きちんと理由付で踏まえた記載 のほうをちょっと、今後、オオハシの方には書いていくべきだというふう に認識をしました。以上です。
0:30:09	はい規制庁浜崎です。最後の方お願いします。
0:30:13	今のような観点に審査をするというのはですね、今回、設工認で地盤モ デルを今回、原燃のやってるような手法で設定するっていうのは、ある 意味、新規性のある話だと思ってます。
0:30:27	ので、従前もう超えてナベタモード、どんな事業者もやってる方法ならば そこまで中身を、に追加追求する必要はないと思ってますけれども、
0:30:38	やはり新たなチャレンジなトライアルというふうに思いますのでです ね、きちんとそこは確認したいと思ってます。
0:30:46	あとですね中央地盤に関しても、
0:30:53	従前も説明をいただいていますけれども、
0:30:56	例えば、シミュレーション結果についても、例えば9電の、選考の結果、 これは許可の、地盤モデルですけども、

0:31:07	それと比較してもですね、ちょっとここは本当に
0:31:13	行っていると評価しているものかどうかとかですね、いろいろこれから詰める内容があると思ってますので、もう中央地盤を確認済みっていうのではなくて、
0:31:26	今後ですね特に、
0:31:29	シミュレーションのところですね、も含めて、説明を受けて、こちらからの確認をさせていただきたいと思ってますので、そちらの方も準備をお願いしたいと思います。
0:31:40	よろしいでしょうか。
0:31:45	オガセかしこまりました。そういう準備をしております。以上です。出野です。古閑さんの今のハバサキさんのご指摘で具体的なイメージが湧きましたか。私あんまりわかってなかったんでもしあれだったら後で教えていただけたらいいんですけど。
0:32:01	9電さんのモデルと比較して、ちょっとご懸念があるというふうにおっしゃってるようには思えたんですけども、ある程度見当がついて何をご説明したらいいか今検討ついてますか。
0:32:16	はい。日本原燃のオガセでございます。いわゆるシミュレーションのところでの大小関係みたいなどころのご説明について、
0:32:24	ちょっと今後ニシカワヒガシが出てからというところもありますが、超えているところあとはとんとんになっていると一部ちょっと上回ってしまっているとかそういったところがどういうふうに、
0:32:35	我々としてその同定されたものに対して扱うかっていうところをはい、何て言うんすかね。確認すべきだというふうに確認というかご説明すべきだというふうに思っております。
0:32:45	ありがとうございます。今小野瀬が説明しましたようなまず見たときに、シミュレーションとの比較ということで、我々の分析結果ウノを示しするというので、今おっしゃっていただいたご出身が入っておりますでしょうか。はい。
0:33:00	規制庁浜崎です大淵さんが今言われた内容で、多分大町さん理解されてると思います。
0:33:06	これも空中戦資料を見ながらのほうがいいんですけども、バイリニアとリニアの伝達関数の比較、ごめんなさい、シミュレーション結果の比較を見ると、
0:33:17	観測記録食うが上回っている地震。
0:33:22	今、

0:33:23	見られるということありますので、
0:33:28	その傾向がですね、あまり
0:33:33	下回る衛藤なんだし、投資シミュレーション結果の方が下回っている。
0:33:41	わけですので、本当にこれでいいんだろうか。で、周波数、一定の結果は、
0:33:48	概ねそれを上回っている観測記録をその包絡するような、或いは、
0:33:54	かなり大きな値になってる。で、これは取水、減衰の評価法によつての違いっていうのわかるんですけども、
0:34:01	その梅林にあとりニアの特性が、それをもって、資料の中には概ね一致してるっていうのもう、
0:34:11	1 から視されてるわけなんでですね、そこをしっかりと分析しないと、結果的に周波数一定だからフォローしてるからいいんですよおしまいで、やはり、
0:34:21	十分な分析になってないというふうに思ってますので、地震ごとなのか、その解析の何らかのプロセスの
0:34:31	違いなのかですね、そこら辺もしっかりと詰めていきたいと思ってますので、対応してくださいという趣旨です。
0:34:39	県の方でございますはい。は私も理解いたしましたすみませんありがとうございます。
0:34:47	はい規制庁オザキですということもあってですね耐震 0G に関しては、今ゲンタツ関数のところだけでいろいろ口頭でやりとりあり、
0:34:57	していただきましたけれども、追加ですね確認事項というものが、幾つもありますんでですねそれを、
0:35:04	ヒアリングをマツノか或いは
0:35:11	ヒアリングをもってですねやはり確認していきたいと思ってますので、対応の方お願いしたいと思います。
0:35:19	安全ノモトでございます。はい。本データがですね、取りそろえ次第、できるだけ早く資料をご提示してご確認いただきたいと、我々も思っておりますのでよろしくお願いいたします。
0:35:32	はい。木内ハバサキです。あと二つありまして、まず地震は干渉法の話ですけれども、
0:35:41	これに関しては先ほど伝達関数のような地盤モデルは使わないということですが、
0:35:54	現時点ですね、なぜうまくいってないのかその理由については、

0:36:00	何か物理的な理由っていうものは、見通しっていうのは、られているんでしょうか。
0:36:07	全然駄目でございます。六ヶ所だから、今ちょっとお答えできる範疇で、解せつういただけますか。
0:36:14	お願いします。
0:36:15	はい。日本原燃のオガセでございます。現時点におけるうまくいってない考察というようなところでございますけれども、この地震は干渉法というのはですねその地盤の中で、
0:36:28	岩盤のところから上に上がってきて地表で全反射してんで、下に帰っていくというこの上、上、下から上にいって、それから最後戻っていくっていうパスの中での、
0:36:39	何ていうんすかね。入社分の反射分の山の高さを減衰定数と見立ててやるというところでございます。というところで、こういった地表の記録というものがちゃんと精度よく取れていないとなかなかできないその全反射するところが地表だというところで、
0:36:55	地表の観測記録を使わざるをえないというところなんでございますけれども、今の地震観測を行っている地点というのが西側東側というところが、いわゆる表層の方には結構邪魔みたいなのところがあったりして、何ていうんすかね表層がこう綺麗になっている地盤ではないというようなところもしくは何かしらのノイズが乗っているというような状況
0:37:15	がどうやら見てとれるところでございます。今の地震観測記録の使ったやつ分析みたいなのところをやっているんですけども、普通でしたら何て言うんすかね地震は増幅ないし高減衰していくときというのは、
0:37:28	波の形というものが、今回の地震計つけてるのが-200-125A-18、あと地表というふうの下から行くわけなんですけれども、その形を保持大体こう保持したままで地震は系の
0:37:41	位相みたいなものを保持したままで上に上がってきてだけでも地震はの大きさがこう大きくなったりちっちゃくなったりっていうふうなところで上がってくるのが普通だったんですけども、ちょっと中央に比べて西側東側というのが、その単純にこうずっとこう増幅で上がってくるのではなくて、波の形自体が地表に来るといきなり崩れてしまうというようなそういうような影響が見、
0:38:01	状況が見てとれました。そういうような観測記録を使った場合には、今申し上げました地震干渉法という方法が、地表の記録を反射境界として

	こう定義しなきゃいけない以上その地表の記録がちょっとやっぱりそういう形が崩れていると。
0:38:15	どうしても何ていうんすかね統計的な情報として、各周期の波がどれぐらい減衰かかっているかというようなところが出てこないというようなちょっとそういう状況が見て原因として挙げられたところでございます。そういう意味で中央ではこうだけ西側東側こうだからちょっとうまくいかないっていうような、
0:38:31	先ほどの伝達関数の時と同じような感じですね、中央との比較という形で、ちょっとうまくないですねというようなところのご説明が可能だというふうに考えております。以上です。
0:38:40	はい。規制庁浜崎です。
0:38:43	今のご説明だと、GL-2メートル地表位置での観測が東西の場合は、表層の物性値が必ずしも一様でないために、
0:38:55	かなりノイズというか、本来、期待しているような形がとれてないからというふうに理解しましたが、
0:39:03	まずその理解でよろしいですか。
0:39:06	はい、原燃のオガセでございますその認識で合っておりますただそのアビル理由が地盤が複雑なのはタバタ何かしら変な形状ノイズが乗っているのかその辺は今先ほどの資料の方でも言うておりましたように微動なんかも見た上で、
0:39:19	何ていうんすかね特定というかそういったことができればなというふうに考えているところです。以上です。
0:39:25	はい。規制庁浜崎です。美女即答の結果も含めて、その辺りは考察している、考察するというので理解はしましたが、
0:39:36	例えば、ちなみにですね例えばー
0:39:42	10L-200t。
0:39:44	ごめんなさい、125か。
0:39:47	干渉法 120ゴトウー18円での形での、
0:39:54	処理によっての干渉法を使った減衰の評価っていうことは、
0:40:00	有り得ないんですか。
0:40:03	はい。日本原燃のオガセでございます。今ハバサキさんがおっしゃったアイデアは私も思いましてそういった、じゃあその表層がよくないような記録になってるんだったら途中の、

0:40:13	いわゆる波が綺麗に上がっていったところを境界とした監査法干渉法はできないかというところは、社外の言う地権者の方々実際解析やってらっしゃる方々とかにも、あと中電さんでもやってたような方々ですね。
0:40:26	にもちよっと聞いてみたところだったんですけれども、やっぱりこの全反射するような本当に、何つうんすかね、上端部、
0:40:33	イシカワほどいい。
0:40:38	六ヶ所がちょっと今聞いてます。あ、あ、すいません今ちよっとなんかマイクが接続切れたみたいです。社外の言う地権者の方にも聞いたんですけれども、
0:40:49	表層の観測記録をベースにしないとできないと地中の観測記録をベースにしてしまいますと、どうしてもその地中の観測記録というのは表層の倒伏反射した結果というものが情報として入ってしまっているので、それを除去するというのは非常に難しいところになるので、やっぱりこの地表の記録がうまくいってるか。
0:41:07	うまく解析できるかどうかの分かれ道になってしまうというのが、有識者の見解でございました。以上です。
0:41:15	はい規制庁浜崎です。いずれ、
0:41:18	今の話も含めてですね説明をしてもらいたいと思います。勧奨に関してはこれも、
0:41:28	伝達関数との減衰、最終的な同定の、減衰の比較とかですね、いろいろまたこちらとして確認する、したいことがありますので、
0:41:39	アノ欠カーを今後説明してもらいたいと思います。
0:41:42	私から規制庁浜崎です私から最後なんですけど、冒頭の宇都さんからご説明ありました表層についてですけれども、
0:41:54	ちょっとまだ、今現状、何しているという、表層のですね別のところ、
0:42:01	いうことで、
0:42:03	それは今今日初めてお聞きしたように思うんですが、そういう理解でいいですか。はい、おっしゃる通りでございます。等ですね、兵頭に関してはもともと、
0:42:14	今週中にですね、お話を我々としてもまとめた形で、一度ご提議してヒアリングいただきたいというふうに先週金曜日の段階まで思っておりました。
0:42:27	ですね先週までですね我々の中でいろいろいただきましたヒアリングでのですね議論なんかも踏まえた修正案。

0:42:39	顔を我々の中でも検討しながらですね作っていますね、社内のご支援いただいている方々に、政庁金曜日実にご相談さしあげて、我々ちょっと改めるべきところというのをちょっと大手とこうとしたんですけども、
0:42:57	やはりちょっとまだですね、かなり不足があると、いうご指摘もいただいて、やはりちょっとこれまでのですね、データをちょっとひざ詰め突き合わせて、我々の考え方というものを、
0:43:12	ちゃんと組み立てた方がいいよねというようなアドバイスもいただいたところでもありまして、一応またですね今週ちょっと六ヶ所もう一度計画名をしようと思っておりますというような状況でございますちょっと
0:43:25	どういうスケジュールであと、そしたら、まとめていったらいいとか、ひょっとしたら我々何か御説明のですねやっぱロジックをちょっと組み立て直さなきゃいけないのかどうかとか、
0:43:38	そんなところも合わせてですねやっぱりもうせっかく外の目に入っているんで、ちょっとよくご相談して対応して参りたいと、いうふうなところを積極ちょっと金曜日に話したところでございますということで、
0:43:51	ちょっといきなりですね、前村もなしに供試資料でご提示することになって恐縮なんですけれども、ちょっとそういう形でちょっと進めさせていただきたいというのを今日御説明だけあったと。
0:44:01	いう状況でございます。以上でございます。はい。規制庁浜崎です9月の会合でも、表層遠い看板の減衰ということがまだ完全に収束しないというところで、そのうちの一つということで、我々も認識していますので、
0:44:18	今のお話で、思って、表層の今までの原理の主張をいくつかSかどうか、まだわかんないんですけども、
0:44:28	そういう検討を現在しているということで理解しましたので、
0:44:33	これも
0:44:38	表層に関してもですねそういうことで我々もかなり注目しているところですので、ある段階ですねきちとした説明をしてもらいたいと思っておりますので、
0:44:50	はい。対応の方お願いします。はい。神野でございます承知いたしましたお待たせすることになったのは申し訳ありません。はい、ありがとうございます。2年目の検討。ちょっと補足させていただきますとガラガラポンするという、いただいたコメント、要はデータ答えありきじゃなくて、データを眺めて、

0:45:07	そこまでちゃんと整理してこいといったところを我々何もした通りだったんですけどもやっぱ社内のみ、有識者会議と、まだそこはないけど、もう少しデータをちゃんと気にして、
0:45:17	整理し直してロジックを作って、はい。説明すべきという、もう根本的なところを言われているのでちょっと我々また、整理を、中身とかいうのをやっているというところでございます。以上です。
0:45:29	はい。規制庁綿貫です。決得さんのお話、理解しましたので、
0:45:34	そういうプロセスもある意味、
0:45:39	もう結果オーライでしたという結果報告ではなくてですね、プロセスも含めて、説明してもらえれば、我々としての理解が進むと思っておりますので、よろしくお願いします。
0:45:49	神野でございます。はい、ありがとうございます。承知いたしました。
0:45:54	規制庁、小貫です。
0:45:57	藤村長のハバサキからは、大体内容について確認は以上なんですけれども、カミデさんの方で追加でありますでしょうか。
0:46:07	小峰です。
0:46:10	特段追加はないので、
0:46:12	あれですかね、言ったん。
0:46:14	口頭でいいので振り返ってもらって、休憩挟んでっていうぐらい。
0:46:23	はい。
0:46:25	わかりました。そうしましたらですね、振り返り簡単にさせていただきます。まずその伝達関数の
0:46:35	方でございますけれども、選択関数と地震発刊情報はこれは独立の検討であるので、
0:46:44	からご提示をということで、江藤できるだけですね、データ取りまとめり次第、速やかにご説明すると、ということだと、いうふうに理解してございます。
0:46:58	で、ですね、それから西側、
0:47:02	もう東側もなんですけれども、このですね旧〇との比較において、この検討において、何を、造成においてと書いているのか、この差分についても、
0:47:15	きちんとわかるような変えているのでは書いているかも書いてないから書いていないと、その差分についてあるならばきちんとこの説明をすることと、いうことをいただいたのがあと2点目でございます。

0:47:27	3点目でございますけれども、えーつとですね、この大地震破壊情報による検討ですね。
0:47:37	こちらにつきましても、この
0:47:44	検討のプロセスですね、このすいません、どう言えばいいかな。
0:47:51	拒否。
0:47:55	お話だから、
0:47:59	はい。
0:48:02	元元ですけど、ごめんなさい、海田しましょうか。はい。
0:48:08	すいません。はい。ちょっと調べてみていただいているんです。
0:48:13	はい。本日言われたところの地震は干渉法のところにつきましては、地震観測記録の分析に基づいて、用いている観測記録の特徴を踏まえて、何て言うんすかねあの志賀干渉法の
0:48:27	欠カーの制度等に関する考察についてきちんと記載することと、いうようなところだというふうに認識しております。
0:48:35	すいません。失礼。
0:48:39	等ですね表層につきましてはこのちょっとプロセス数も含めて説明することが大事であるということで今リスクをお願いしておりますけれどもその中で我々、
0:48:51	大きくは以上であるというふうに思っております。以上でございます。
0:48:55	はい、既設浜崎です。あとシミュレーションですね、伝達関数
0:49:01	から同定した結果を用いたシミュレーションについても、現状0キーの考察といいますか分析か、考察じゃなくて、分析ですね。
0:49:10	が、まだ不十分というふうに考えてますので、単に結果を述べるのではなくて、きちんと分析をしてもらって、
0:49:21	言いたいというところです。先ほど途中まで言いましたけれども、
0:49:27	バイリニアと、リニアでは、観測記録を下回ってるけども、
0:49:33	周波数一定では、結果的に上回っている、だからいいというような、今、08から読み取れますけれども、きちんとそこは違い等も含めてですね。
0:49:44	分析を述べてもらいたいと、いうことです。
0:49:47	よろしいでしょうか。はい。神野です。失礼いたしましたシミュレーションの解説に氏名照会についても、きちんと説明すること。はい。はい。
0:49:59	はい。本町ハバサキですけども、
0:50:02	カミデですけど、振り返りで、最初に
0:50:12	伝達関数と地震は勘定を別々に出てきたものからと言ってましたけど、

0:50:19	本当に何かできたものから資料をまとめてみたいなのが効率的にできるような体制にそちらになってますか。
0:50:30	榎本でございます。まさに核心について話をいただいたと思っております、同じ舞台上で全部やっておりますので、ある意味ですねこの
0:50:41	β 関数について、
0:50:43	伝達関数の検討をやっている中でそれに手を取られるとなかなかカードの片ヤノ方がですね手がかからないというような実態がいろいろあったりして、そのために全体のシナリオのですね、
0:50:57	組み替えとかそういうところがことになってるというのはございますけれども、
0:51:01	ちょっとかといってですね、例えばこの伝達関数の検討がどんどんやっぱり同定がやっぱ悪いよね悪いよねというふうに関数に後ろ倒しになっていくとするとそれに引っ張られて何もちょっと
0:51:14	ご説明しないというのもちょうと進め方としていかがなもんかというふうに思いますので、ちょっと今のところですね全部まとめて、9月29日ということで、を設定させていただいております。
0:51:26	これがまたちょっとずれ込むということになります。ちょっとまた、分けてですね大事にするということも我々検討しなきゃいけないのかなというふうに思っておりますそこはちょっと
0:51:35	効率的なやり方をと思うところをご提案させていただきたいと思うので、そのところはちょっと相談に乗っていただければというふうに思うところでございます。以上でございます。
0:51:48	はい、規制庁カミデその進め方、こういう、ここ開けにしましょうとかここはまとめましょうみたいな話は、進め方のヒアリングで、
0:51:58	相談的にしてもらえれば良いと思うんですけど。
0:52:04	まずそちらのマンパワー的なところは
0:52:08	早くやりたいんだったら、頑張った方がいいんじゃないかなって感じはしますのでそちらの体制の話ですけどちょっと気づいたというか
0:52:20	その拡充に全く手をつけずに頑張りますみたいなふうに聞こえたので、何かもっと全体のマネジメントでうまくできないのかなと思ったのが1点です。
0:52:32	あともう1点ですね、
0:52:35	西気賀市と中央の差分を説明しますと、根本さん言われましたけど、

0:52:43	イメージとしては、ちゃんとプロセスを、てか何だろー検討プロセスっていうのはニシノヒガシも、中を無償で書き始めは全部一緒に書くわけですよ。ええ。
0:52:56	ほかに差分なりプロセスにニシダヒガシは中央ではやっていなかった検討を入れたっていうのであれば途中で枝分かれなりちなみに、このパートで西はこんなことやりました。私はこんなことやりましたぐらいの枝分かれだとイメージしてるんです。何か最初から
0:53:14	中央はニシウラヒガシみたいな感じで書かれると一緒にしょっていう話をしなきゃいけないと思ったのでお伝えしてますけど理解いただけました。
0:53:26	榎本でございます。はい。おっしゃ
0:53:28	ダイチャンアノ同じ。
0:53:30	気はしております、
0:53:32	差が出るとすればデータに対してですねこの同定かける時の、このプロセスとして、こういうデータに着目して、こういう物理的な、
0:53:46	特性があるから西はこうした人たちはこうしたと言ったようなそういうふうな分析が別々のものがついていくといったような意味になるかなと思います。
0:53:55	実は一緒ね、その分析のですね中身がデータによって変わってくるみたいなそんな社員の出方をするんじゃないかなというふうには思っております。以上でございます。
0:54:07	はい。規制庁神戸です。そんなにずれてなさそう。はい、わかりました私の方からは違うんです。
0:54:17	山口です。それでは耐震ほかよろしければ、
0:54:22	当第ヒアリングちょっと休憩を挟んで40分再開したいと思いますので一旦録音を手島
0:00:00	ここ再開しましたと規制庁ヤマグチですと、フルヤのヒアリングを再開しますが一応出席者の追加等があったので、と規制庁側の出席者を改めて紹介します。
0:00:12	本庁会議室からコサクフジワラ。
0:00:16	タジリ。
0:00:17	ハバサキオノ。
0:00:19	その他WEBから、
0:00:21	下オオハシカミデ。
0:00:25	あと会議室からヤマグチです。

0:00:27	あと現側出席者に変更ないと思うので、まずこの進め方について原因があったら説明をお願いします。
0:00:38	はい、泉西尾でございます。本日付になってしまいました今後の進め方、提出させていただいた資料に基づきまして、ポイントだけ説明をさせていただきます。
0:00:49	まず用水量 2 の本体側の進め方ですが、一部下線で日付を修正を先週からさせていただいております。
0:01:01	今日通常 2 本分を含めた修正、12 日提出としての 13 日につなげておきます。
0:01:09	修正作業が進捗が思わしくないというのが状況ではございますが
0:01:16	現在、前回のやりとりですね主なポイントとしては、2.1 の入口、最初とか、廃棄物管理を含めた設計説明分類とか説明グループの説明の前段階でちゃんと
0:01:28	整理をして全体の体系大南なりを整理していくというところがポイントだと思ってるんですが、そこまでの修正を今終わってます。あと
0:01:38	車両忙しいとかの個別のところ、ポイントをちゃんと書き下していくということ、留意事項とポイントのまとめの全体の更新がぐちゃぐちゃになってたので、それを整理をして、
0:01:50	押さえるべきもの、方針が何か、留意事項としての細かいポイントとして何を押さえるべきかってところを、書き分けるという作業が残っている状況ですので、13 日にある提出できると思っています。はい。
0:02:03	ヒアリングは今 15 日と、21 日にシライスライドしましたけども、議会に向けてということでなぜこの 2 回に上げたのかっていうのは 13 時で出して、実績に減ってしまって 2 日しかない状況で 15 日は、
0:02:20	資料として反映する作業をしながら、全体の枠組みも整理をさせていただいてますが大きな方向性がないかどうかってところを 15 日に確認をさせていただきつつ、
0:02:33	根本的に資料が足りないとかですね中身が不足してる部分があれば、資料の修正が必要だと思いますがそういう部分がないのであれば、
0:02:40	反映事項を 25 日をご説明させていただいて細かいポイントは 21 日にやらせていただければということで、2 回の 2 回分けということでさせていただきます。
0:02:53	はい。
0:02:55	多分、
0:02:58	説明、

0:02:59	説明をいただいた方がいいと思います。
0:03:02	アプリは、竜巻の、
0:03:05	法人ということで、
0:03:07	前回 9 月の 5 日はヒアリングさせていただいて、
0:03:12	振り返りの衛藤。
0:03:16	連動すると、ということで、9 月 7 日にといった指導させていただきまして、このダイゴが終わり次第、終わりましたらですね、個別の対応方針についてまたご説明差し上げると。
0:03:28	いう、
0:03:30	と考えております。
0:03:33	こちらは 7 月でまたありますけれども、資料については、一旦 9 月 14 に出せないかなということで今飛んでいるところでは、
0:03:42	こちらについて、
0:03:45	対応方針中身でしたとなりますけれども、最終的にはですね、設置制度で具体的の対策設備共通の資料、
0:03:54	変換していくということで、
0:03:58	後の
0:04:01	横に書いてあるようです。
0:04:05	今回の前オオハシ先生終わりましたら、
0:04:07	資料 2、
0:04:18	はい。
0:04:19	日本原燃の高井でございます(3)番、溢水に係る設計方針ということで、一つ目ですが 9 月 8 日にですね、溢水に係る必要な対応方針をまとめて提出させて、
0:04:30	10、9 月 14 日にヒアリングでご説明いただき、
0:04:35	2 ポツ目ですが、その内容を踏まえましてですね、土肥水道の要求事項としての公共性継続解析の評価ということで共通 12 の資料、234 の関連。
0:04:48	というものも、整理をした内容を加えてですね竜巻防護対策設備とも併せてですが、SABの整理、資料 2 関連というところ、9 月下旬頃にヒアリングで、
0:05:00	ご説明したいというふうに考えております。
0:05:03	10 月にあたってはですね、事前にご説明する事項等の説明を行った上で、10 月末、資料提出、計画してますが、設計分類の内の事象溢水対策設備等、

0:05:16	防護対象設備に関する資料というところを説明していきたいなというふうに考えております。
0:05:22	奥さん以上でございます。
0:05:27	よろしくでババ2歩通の、大変関係、入力地震動の策定の進め方の、
0:05:34	御説明も、
0:05:36	すべてデータでよろしい。
0:05:42	前半私参加しなかったんですけど、
0:05:45	前半では、
0:05:46	向こうもまだ話してなかった。
0:05:48	ちょっと大変タテホデカッチの中身の話をしてます。はい。はい。
0:05:54	では、日本のご説明でございます。
0:05:58	当面の検討事項ということで最初に書いてございますけども前回ですね、ここにちょっと項目だ形といいますか、検討のですねヘッドラインだとちょっとあったんですけども、今回、
0:06:11	検討すべき
0:06:15	ファイリストにあったようなものを、この中に入れ込んで、検討項目としてのリストにAといたしました。それぞれがいつまでにと。
0:06:26	言ったようなところを書くような形で、衛藤まとめてございますんでそれ全体ですね恒設いたしましたは両括弧1が絶対シナリオ全般以降、
0:06:38	両括弧2が岩盤物性上加古さんが頑張って研究所(4)岩盤減衰で評価クボが競走沸石といったような形の整理いたしましたそれぞれの中でですね、
0:06:50	検討を進めなくてはならない項目を、その子番号として設定するという形で資料としてはまとめさせていただきました。
0:06:59	全体のスケジュールですけれども、ちょっと前半で一部お話は差し上げたんですが、今メインでちょっと検討を進めなくてはいけない岩盤減衰量かというところがございますけども、
0:07:12	こちらがですね、東側一番が贈呈に9月15日まで、1月が当然に9月22日まででそれに引き続き、
0:07:26	シミュレーションといったようなところをやろうとするようなところになってございましてちょっと従前よりですね2週間遅れの江藤西が一番なんかは状況になってございます。
0:07:39	で、次は会社法による減衰検討の方もこれ9月20日までの検討ということになっておりましてこれもちょっと2週間遅れになっていると。

0:07:48	いうところを踏まえましてこれ、えっとですねもともと9月15日披露のご提出、
0:07:54	言ったようなところになってきたところが、これですね、すいません9月29日のご提出という形でリスケさせていただいてる状況でございます。
0:08:04	表層物心つきまして、
0:08:07	こちら9月15日のご提出ということで、を目指しておったんですけども少し大賀専門家の方に、8北崎桂子シナリオですね、これ、
0:08:20	ちょっと今出させていただいてるところなんですけれども、ちょっと先週ですね、その専門家の方にご覧いただいたところをもう少しですね、ちゃんと
0:08:30	最初のそのデータからですね、展開して、転換するの執行というのがやはり弱いということでご指摘いただいてちょっとですねまたこういうちょっと明日膝詰めやろうかと。
0:08:44	いうところがございまして、そこ中でのご提示というのはちょっと絶望的になったかなというところでございます。ということ踏まえまして、これにつきましても9月29日のご提示ということで、取り付けさせていただくようなご訂正ご提案をさせていただいてるところでございます。
0:09:01	3ページ目の資料提出とヒアリング予定のところすいません大木でございます。えっとですね、今申し上げたようなところで
0:09:11	拡提出日学部のご提案を書いているんですけども、片括弧2の9月26日ヒアリング表として小令和アノ先ほど申し上げたように資料は提出できておりませんのでこれはすいません、衛藤岸忘れでございます。
0:09:24	で、9月29日に、これですね、表層部線のところ今、9月29日目標と言っておりますけれども、まだその一つ目の結果はどこまでご提示できるかということがまだちょっと見えてございません。ですので、
0:09:38	今お約束をしようとしているのはこの平仄性以外のところでございます。29日にご提示しようと考えていると。
0:09:47	で、これにつきまして、そこから1週間経ったところの9月の6日10日あたりで2日間ぐらいいただいて、ヒアリングを申し込ませていただくと。
0:09:57	いったようなスケジュールになるのではないかとということでご提案差し上げたいということでございます。一番下、以上でございます。
0:10:05	規制庁、山口です。
0:10:13	スケジュールを一番最後に出てますが、
0:10:17	すいませんまだ管理参事等の結果、パーツが行ったり、SSSのインターフェースの話は聞いておりませんで、

0:10:27	状況的には社内では、カード以下です。15日の金曜日に出そうということで、社内で調整を進めているんですが、
0:10:37	調整してる状況を見る限りおそらく19日、
0:10:41	火曜日になるんじゃないかなと今推測
0:10:47	修正は適宜とってはいるんですけど、
0:10:50	社内のレビューチェックのタイミングを見る限り、一発でクリアできれば15日はいけるっていう感じなので、多分無理だろうなという。
0:11:04	行くと、
0:11:05	15日、
0:11:08	それがかかって19日出せるかなっていうところぐらい。
0:11:12	はい。
0:11:14	あとは、
0:11:17	濃縮の一部補正を15日出している。
0:11:23	はい。あとは、先ほど適用と12年続いてスライドした部分を反映してると。
0:11:29	ですかねあとは耐震関係のものを、
0:11:32	だから26年ないという、そうですその反映漏れも、すいませんあわせて、
0:11:42	はい。
0:11:50	です。
0:11:51	それじゃ、
0:11:54	延長はばらつきございますが、お願いします。
0:12:04	店長の田尻です。
0:12:06	この費用出して話し合ったんですけど、何の費用かっているのを一応確認していきたいんですけど、共通12D、
0:12:15	旧斉木に出すっていうのは採用日。
0:12:18	プラスずつ、10人のどこかで、
0:12:21	共通順13に安野教育事業本部阿藤氏も複数資料1、あと資料2-2は
0:12:31	説明グループ1に係るものの条文の資料に、
0:12:35	あと資料3ですね説明グループ1の分、
0:12:38	設計図めぐりと1369だったです。はい。
0:12:43	補足も今準備をしまして同じ日付で出す分も準備をしてます。ただちよつと、

0:12:53	これもずれるかものが幾つかね。はい。
0:12:56	エンチョー佐治です名前が似たようなやつがちょっと増えてきた家なんか同じ表現してたものが違うような気がするんではっきりしていただきたいのと、
0:13:06	竜巻りわあ。
0:13:07	14 日に出すって言ったのはあれは何。
0:13:17	当間イワサキ 6 月 5 日に 1 回出したもので、
0:13:22	制度し直した、やり方を変えました。
0:13:25	SE の方の整理を、
0:13:29	50%です。
0:13:31	長鳥居です。なんか資料日本いうふうに言ったような気持ちは確かですって言ったらこないだのやつの修正版をそのつもりします溢水は、
0:13:42	何を足すかっていうと、
0:13:48	先ほどの話、資料 2、モリアノ。
0:13:52	竜巻とあわせてというふうに望月水盤というところを 9 月下旬に、
0:13:56	さしていただくとあと、
0:14:00	資料 234 の関連で、溢水、
0:14:04	関係というところを資料としてまとめて出したい。
0:14:09	今日の詐術竜巻のやつにプラスしてたっていうのは、どのようにして、
0:14:17	規制庁たりする資料 2 産業間連携データです。
0:14:21	はい。2 年タカダでございます。
0:14:25	今考えているところでは、水、
0:14:28	防護対象設備等に関して、基本設計方針を軸と置いてですね説明すべき項目を、2 で、
0:14:37	資料 2 と同じものを抽出して、それを資料 3 で説明するのか、4 で説明するのが、UR 構造設計等で説明するのが解析評価。
0:14:46	等で説明するのかその説明内容の住み分けみたいのをご説明した。
0:14:52	それが 9 月下旬、
0:14:53	の予定ということで、継続して、
0:14:56	県庁のタジリです。なので、竜巻も一線を共通中に入る前の前段階の資料です。竜巻を意見出したものを修正版を出します。水はそれプラス、

0:15:07	構造設計と評価の積み上げが結構ややこしいところがあるので、そこについていたりしたような形のマネジメント、事前段階の整理としてこういう考え方ですっていうのを出そうと思ってます。P1 はですね。
0:15:20	人間のおっしゃる通りでございます。
0:15:23	はい。一応、とりあえず何か出てくるかもしれません。
0:15:31	登坂です。今お気づきになったと思うんですけど、
0:15:37	詰め方たこの資料って一体何なんだろうっていうのがよくわからなくてですね、当初そういう話もあって、だらだらと書かずに、1項目
0:15:49	をどんどん足し込んでいくんじゃなく、
0:15:51	再整理していきますと言って再整理されたんですけど。
0:15:55	再整理されて、
0:15:57	また太り始め、だけど内容としてワ一漠とし過ぎていて何を言ってるかわからないと、いうものになってるので、
0:16:07	何だろうなと思って聞いてたんです。今説明にもあった通り、対応方針っていうのを整理をしてあるので、もうそっちでいいんじゃないか。細かいのは、と思うと、
0:16:19	対応方針は、比較的その短期から直帰中期までかなぐらいまで、クリアになるはずなんですよね。まだしきれてないんですけど、
0:16:29	で、そうするとその中間いなり何なりぐらいから先を見据えたっていうことを、こっちの方に書いてあれば、
0:16:39	短期についてわあ、
0:16:42	対応方針で示してある通りとかっていうことで、
0:16:46	ポイントだけ書くのもありだと思いますけど、いうぐらいでいいんじゃないかなっていう気がするんですよ。
0:16:54	で、なので対応方針は都度ヒアリングがあったごとに改定がされていうことで、
0:17:03	日付自体はいろいろとそれぞれのタスクでずれてはくるとは思いますけど、
0:17:10	ヒアリング、進め方のヒアリングにおいてはいつのかっていうのはそれぞれですけど持ち寄ってですね。
0:17:18	認識を合わせるっていうことをやればいいんじゃないかなあ。
0:17:23	いうふうに思いますんで、
0:17:26	またそこは、
0:17:28	整理をしてもらったらいいかと思えますけど。

0:17:32	ないすかね。はい、日本のヨシダでございますはい。これも状況が変わってるものをちゃんと認識して、いろんなものに反映していくという作業ができてないと。
0:17:43	で、おっしゃっていただいたように、喫緊の話は対応方針側で、それぞれみんな
0:17:49	何をしなきゃいけないか、変えて、方針を明確にするということ、まだできてないんですけど、そういうことをやっていくので、どちらかという、前々から言われてる、
0:17:59	この後、どうやってこの共通エリアを中長期的に進めていくんだという段取りだったですね、どういう順番でというの、だからそういう、こういうのを、
0:18:09	こういう順番でやっていくんだと、というようなビジョンを明確にするということと資金のやった対応方針側でのキーワードなんかを考えておけば
0:18:18	事足りるかなと思いますので、そこは整理をさせていただきます。はい。
0:18:25	はい、伊達です。その際ですね、先ほども少しありましたけど、それぞれの足すくうの関係性、
0:18:33	ていうのはそれぞれの対応方針ではちょっと関連する他救うを明示するようにはなっているんですけど、
0:18:43	なっているんですけどこの場ですね、その連携の状況というの聞ければいいと思うので、
0:18:49	そういった点是对応方針でも見れますけどこっちの方でもし、明示した方がよければ書いていただいて、
0:18:58	いうことで検討いただければと。
0:19:01	だの具体は、
0:19:04	竜巻の対応方針この後と言われてましたけど、共通 12 の対応方針もその前に出されていて、
0:19:11	記載、
0:19:13	そもそも対応方針どう作っていくのかっていうことも含めてちょっと話をしたいので、先にそれをさせていただいてから、具体の話をしたい。
0:19:22	昆。特に今日
0:19:25	進め方の 1 ページ目のところはそのときに話をした方が、
0:19:30	いいんじゃないかなと思うんで、
0:19:34	もし僕、今の段階で他になければ、
0:19:36	耐震の方に、
0:19:39	一体ですけど耐震は何かありますか。

0:19:45	はい。カミデです。耐震の方は、
0:19:50	一応、
0:19:51	なんていうか今入力地震動の方は、全体、当間加来、迷う人知っているもので、項目分けをしてもらってるんで、そういう話を聞ければと思いますけど。
0:20:04	(2)番の2ポツ(2)番の岩盤物性のところですね。
0:20:12	ここの
0:20:15	(ウ)で、
0:20:17	ばらつきの考え方ってあるんですけど、
0:20:20	今
0:20:22	介護について喜多耐震建物08だと、基本地盤モデルのばらつきっていうのは、検討フロー上だとこの外に入れていて、
0:20:34	どっちかという、括弧1なのか、もしくは括弧A6なのかっていうあたり2アノ要るものだと思ってたんですけど、認識違ってますか。
0:20:46	現に持っています。
0:20:48	そうですね。こちらです。
0:20:51	主にすみません、ガンバ方針について考えるもんですからここについて入れちゃったというわけですねすみませんおっしゃる通りなので、組み替えます。
0:21:02	古作です。それで言うと、(1)のとの関係は、
0:21:07	この括弧でしょ。
0:21:09	両方イケダカラー
0:21:11	そうですね。これが一部になるってということになるのかなということですね。はい。ちゃんと整理いたします。全体の中での対応ということで、はい。荘司課長。
0:21:24	はい。規制庁神谷です。あと、(4)の岩盤件数、
0:21:31	一応、揚げ足取りみたいになっちゃいますけど(ア)で、
0:21:37	追加データに基づく検討と既往のデータ、それぞれの位置付けっていうと、
0:21:47	一つ一つに対しての説明だけで、関連性がちゃんと説明できないっていうことのように見えてしまうのでそういう
0:21:58	横の関係っていうかね、関係性をちゃんと書いてくださいねって改めてお伝えしておきます。大丈夫ですかね。
0:22:05	はい。県民のみでございます。もうおっしゃる通りといたしますかそれは言わずもがなだろうとおっしゃられても引っかからないんですが、

0:22:16	表現はちょっと考えます。認識は同じでございます。
0:22:23	はい。規制庁久米です。
0:22:25	同じく(4)の(エ)が、ここもまた基本地盤モデルに行ってるんですけど、ここ、このパートではなくてもっと外、何なら(1)のパートだと思います。
0:22:38	で、その辺は整理、頭の成立資料の整備を報じておいてください。
0:22:45	元三野でございます。
0:22:47	そうです。
0:22:49	要員費それぞれ基本基盤モデルでどう対応するかを、
0:22:55	決めてから集約するのか、
0:23:00	今あれですね、江藤市長立てとしては岩盤、そうですね、ちょっと考え方、どっちがどうか、お座りが良いのか全体フロー図の中でどう位置付けなのかね、
0:23:11	こちらだと、ちゃんと明確に答えるようにします。以上です。
0:23:17	はい。規制庁神ですここでやっちゃ駄目だと言っているわけでもないの寺町出野全体からするとずれてますよ。考え方は合わせといてください。よろしく願います。はい、サトウははい、了解いたしました。
0:23:34	はい。規制庁神です。あと、一通り言っちゃいますけど、表層のところのスケジュールの話がさっき出たんで大丈夫というか完全にするってことは、
0:23:46	わかりました。あとですねちょっと戻って恐縮なんですけど、(2)番の岩盤物性の
0:23:53	(4)(ア)、
0:23:57	ここ
0:24:02	なんか近傍の直下にはないもの、確かここ、このグループの中でこの建屋にもう、このナーのデータ使っていいよって、一応確認をしておきますってということで、そこで
0:24:18	そちらとしては
0:24:21	岩盤の固有周期ですか、検討してますと。
0:24:25	いう話なんですけど、これも結構前からですね、何でこれでいいのかっていう話をしているところなかなか回答がないところなんです。で、
0:24:41	外部の専門家に見てもらってます、協力してもらってますと言って中に、この看板物性のこういう周期の話とかっていうのは行ってないんですか、どうなんですか。
0:24:53	原因ノモトでございます。ですね。

0:24:57	見ていただくようにします。どなたかにちょっとこれ出ていただくようにします。
0:25:04	はい。規制庁神です。こちら今までの話から言うと、当たり前はその固有周期のやり方がどうだっていうよりはそもそもこういう周期確認するっていうアプローチ自体が、
0:25:18	多分あまり前ではなくてですね、本当にまずそのアプローチを取るのかっていうところから話をしているところですからそのあたり、問題意識を確認し、
0:25:31	いただいてこのままいった方がいいのか、もっと簡単に説明できるんじゃないのってアドバイスをもらうとか、いろいろあると思います。お願いします。
0:25:42	神野でございます。承知いたしました。
0:25:46	はい、規制庁カミデ私の方から以上ですけど他、規制庁側からこの項目で、この辺もあるよっていうのがあればお願いします。
0:26:02	規制庁コサクですけど。
0:26:07	今話をしたようなところで、この2ポツの内容自体は
0:26:11	整理していただいていいんだろうなと思うんですけど、この資料の体裁としては、バランスが悪いので、先ほど1ポツでは話したようなことをまず2ポツで書いてい。
0:26:22	同じように書いていただいて、
0:26:25	今これで整理したやつは別紙扱いにして、
0:26:29	いただくと、全体像がわかりやすいかなと。
0:26:33	検討いただければ
0:26:35	はい、後藤でございます。
0:26:40	古作です。というのも、耐震はその対応方針ないんですよ。
0:26:46	ので、対応方針ない分を、この紙を進め方日ヤノ資料の中で、
0:26:52	対応されると。
0:26:54	具体については個別。
0:26:56	補足説明が、
0:26:58	いうことだと思って、
0:27:00	よろしくお願いします。
0:27:10	それで、
0:27:12	対応方針の方に移っちゃうと、こっち戻って来づらくなるかもしれないので、

0:27:17	とりあえず、
0:27:20	スケジュール表のことも含めてざっと述べてしまうと、
0:27:23	まず、別添1のこの図わあ、変えてないっていいんで、
0:27:27	雨。
0:27:29	すいません、説明をさせましたが、まず説明グループの整理もまだ回答できてないので、
0:27:39	とりあえずっていうのはあれですけど、4ページの左右下の方の共通上に、外的事象も対策設備と防護対象等のやり方と分けてますけど、
0:27:50	資料1全体は、最初の外対策設備、資料にも、防護対象も含めて、全体を最初に出しますよという、
0:28:00	意思表示をさせていただきませんが、はい。そういったところは直してます。はい。
0:28:05	あとは左側の青字で書いてあるスケジュール的なもの。
0:28:08	ということでございます。はい。
0:28:12	とはいえ、説明をグループをどう分けるかによって今後大分変わるので、
0:28:18	こう書いたところで、
0:28:22	そうですわかりましたというを書いて現時点での修正できることは修正してますってことです。
0:28:30	D、スケジュール表の方でSBSの関係を行っていただいた。
0:28:38	出ましたけど、
0:28:45	ちょっと面談の話なので、
0:28:47	この場でってあんまり言ってもいいとは思いますが、
0:28:50	5日の段階だとう今週2面談しましょうと言っていたはずで資料提示が今週ではなかったはずなんです。
0:28:59	ですよ。
0:29:01	そういうスケジュールリングするんだったらご連絡いたら、
0:29:05	いきたいなと思うので、狩野さんに言っていただければと思います。
0:29:13	はい。
0:29:14	見えない。
0:29:15	はい。
0:29:20	はい。
0:29:24	感じもありますが、はい。
0:29:28	私が多分、

0:29:34	15には多分終わるかなっていうのは次の週。
0:29:38	コメントをつけている方。
0:29:43	なおのことセットする
0:29:47	でやれって、
0:29:49	はい。
0:29:53	はい。
0:30:00	阿藤。
0:30:03	濃縮の補正とかもされ、お話しされましたけど、先週の会合の場、バックアップじゃない、アップアップで、
0:30:13	お話ししましたけども、
0:30:18	12の面談になる。
0:30:21	ている、設計プロセス数、連携の話と、
0:30:26	いうことにも関連すると思うので、
0:30:30	その場でも話をしながらやっていければと思ってますけど。
0:30:36	これらの資料、
0:30:38	8日に出ています。はい。いやあそこよく株の話とか、
0:30:46	ええ。
0:30:48	藤。
0:30:49	これもですね、資料見た限りは、この面談の話で申し訳ないんですけど、まだその一体化されてなくて結局、バラのタスクのようにしか見えない。
0:31:00	バラのようにしか見えないから、濃縮の方も含めてっていうのが、
0:31:04	言えないような感じになってる点をまず話をしなきゃいけないかなと。
0:31:09	思っ
0:31:10	てます。
0:31:13	はい。マグネシアでございますおっしゃっていただいている事業変更許可をする際のもとになる設計であったり、
0:31:22	申請書作成であったりというのは共通的な一つの業務であると思ってますので、それに対する社としての連携、
0:31:33	であったり運用の改善であったりというのを統一的にやっていくという意味では、一つのタスクで立ち上がっているものだと思ってます。その内訳の項目で幾つか派生があるというだけであって、
0:31:44	そこが全体のシナリオが多分、

0:31:48	書いてないというか、各人間がいないのかというぐらいのところなのかなと思ってますので、そういうところからまず担当整理をしていければなと思います。はい。
0:31:58	はい。
0:31:59	不足ですよろしくお願ひします。一応、
0:32:02	体制として、
0:32:06	どっちが先だと。
0:32:08	安全、安全品質本部。
0:32:11	会議が入られているので、入られてる通信なので、当然そういう意識を持ってやってもらえるとは思いつつも、なぜ資料が変わらないのかなということも含めて、
0:32:26	火曜日、明日、
0:32:28	話をしたい。
0:32:29	はい。
0:32:33	それでやっとなんかキックオフか。そうですね。はい。思っています。
0:32:40	スケジュール関係で確認したかったといいですか。
0:32:59	イシイの分類の話とかもあったんで、
0:33:02	最初の何例。
0:33:05	出してなんか 15 日に一応ヒアリングで話をして、
0:33:09	はい、与儀西原。
0:33:11	まず 13 日に出す資料 2、最初の設計説明
0:33:16	へ
0:33:17	も入ってます。そこも含めて 1521 のヒアリングで、内容も確認をさせていただこうと思ってます。はい。
0:33:29	ヒアリング二段階で設定して先ほど説明いただいたと思うんですけども、15 日の日家では資料に反映すべき事項等の反映状況の説明を行ってというのは、全部、
0:33:42	資料 1、3 という、日本アノ、
0:33:48	森木大類ですけど、対応方針で出させていただいたまた補いただいた方針に対して、こういう方針で、この部分を直してますっていうのを 1 個ずつ、
0:33:58	確認させていただいて、そこがまず大枠なので、そこで抜けがないかどうかというところと、再編の炉、考え方を説明します中身というのは、

0:34:09	そこが大きく増えてないかっていうところを、キャッチアップするっていうのが、15日の役割かなと思ってます。
0:34:27	円柱のタジリ、若干管理者がまず先ほど説明の中で資料1から3で言われたと思うんですけど、
0:34:34	実際の方だと、工場設計の資料3と評価の資料4の関係があって話できるんですけど、資料4の整理は、結局、仮想通貨切離し水の方っていう話なんですよ。
0:34:47	共通中に本体側に、はい。この間、前回は
0:34:52	一緒に出せるのかって言われて、ちょっと段階を分けたいということで、10月になっちゃうかもという話はさせていただいた状況でした。はい。
0:35:02	規制庁藤です。いや何かその認識だったんですけど一斉カツラと下旬やっていった場合に、この前後感が何かわからなかったっていうところなんですけど。
0:35:10	一応、考え方としては、1セガワで構造設計みたいなもので説明するものと評価としてやるものっていう、大枠の切り分けを、ゆすいを例にして、
0:35:22	まず考えてみてですね、その骨格をもらいながら、ただ今日通常に本体として資料4って一体何をやるものっていうのは、整理を進めますけどもそういう具体の例も含めて、
0:35:34	取り込んでいければなっていうふうには思っていました。
0:35:37	成長と2です。
0:35:39	ざっくり言うと溢水要は構造としてやんなきゃいけないもの評価としてやんなきゃいけないのでこういうのありますよっていうものをネタとして出した上で、そういったものも含めた上で、結局、
0:35:50	どういったもの、そういうような構造物と評価っていう考え方の見方が合えばという中で話すけど、資料4としての製品を教授に戻ってちゃんとやりますよね。どんな資料がそっちで。はい。わかりました。
0:36:06	はい。規制庁コサクです。今のもですね、対応方針にちゃんと書いてない。
0:36:12	ポイントなんだと思うんです。
0:36:14	肯定感を示すと。
0:36:16	いうことだと思うんですけど、資料4が同時に出せるわけがなくて、
0:36:22	であれば、どういうことをかませながらたどり着くのかっていうその道筋を明らかにしなきゃ。
0:36:29	いうことだと思うんで、

0:36:32	整理をしていければ、
0:36:37	よければあと対応方針、
0:36:40	こうですけど、まず
0:36:43	ようやくですね、ある程度これまでのヒアリングを踏まえて整理をしてきたというのが、共通中に本体が9月5日、
0:36:54	竜巻が7日一世が8日、
0:36:57	いうことで、
0:36:59	ある程度のものとして出揃ったかなと。
0:37:03	いうところなんですけど、そうだったかなと思いつつ、柱書きで書きましようねといったものが、溢水は柱にならずに、基本の中に入ってる。
0:37:15	いう状況になっていたり、
0:37:18	中身がちょっと違ってい。
0:37:21	中身というか
0:37:23	ナンバリングして、表の中で書いてある項目分けがですね、趣旨が違っていたり、
0:37:31	というようなことがあって、どういうまとめ方するんですかっていう認識もまだ合っていないかな。
0:37:37	いう気がしているので、話をしていきたいと思ってますけど。
0:37:43	それだけ言われた段階で、いや、実はこういう思いがあってわざと書いてるんですとかっていうのがあればお聞きしますけど。
0:37:57	はい。
0:37:58	日本原燃の高屋でございます。おっしゃる通りフォーマットのにもやっぱきちんと合わせるべきだったというところで、そのいす。
0:38:06	あとはアノですね、認識をしております。で、唯一違う点としてはやっぱ共通住民と竜巻方法については、共通住民に対する対応方針というところと、
0:38:16	イセに関してはそれ以外にも整理すべきことが多いというところに、先ほど荒瀬だけが少し悩んでおりました。はい。以上でございます。はい、古作です。わかりました。
0:38:28	それが表題に少し表れてるかなと思うんですけど、溢水については平たく一斉損傷防止に係る
0:38:36	もし、
0:38:37	言われていて、竜巻防護の方は考え方の整理にかかるといっているので、前段だけ、
0:38:44	のように書いている。

0:38:46	ということだと思います。で、
0:38:50	私からの要望でいうと、溢水形にして欲しいなど。
0:38:56	思ってます。なぜなら、前段だけの整理で書いても、クローズしないんですよ。
0:39:03	実際に共通 12 に入ってもらわないといけなくてそのための作業であり、
0:39:09	それがどう繋がっていくのかがわからないと、先ほどの肯定感を示せない。
0:39:14	ということだと思うんで、広げていただきたいと。今日通常 2 ではクローズしなくて、先ほど私も言いましたけど、補足説明資料セットの
0:39:22	ですよ。
0:39:23	そうすると補足説明資料自体は共通 12 じゃない。
0:39:26	ですよ。
0:39:30	00 資料もあるし、
0:39:32	ということだから、それは一斉に限らず、竜巻だってゼロゼロ直していかなきゃいけないし、
0:39:40	ということなので、全体、認可を受けるまでの溢水の関係多数
0:39:47	竜巻の関係タスクと、
0:39:49	ということで整理を進めていけるようにしていただき、
0:39:52	思います。
0:39:54	共通 12 に関しては共通 2 点しかないので、
0:39:59	それはそれでいいんですけど、
0:40:01	まずは表題はそんな感じでお願いしたい。
0:40:05	ここまでいいですか。
0:40:08	衛藤コサクです。その上で共通 12 の対応方針を踏まえながらですけど、
0:40:15	その次に書いてあるのが共通 12 に係る対応方針の基本事項と書いてあるんですけど、
0:40:21	これでは、溢水竜巻が真似できないんですよ。
0:40:25	書いてある内容は別に内容は変わらない。許認可の
0:40:32	極論言うと基本許可から含めて考えていいことであるので、その意味では対応方針の基本事項と、単純にさせていただいたらよくて、
0:40:44	そのポイントは、前もお話したようにコメントリストといって、つまみ食いにならないように、

0:40:52	広く、自分たちがやるべきと思っているタスクをしっかりとまとめていきますと、
0:40:58	その方針をお見せしますっていう資料だと。
0:41:01	ということだと思うんですけど。
0:41:04	その中 2、最初のポツで後日コメントリストとして係数とか言ってはいけないうちは残っちゃってるんですよ。
0:41:15	ていうので、そこら辺は文言を整理をしなければいけないかなと思ってまして。
0:41:21	書いてある内容は大体その五つポツ分かれてますけど、大枠は実
0:41:27	4、
0:41:28	次まとまるのかなと思って、下の、
0:41:31	ポツで追記されてるのは、
0:41:33	結局全体のタスクとしますよということなので、
0:41:41	まとめていえる、いけるんじゃないかなと思っています。で、
0:41:48	その点とあと一番最初のポツで、ヒアリングの中で確認または対応方針をって言ってるんですけど、
0:41:57	これに限らないんですけどタワーとかで書いてる時って、基本設計方針もそうですけどね。
0:42:03	そのまたはの使い方って何なのっていうのは説明できず 2、いいとこ取りをしてる。
0:42:09	ことが多いんですよ。
0:42:11	なので、またはの趣旨、
0:42:15	うん。なるべくわかるような文章にしても、また主旨をっていうと変ですけど、使い分けがわかる文章に、こういうまたはでごまかすような形ではなくて、
0:42:27	変えていく必要があるんじゃないかなと。
0:42:29	思っています。基本的にはヒアリングの場で対応とそのヒアリングっていうのは、対応方針聞く場でもあるんで、
0:42:40	対応方針をヒアリングで言いましょうというのが基本であり、
0:42:45	その場で判断しきれないものがあると。
0:42:49	というようなことについては事後提示しますと。
0:42:52	ということだと思いますので、そういったことがわかるように書き下していただきたいなど。
0:42:58	いうところろうです。

0:43:02	その点は、
0:43:03	よろしいですね。はい。はい。
0:43:05	その次にポイントなのは、
0:43:11	藤。
0:43:13	先ほどの
0:43:17	対応全体でということを確認にすることで、コメントリストじゃないよと。
0:43:23	ということ。
0:43:24	あとは、
0:43:27	表の中でも目的を明確にしてというふうに書いていただけてますけど、この場所でもその目的とかをこのポツごとにですね、何のためにやるの、こういうことを考えるのか。
0:43:38	この資料ではということがわかるような文面にする必要があるだろう。
0:43:43	思ってます。
0:43:46	そのポイントとしては、なるべく集約していきましょうということなんですけど、その集約のは空の考え方。
0:43:57	目的っていうことを考えていきましょうねっていうのをお話したので二つ目のポツの三つ目のポツで、目的っていう言葉を、
0:44:05	書いていただけてるんですけど、先ほどもある程度まとめられますよねってお話したようにちょっと分散して書かれちゃってですね、ポイントがちよっとぼけ、ぼやけてるんですよ。
0:44:15	なので集約をして、
0:44:19	部分的に分抜き出していってまとめるとかっていうことが必要だと思いますけど。
0:44:23	体系をどうしていくのかということを考えていただきたいと。
0:44:28	で具体的にわあこれまでコメントリスト的になってたところの問題点は、資料のイメージが強かったってということなんです。
0:44:37	この資料のこの部分を直すっていうふうにコメントを受けたからその部分と、
0:44:41	ドレスとして枠つけたんですけど、
0:44:44	枠付けたんですけど、対応っていうと、
0:44:48	記載は
0:44:51	上から下まで流れていっててですね、本文において書いたものは当然資料の方にも展開をしていくと。
0:44:58	ということで、資料の場所ではとてもあらかわせない。

0:45:04	ということなんだと思ってます。曲率さらに先ほど言ったように、共通 12 の資料云々だけじゃなくて 00 もあれば、
0:45:14	別の補足もあればと。
0:45:16	或いは別のタスクの、
0:45:18	関係もあればということなので、
0:45:23	内容、
0:45:24	お考えながらまとめる必要があろうかなということだと思ってるんでなるべくそれがわかるような書き方をさせていただければと思うんですけど、具体的にどういうふうにまとめたらいいかちょっとこの後、表の中でお話をしたいと思います。
0:45:40	それで、
0:45:43	あとは先ほど申し上げたところですけど、工程をちゃんと明確にしましょうと。
0:45:49	ということで、
0:45:51	は、
0:45:52	共通上にはちょっとうまくいなくて、資料 2 と資料 4 は 1、段階的にぐらいしかなくてないんですけど、
0:46:00	特にこの点を意識してコメントしたのは溢水であって、
0:46:07	溢水の方、
0:46:10	てみると、これちょっと書いてる場所が若いんですけど、
0:46:14	他のタスクとの関連性の中に、資料 2 はどうということ、資料 3 はどうということって書いてあるんで、
0:46:20	これを、
0:46:21	対応予定のところに、
0:46:24	工程として表して、
0:46:26	もし、
0:46:27	ということなんだと思いますんで、ちょっと内容に踏み込んでるので内容は対応方針側に変えて、
0:46:33	そのの、
0:46:37	日付だったりなんなりっていうのをこっちがなるべくコンパクト
0:46:43	ということなんじゃないかなと。
0:46:45	思います。
0:46:48	その点が 3 者 3 様になっちゃってたんですけど、大体今ので肯定感を示す形ってのは理解できました。

0:46:56	はい。
0:47:03	それで、あと、
0:47:06	これ、サトウ、今の共通 12 の基本事項だと四つめのポツになってますけど、
0:47:14	なるべく細かく分けはしないけど、対応漏れしないように、留意事項等でテイクノートしてきますよと。
0:47:23	ということなんですけど、そのテイクノートの仕方もちょうと、
0:47:27	雑って言い過ぎかな。
0:47:31	細かくいっぱい書いてあってですね。
0:47:33	まとめではいいよってことじゃなくて、理解しやすいようにするってことなので、
0:47:44	一応そのヒアリングの日付とかも書いてあるわけですから、
0:47:49	トレースしていけるわけで、
0:47:52	本当のテイクノートにしていきたいと。そのための先ほども対応方針で書いて、進め方ヒラノ資料ではそのワードを使ってというふうに言われたように、
0:48:04	うまいワード
0:48:06	うん。
0:48:07	1 句つくればいいんですね、それぞれに。
0:48:10	そこら辺を考えて列記をしていただきたい。
0:48:15	いうふうに思う。
0:48:18	基本事項の
0:48:20	部分では、
0:48:22	私から以上ですけど、
0:48:24	オカ。
0:48:26	今書いてある基本事項だけじゃなくても、中身を見ながら、こういうのも基本事項として欲しいなっていうのがあれば言っていた方がいいんですけど、ありますか。
0:48:39	よろしいですか。原燃側から、
0:48:42	今の話を聞いて、
0:48:45	こういうのもあるかなとか、こういうふうにしたいなとか何かある。
0:48:49	はい、弓削西田でございます。はい。今日中に本体の方でもですね、
0:48:56	あんまり細かく項目を挙げても結局全部が連携してるよねっていうところもあって、それを踏まえて書きつつも、

0:49:03	結局は章立てに分けてしまったんで、失敗かなっていう気がします。はい。全体が関係してるってところからちゃんと意識してっていうところと、
0:49:14	今おっしゃっていただいてクドウとウダと言って書いたものは個別にダーツと書き続けたところで、これをどっか統合してとかっていうのは全く考えずにバラバラと書いてたけど、
0:49:25	どこも整理をして方針にかけるものは法律に書けばいい話なんで、そういうところも、整理を進めたい。
0:49:33	はい。
0:49:34	はい、古作ですよろしくお願いしますこれも一つの類型化なんですね。
0:49:41	私は、用語ちゃんと覚えてなくても申し訳ないですけど
0:49:45	昨日貿易法とかかっていう、なんていう絵からなのか下から
0:49:50	けど。
0:49:51	累計は、大体雑多なものをいかに、
0:49:56	考えを整理をしていくかっていうときに集約をしていて、そこで分析をして、
0:50:02	細分化がまた始まるのかもしれませんが、
0:50:07	やり、
0:50:09	機構を巡らせていくと。
0:50:10	ゴトウであって、
0:50:12	まずは集約、
0:50:14	をして、自分たちが本当のところ何をすべきなのか、どういう道筋で解決できるのかと。
0:50:21	いうことを考える上では、
0:50:25	入口の作業だと思いますので、よろしくお願いします。
0:50:30	そうしましたら次表の中の構成の話を少ししていきたいと思うんですけど。
0:50:39	まず 1 ポツ、
0:50:43	2 ポツ、
0:50:44	で大きく分かれていまして、
0:50:49	1 ポツが本文、
0:50:52	まあさ、本文にぶら下がる参考っていうのはある。
0:50:55	いう。
0:50:56	2 ポツは、個別条文での対応方針と、
0:51:01	なってるんですけど、

0:51:06	個別条文での対応方針をここに書く必要があるのか
0:51:11	いう気がするん。
0:51:12	溢水なり竜巻は別であるじゃないですか。
0:51:16	いうことがあって、
0:51:18	そもそもこっちのタスクってどうしてかかっていうのはあるんですけど、
0:51:24	はい。
0:51:26	三原でございます。そういう意味で先ほど 1.1 ですよ。
0:51:30	このタスクを中ぐらいにはしてるところがあって、
0:51:33	この中身をやるねシライの 2 番目のタスクを中身としてやるっていうタスクが多分あるので、
0:51:40	それと本文でやってるタスクであと切り分けて、対応方針を個別につくれればいいだけなので、そこは仕分けをさせていただきます。
0:51:51	そうすると多分、深野田沼 1 回生でやってることもあると思うんだけど、はい。
0:51:55	はい。補足わかりました。そうですね。イセ竜巻は共通順位を踏まえてと書かせておきながら、はい。後は、
0:52:03	知っているのは確かに案件は、
0:52:09	どっちの整理をするとおのずとタカヤナギ水もってということで、わかりやすいかと思うんで、
0:52:15	はい。はい。
0:52:17	その時に、そうするとですけど、2 ポツ 1 は、耐震 2 ポツ 2 が閉じ込められてるんですけど、
0:52:27	耐専って言いながらもこれはあれですよMOXの方でっていうことだから、アノなので、タフトタスクの立ち上げ方考えますけど、まずはMOXの説明、グループ 1、
0:52:39	お助けとか何かやり方分けるかなと思ってます。そうすると関連条文全部そこに入るんですね。はい。
0:52:45	はい、古作です。その方がいいと思います。ここです、条文で分けるのがいいのかっていうのが
0:52:53	ちょっと気になってます。
0:52:55	結局は資料 3 というのを統合してですね、相互の条文の関係性をまとめて整理をしているっていう
0:53:04	もともとその条文ごとと言ってたのを、ちょっとそうではいけない、うまくいかないよねと。
0:53:10	いう舵取りをしておきながら、ここでまた条文分けするっていうのは、

0:53:14	どうなんだろうとちょっと思ったので、そこも含めて整理をしてもらったらいいかな。
0:53:19	ます。
0:53:21	その次が1ポツの中、
0:53:24	なんですけど、先ほども言われたように、
0:53:27	括弧 11、
0:53:29	括弧 2 ポツ 1 括弧を閉じていつつ、結局そのあとのかぎ括弧が証明しているように、資料の場所になっちゃっていて、これじゃ、前のコメントです。
0:53:42	ということなので、大きく見直していただきたいと思っています。
0:53:47	で、ただですね、共通中での本文の構成を見直した後の、
0:53:53	形で書いているので、
0:53:55	その意味では、前半部分で体系の整理をしていこうということの、
0:54:00	意図は組まれているんですよ。
0:54:04	なので、
0:54:05	後ろの方が、
0:54:08	細くなっちゃってるやつを前にひもづくんじゃないのというところを繰り上げていったらおのずと、
0:54:13	体系がそろうのかな。
0:54:15	あります。
0:54:16	で、現状(1)は概要って書いてますけど概要だと、タスクにならないので、そういう意味では資料全体を通じての体系整理ということで、全体どうあるべきかということの全体概念を、
0:54:30	整理をして、修正していくという作業だったりする。
0:54:34	ということだったと思うんで、現状の1ポツ1の1っていうところは文言的な整理をしていきましょう。全体を見通していきましょう。
0:54:44	ということで、D-2の方は資料のどこに何を、
0:54:50	整理をすべきなのかそれによって、タスクを明確にしていくのかと。
0:54:55	ということのポイントだと思う。
0:54:57	てます。
0:54:58	で、特に後ろについてぶら下がっているのは、そういった趣旨での具体例が多いので、この中に先ほど言った、留意事項というようなことでぶら下げていくことができるんじゃないかなと。
0:55:12	ます。

0:55:14	て、
0:55:15	次の
0:55:17	2-1 っておきながら 1 ポツ 1 の、
0:55:20	4 っ て書いてあるのはおそらく、その上の、
0:55:24	2 行目の 1 ポツ 1 ということはないと思いますけど、その意味でも、(二) 自体がそもそももしかするといらんのかもしれない。
0:55:35	いうことで、ここで書かれているのは、
0:55:40	設計説明分類。
0:55:43	説明グループ。
0:55:46	いうことの設定の方針をちゃんと、どういう趣旨で、
0:55:50	まとめるのか、どういう順番にするってということなのかという考え方を整理をしますと、
0:55:55	です考え方を整理をしてそれを具体的に適用していきますってということが書かれてるんだと、はい。
0:56:01	思いますので、その趣旨で表題なり何なり、
0:56:05	整理をしていただければいいんだと思います。
0:56:10	その時に、それが 1-1 の後もですね。はい。同じなんですよね。
0:56:18	違っているのは施設の特徴に応じてこういうふうにしますっていうのを、
0:56:26	何となく具体例として入れているところなのでこれまとめてもいいし、大枠の考え等舞台の適用にあたって施設の特徴としてはっていうので分けてもいいし、
0:56:37	少し整理をしていただいたらいいかなと。
0:56:41	まあそういう意味では順番逆じゃないのっていう感じもしますし、
0:56:46	整理してみて、やりやすいようにしていただければと思います。
0:56:54	等で、その中で少し整理をして欲しいなと思うのは、
0:57:01	今、共通中には本文の方で整理を進めてるところだと思うんですけど、主条文ってなかに
0:57:08	っていうことなんです。
0:57:10	そこがこの対応方針見ても、衆生分セットしますという古藤。
0:57:17	だけで、それをもとに考えますなんですけど、
0:57:20	な、何を主にすんの、その心はっていうのは管内で、
0:57:26	それがポイントかなと。
0:57:28	でます。
0:57:36	うん。

0:57:41	藤。
0:57:42	そう考えると、1 ポツ 1-6。
0:57:47	7
0:57:51	なんかは、その具体例がいっぱい書いてあるんですよ。
0:57:55	ことでしかないかなと思うので、
0:58:02	一つのポツなり矢印なりを、
0:58:08	一行、
0:58:09	半行ぐらいですかね。
0:58:13	わかるような用語でポンポンポンとまとめていくぐらい。
0:58:19	いただいたほうがいいんじゃないかなあ。
0:58:22	いうふうに思います。
0:58:39	それももし、1 項目にはまとめる等、その具体例がまとめ過ぎたために、どこの部分の具体例なのかがわからないという。
0:58:50	いうふうになってくる可能性もあるので、その時には何に対する具体例として列記するのかっていうその小見出しをつけると。
0:58:59	いうことで工夫はできるかなと。
0:59:01	思います。或いは、ある程度この枠を分けて、分けた上で、枠と枠の関係性っていうのを、立たすとの関係性の方に付議して、
0:59:13	ナンバー1 の対応の、
0:59:16	とは、こういうところで関係するのでそこは合わせて、ここの部分で合わせて対応しますと。
0:59:22	いうふうにテイクノートするとか、
0:59:24	いうことはあり得ると。
0:59:26	思います。
0:59:28	まとめてしまった方が一番議論はしやすいのでありますけど、
0:59:34	うまく、
0:59:35	読みにてに伝わるように書けないということであれば、分けつつそういうふうありだと思うので、考えていただければ
0:59:48	等、
0:59:53	市野一井の 8 と 9 なんですけど、
0:59:58	これはやたら具体に入っているんで、これも集約できるんだと思います。特に 1.2Ssなんかは、説明すべき事項としての入口の整理に当然入ってくる。
1:00:12	もので、単品では出てくるものじゃないと思いますので、

1:00:17	多分、SAがまだ地に足がついてないから浮いちゃってるだけっていうことだと思います。
1:00:26	それで雄踏、
1:00:29	あれですかね、竜巻が、
1:00:32	先頭になっていって、
1:00:36	ということに具体としてはなる。
1:00:38	ですかね。はい。
1:00:40	それと言うと、
1:00:43	ここでやっぱり具体に書くというよりはそっちにゆだねて、そっちにゆだねられるように、入口として
1:00:50	説明すべき。
1:00:52	ことというのをどうピックアップしているか、だからそういう意味だと、SAとの関係みたいなことは少し触れておいてあげた方が、
1:01:00	それを受けて、竜巻側で具体、展開しますと。
1:01:05	骨格の考えは、
1:01:07	共通中に本体で整理されてますんで、具体的には 33 条、
1:01:12	の方でDBとの関係を、資料 2 で整理し、
1:01:16	それを受けて、
1:01:19	受けられるか
1:01:22	ハザード対応なんかは特にそれを受けて、DBSA、セットで整理をしていきますと。
1:01:28	いうことだから、個別の事象について対応していますという意見に、
1:01:35	ことだと思うんで、その点も連携を図って、
1:01:44	とりあえず全体の関係ということで、
1:01:49	Cポツ 1-9 に、
1:01:52	2 ページの部分まで、
1:01:53	お話しましたが、
1:01:56	ここまでで原燃から何か、
1:01:59	したいこととか言いたいことなり、悩んでいることなり、
1:02:09	ん。
1:02:15	こういう対応方針をちゃんとなるべく方針として具体的に
1:02:22	作業指示ができるようになってイメージで作っていかないといいながら、
1:02:27	これもし、おっしゃる通り 5 日間、あれ、何時ぐらい出してるんですけど、資料。

1:02:36	作業がさっき進んでないっていう話をしたら、共通 12 のいざ自分で直そうと思うと、それでSDを受けてできるかみたいな、無理だなと。
1:02:46	ファンもあって、やっぱり作り方がおかしいなっていうところは、うん。まだ、
1:02:51	細かいこと書いてる場合に、方針の舞台にウツミ踏み込んでないっていう。
1:02:56	中途半端な加減があるかなというところがあるので、
1:03:01	じゃあどういう考えを整理しなきゃいけないの、どういうところを、
1:03:06	何て言うか分解していかなくちゃいけないの考え方としてみたいところを、ちゃんと考え方として対応方針として書いていかないと、作業には繋がらないなというところ、
1:03:17	もあるんで、そういう目で、もう1回ちゃんと見て、整理をしていければなと思ってます。はい。
1:03:23	はい。コサクです。その意味ではですね
1:03:26	なるべく
1:03:30	わかるワードに集約してというなお話しましたが、あくまでこの対応方針の紙として書くのであればと。
1:03:38	いう古藤です。
1:03:40	今石原さんが言われたように、まずその
1:03:44	何のためにやるのかとか、方向性とか、そういったところを示さない限り、具体を何やれと。ただ、場所にも指摘されてもですね。
1:03:56	どう書きゃいいのさってわからないわけですよ。
1:03:59	そこは
1:04:01	場所さえ指定してあれば部隊のやりとりなんか別の紙にあればですね。
1:04:08	指示としてはこういう方針なのねということを理解した上で、個別の対応の充実と、
1:04:14	その個別の紙の方であれっと思ったときには、いやでも大本のこっちの方針からするとこうなんじゃないですかというようなことを、やりとりを。
1:04:23	することができるようになると思うので、
1:04:25	一つ一つの指示書を、
1:04:28	吟味するのではなくて、まずは上流を吟味して、大枠として指示ができるように、
1:04:34	ということかなと思っています。

1:04:36	なんで現状矢印とかで書いてある文章文章で、別紙で対応方針の何番の具体のここについては、という指示書としてあってもいい。
1:04:48	そこ
1:04:49	なくてもできるのが一番理想ですけど、
1:04:52	なかなか県の
1:04:53	社員一人一人がどのレベルかっていうところは難しいと思うんで、応じて、詳細にしてあげたりと、
1:05:01	いうことは工夫していただいているんですけど、これは大本我々と認識を合わせるとい紙なので、個別具体まで我々に、
1:05:10	紙資料に出す前に申し入れをする必要はなくて、資料出てきたときにそうならなければいいだけの話だから、
1:05:17	大枠整理をして、
1:05:19	1人、
1:05:25	よろしいですかね。規制庁の田尻です。
1:05:28	ちょっと1点、認識合わせなんですけど今日ヒアリングで指摘したように今ちょっと長く書き過ぎて予定になってないものに関しては、本当にやらなきゃいけないところ予定絞って書かれてポイントだけ書かれるような形になるので、
1:05:40	もう大丈夫かもしれないけど、今の整理で行った場合に、例えばこの太陽工機に書き直すこととか追記することがあると思うんですけど、この連番の振り方とか、そこまでこだわるわけじゃないんですけど、
1:05:51	どんどん下に来る多分関連するものとの繋がりとかをみづらく飛ばなくて、
1:05:55	言ってるんですけど、こいつは今後どういうふう管理っていうか増えてったり引っ越してくる。
1:06:03	次回は1回からってなるから、多い時ですけど、その次、
1:06:09	番号をつけたので、
1:06:11	つけてもいいけど、あと児玉角田は言ってないから、
1:06:16	相田抜かします。
1:06:19	途中で話あったように、番号関連付け言った話があったのでそれをうまくやれば何かなるような気も一つなんですけど。
1:06:27	はい。だから、ここにさらに分かれてると何か意味わかんないですよ。もう組でどうすんのかなっていうのをね別に何か、
1:06:37	これじゃなかったこともないんですけど、はい。どうしてかなっていうのがあればと思ったんだよ。

1:06:43	考えます。コサクですけど、多分そんなにね追加する必要はないんですよ。変更修正をしていくことが多くて、タスクとして整理しているので新たなタスクが立ち上がることは、今日通常にここまで話をしてて、
1:06:58	新たなものって大きいのがないじゃないですか。
1:07:01	なので、追記、追加しないでくださいっていう方が正しいです。
1:07:13	あれやっぱここにあったと思うんです。
1:07:20	で、
1:07:21	けどこの番号のところにポイントを位置付けても入れてんですよっていう認識合わせとけば、私が修正されようがこの運用が、この項目の話だからその範囲だよねっていうふうになりますし、
1:07:33	内容追加されても、その整備の話ですよ。多分イシカワ抜き合わせられるような気がするので、僕はわかるよねというパターンだと思います。以上です。
1:07:43	(1)括弧 2.1 とか 2.1 ってよくわかんないですけど、1.1 の一が変わってないっていう、この辺が多分、
1:07:52	だったら番号を変えればいいじゃんっていう話です。
1:07:55	はい。補足です。そその意味で先ほど一ー一ー二は趣旨違いますよねと。
1:08:00	いうことがあったりしたので、そういうの小見出しで書けばいいんだと思います。
1:08:05	今の1ポツ2ポツ、通知云々は意味がないので、消していただいて、そういう意味で、
1:08:13	ここの番号のところに踏み出しつけていただくといいかなと思うんで、それに寄ってそこで言ってるタスクってどこからどこの話なんだっけとかっていうのが、
1:08:23	認識できるようになると思うので、その関連するところに、ついハ、
1:08:29	新たな気づきがあったりしたものは追記をしていく。
1:08:33	対応方針の方向性を修正していくと。
1:08:36	というようなことをしていただければと思います。
1:08:45	特にそれで言うとですね溢水竜巻の、そのレベルの話でいうと、
1:08:53	まず、
1:08:55	出た人ばかりいまいしょうか。
1:08:59	Dは、
1:09:04	等、
1:09:11	そうだなあ。

1:09:15	あまり特に
1:09:18	1 ポツ 1-1 とかは、
1:09:22	書いて意味あんのかっていうような項目になって、
1:09:26	見えて、これも多分
1:09:30	表題のときにお話をした
1:09:33	前段の整理のタスク
1:09:36	についてと。
1:09:37	ということがあったので、
1:09:42	そ、そこに特化したから何かただやりますだけになっちゃってるっていうことのような気はするんですけど。
1:09:49	ええ。
1:09:53	藤。
1:09:55	共通 12 の先ほど言った体系
1:09:59	どういう考えのもとに、設計説明分類説明グループ整理をしていきますということ等の整理をしていくと。
1:10:09	いうことを受けて対応しますと、いうことは、あくまで前振りであって、
1:10:16	今日通常に対応方針の番号とかも振っていただいたらいいと思うんですけど、
1:10:22	その上で、
1:10:25	トップバッターということでもありですね、こういうような検討をしていて、その具体を詰めていきますという、
1:10:33	それを共通中にフィードバックしますとかっていうことがあるんじゃないかなと思うんですよ。
1:10:40	ていったところを、防止指針として明確にさせていただいて、先ほど言ったように対応予定日、ところに、
1:10:50	共通 12 の方針を整理されたらこうしますよ。
1:10:55	それを踏まえて、反映をしてもらいつつ、自分のところはこういう作業を進めて、確定していきますよ。
1:11:04	ということが、整理されるんじゃないかなと思います。
1:11:11	それで言うと、1 ポツ 1 と 1 ポツ 1 にいて、
1:11:17	分かれるのかっていうのもあたりするんですけど、実はあれですよ、共通中にも、ここで言ってる 1 ポツ 1 って、若干、
1:11:26	若干じゃないんだ、
1:11:29	まとまって 1 ポツ 1 の 4 なり 5 なり、

1:11:34	もう、
1:11:35	設計説明分類と説明グループって一蓮托生な感じがあって、
1:11:40	分けて確定できるわけでもないからというのでまとめて書かれていて、
1:11:45	ね。
1:11:46	それが元、竜巻の方行くと設計設備分類で、
1:11:51	単独で走っちゃってると。
1:11:53	いう風に今書きぶりになって、
1:11:56	てるんですけど。
1:11:59	共通 12 の側でいえバー。
1:12:03	はい。グループもまとめてまとめてくんでしょよね。現状 -1、1 ポツ 1-1 でも、文章の中に岩瀬及び説明グループの整理についてはと書いて、
1:12:14	はい、はい。
1:12:16	はあ。
1:12:18	具体例が、まだそこまでしかいってないから書けてないって言ったらい い。
1:12:23	いいですかね。
1:12:25	日本原燃、
1:12:27	この市場は約 -1 で、
1:12:29	なかったのは、
1:12:31	ツジ本体の方で検討している。
1:12:35	その設計説明分類、この下に書いてるやつですけど、これもヒアリング を受けて、
1:12:41	時々変わるんです。今一番したところ、内的事象となってますけど、
1:12:45	屋内の機器配管は内的で整理しましょうかねっていう話が、前回のヒア リングもありまして、それを受けて、シート資料我々変えてるところもあり ますので、
1:12:55	全体がちょっとわかるようにしたほうがいいかなっていうことで、確かそ のものではないかなと思って対応予定日とかちょっとバーにさせてもら ったんですけど、前提条件的な、
1:13:04	意味合いでちょっと書かせてもらったっていうのが、古作です。そうだと すると、対応方針で書くことじゃないです。
1:13:13	それはもう、
1:13:15	少なくとも我々との間では自明であって、共通順位を見ればいい話。
1:13:20	なので、

1:13:22	先ほど言ったように共通上にそこを踏まえてというふうにして書いてあれば十分、
1:13:29	Dなので、それこそじゃこの枠は要らなくてっていうことになって、
1:13:35	その次2にくっついてくるっていうことだと思うんですけど。
1:13:41	その次でもう分類を選定するになっててグループの話が出てこない。
1:13:48	ということなんで、
1:13:51	ちょっとなあと思いつつ、
1:13:55	でもその何ですかね、
1:13:58	共通12のソネでいうと、設計説明分類。
1:14:03	説明グループというところにいきなりドンと来るけど、そこに来る。
1:14:11	ためには、資料2の要求事項とかも、
1:14:15	あるてどう。
1:14:16	整理してナイトウ。
1:14:18	来年整理できないしと。
1:14:21	いうこともあったと思うので、
1:14:25	その点ではその共通上のその全体の方針を受けつつ、幾つかのタスクに設けるということはあっても、
1:14:33	いいんだと思います。
1:14:36	通したときに、
1:14:39	どうわかりますかねっていうのがポイントだと思うんですよ。これまで話をしていて、先ほどの進め方ヒラノ資料でもお話あったのは、
1:14:49	設計等評価の関係性を整理をしてきます。
1:14:53	と。
1:14:54	DBとSAの関係を整理をしていきます。
1:14:57	と。
1:15:01	あってその中にはなるんですけど、説明すべき技術項目ですか、を上げていって累計をしていきますと、
1:15:13	いう。
1:15:19	があったのかなと思います。
1:15:21	私言う順番を逆にすればよかったなと言ってからもありましたけど
1:15:28	後ろの方からで言うとそれがあって、ゆ累計の議論になって、
1:15:35	類型の考え方なり方向性ってのが見えてそこに、
1:15:40	現状
1:15:42	タスクの進め方いけばまずはD、

1:15:45	SMにいきなり入れちゃうと混乱するから、Dの範囲で整理をしてみましよう。
1:15:51	そ、それがある程度していったらSM組みしていきましょう。
1:15:56	いう形になって、組してくと、SDの関係が整理できますよねと。
1:16:04	いう、三つって分けつつも順々に溶け込ませていく形で整理ができる。
1:16:10	いうことだったかなと。
1:16:14	思います。
1:16:15	説明すべき項目っていうところの、
1:16:20	一部のパーツ 2 先ほど言った設計と評価の関係っていうのがあって、
1:16:27	資料 34 ということの割り振りもしていけるように、
1:16:31	ということなので、
1:16:34	その三つ巴のものをですね、まとめて書いて、工程として対応予定日、
1:16:42	2、書いていくのもよし、
1:16:45	分けていて順々に書くのもよしと。
1:16:48	ということで、整理をしていただければと思います。
1:17:00	現状竜巻で書かれてるのはその先にある具体の作業、
1:17:07	作業指示書、
1:17:09	書いてあるので、
1:17:14	そ、その部分は、さほど共有いただかなくても、
1:17:18	ていう。
1:17:20	あるんでまずその大枠の骨格を示して欲しい。
1:17:26	ですが、
1:17:28	言われ、
1:17:29	1 ポツ 2 までで言われてもちょっと困惑するところだと。
1:17:35	1 ポツ 3 ニワだからSAとDBって分けてるじゃないですかという。
1:17:40	ふうな、
1:17:43	思いはありませんか。
1:17:46	これを見てもらうと、
1:17:49	1 ポツ 2-2 の目的のところ、
1:17:53	今一番ところですけど、
1:17:55	結果に対して 1 ポツ 3 項の整理表 2 っていうのを入れて、
1:17:59	この 1 ポツ 3 と 1 ポツ 2 っていうのは、
1:18:02	パラになってるといえるかですね、その 1 ポツ 2 はまずDBでやりましよう っていうことで、1 ページ 2-1 番、

1:18:10	1 ポツ 2-2 は、
1:18:12	SAを込めてやりましょうっていうような、
1:18:15	9 月になって、
1:18:17	前回ヒアリングで
1:18:19	まずDBからやった方がいいんじゃないですかっていう話。
1:18:22	DBとSAの越冬エリア。
1:18:27	共通。
1:18:28	設計説明運営課の共通項目を、
1:18:31	皆さんにリリース分けてますんで、言いたかったのは、Ss-Dの話と、まさに今言った、
1:18:40	説明すべき事項といったところのは、
1:18:44	三つ巴というか、関係関係するなということで、
1:18:49	後から、
1:18:50	書いてるんじゃないかということじゃなくてですね、おっしゃる通りで、それぞれの関係を、
1:18:56	どういうふうに表示しながら、
1:19:03	はい。
1:19:04	それで言うと、
1:19:08	1 ポツ 2-1 と 2 が分かれてるのは何ですか。
1:19:14	これは江藤Dだけ。
1:19:21	まずは、
1:19:23	共通項っていうのは作ってからSABを、
1:19:28	パスという、
1:19:30	未認識を、前回のヒアリングで、コサクです。ごめんなさい。それとニワSAを加えるところで、
1:19:41	-1 がDBだけのものということで、そうで、わかりました。一方で、何で
1:19:49	その間にある。
1:19:51	のが 1-3 ということで整理され、
1:19:54	三野柴です。そこはもう、すいません。
1:19:58	セイリガクだけの話で、
1:20:00	制度DBの考え方っていうのは、まとめていただきましたように

1:20:07	事務局からの補足説明資料をもとに、整理し直し直しましよっていうので、それは書いてるんですけど、それはそれで一つのワークワークと 思っていたので、
1:20:17	溶け込ますということをちょっと、
1:20:19	という認識がなかったというそれだけ。
1:20:36	それはそれで理解をしつつもなぜじゃあ見にくいだらうっていう。
1:20:41	いうのは、
1:20:42	多分、
1:20:44	1 ポツ 2。
1:20:46	麻生。
1:20:47	結局 1 ポツ 2 のん中の一部なんですよね木藤さんまでやっぱり、
1:20:59	デポ 2 の -1 とか 2 を実現しようと思うと、
1:21:04	作業が一番やらなきゃいけないんですよね。
1:21:09	だから、1 ポツ 3 の中に入れつつ 1 ポツ 2 の、
1:21:14	123 構成になるじゃないですか。はい。その趣旨を、先ほど言った小 見出しのようにしてちゃんと
1:21:20	言えば、或いは今書いてある目的っていうところをもう少し見やすくして いただくと。
1:21:27	意図がわかるのかなと。
1:21:33	D、
1:21:34	特にですね現状妥当設計説明分類の整理っていうのが強く出ちゃって て、
1:21:40	そのために説明すべき項目をしっかりと洗い出すんだ、その関連性を見 るんだっていう、
1:21:46	想いが見にくくなっちゃってるんですよね。
1:21:50	作業プロセスの中でだけになっちゃってるので、
1:21:53	そこは、主文の方で見えるようにしてもらったらいいかと。
1:22:03	そうするとですねその中に先ほど言った評価設計、
1:22:09	もう、
1:22:10	本来だと入ってくる。
1:22:12	ですけど、そこってどうするつもりですか。
1:22:16	逃げるんですよ。
1:22:20	藤。
1:22:24	2 ポツ 2、3 番目も、

1:22:29	2-1 というところで、2 ポツ 2 が資料 3 の記載事項の整理っていうふう に、
1:22:36	資料 3 の中でも、
1:22:39	3 と 4 と話したかと思うんで、
1:22:42	ちょっとする方、古作です。5 月の多分根本的なずれがあって、資料 2 の話だと私は思ってこれまで話をしてたんです。
1:22:53	はい。
1:22:55	基本設計方針だと評価的に書かれてるけどそこに隠れている設計のもの のを、資料 2 の段階で抽出しないと。
1:23:04	資料三、四に振り分けられない、或いは資料三、四の間で繋がるという ものがどれとどれかと。
1:23:12	示すことができないということだったと思うので、
1:23:15	資料 2 の世界だろうと。そうすると、
1:23:18	その前の 1-2 なり、
1:23:21	3 のところのタスクとしてまず挙げておかないと。
1:23:26	いけないんじゃないのかなっていうのが私のイメージだったんです。石 原さんですね。はい。
1:23:32	ただちょっと、
1:23:34	多分、
1:23:35	石黒さんの持つてる世代になると結構竜巻はすっきり分かれてると思っ てるから、あんまりタスクとして気にしてなかったのかなっていう思いも あります。ただ、
1:23:44	竜巻の基本設計をしていただくと同強度を確保すると言いながら、確 保するとあんま書いてなくて、構造強度評価して書いてある、普通に なので、あのままいくと評価しか出てこないんですけど、それはもう構造 強度を確保する設計があって、
1:23:57	評価なんですよって考えると、ダブルダッチ普通に出てくるだろうと思 ってて、あまりそんなに難しくないだろうと思われるところが、
1:24:05	これに見事に寄与します。はい。はい。コサクです私も、
1:24:11	意識でいまして、
1:24:13	議論しないとうまくいかないっていうようなタスクだとは思ってないんです けど、表現ぶりだけ愚直に見ちゃうと評価に持ってっちゃう。
1:24:21	部分が多いんですね。実際はもう資料 3 の方で書いていただいたりする ので、
1:24:28	内容として問題わあ、あんまり。

1:24:31	ないんですけど、資料に実際にちゃんと書き込もうと思うと間違えることもあるよと。
1:24:36	ということなので、一応ちゃんとタスクとしては入れておいて、
1:24:42	ほらねっていう感じに。
1:24:44	て言ってもらえればと思います。
1:24:51	そうする等、現状の資料 3、個別でっていうのはあまりなくてっていう感じに。
1:24:57	なるんですけど、ちょっとまた共通中に戻ったときにそこら辺の個別をもっとお話ししたいと。
1:25:04	それで、幾らか個別には 1 時には、
1:25:10	共通上 2 点をまとめている部分を細分化しつつ、
1:25:13	まとめたほうが、具体のタスクとの繋がりがよさそうだと。
1:25:17	いうことで、
1:25:20	いくつか集約をしたり並べ替えをしたり、
1:25:23	モリイ矢印の部分は、
1:25:25	少しコンパクト
1:25:28	ことをしていただければ、
1:25:32	減って、
1:25:34	運用の分も西層になりますけど、
1:25:36	ありがとうございます。
1:25:37	一声はですね、今の関係から、そもそもこのナンバーワンっていらないですよ。
1:25:43	はい、多賀です。もう生み出し目次という
1:25:48	令和ナンバーワン時代が、それ以降No. 2345 を展開してるというだけで、古作です
1:25:58	であれば、要らなくて、目次なくても数枚物で書けばいい。
1:26:04	実際要求なので現状だと 7 ページになってますけど、
1:26:08	そんなにいけないので、
1:26:15	もう資料も何枚かめくったらここで、
1:26:17	これが書いてあるね。
1:26:20	1 件。
1:26:21	1 ページ目このことから、2 ページみたいな、
1:26:24	わかるぐらいにさせていただいたら十分な、
1:26:27	いらない

1:26:29	ですって。
1:26:31	現状のナンバー2 が一今話をし、
1:26:37	ナンバー2。
1:26:38	No.2No.3 が、今話をしていたことと、
1:26:42	ということで、これはある程度例えば区と平仄をとった感じの、
1:26:47	二つに大きく、DSAっていうのはわかってますけど、
1:26:51	はい。同じように対応していただいたら、
1:26:54	思い、
1:26:56	一方で3-3 みたいな、3-3 なり 3-4、3 笠野 2 なり 3-4、3-3、
1:27:04	その中で、SAとして特異に、
1:27:09	溢水で出てくるものという具体例だと思うので、
1:27:14	まとめつつ、具体例として、例えばここは気をつけます航空機をつけますっていうふうに言ってイクノとしていただいたらいい事項かな。
1:27:23	実際
1:27:25	右側へ行けば、タスクの関連と風をまとめて書かれたりするんで、項目番号をまとめてしまって、
1:27:32	対応としての分類分けはしない。
1:27:43	で、
1:27:46	一斉だとその次のようにページ下からNo.4 に入っちゃってちょっと問題があつて、
1:27:51	これはNo. 2 の中に、難波新居さんと小松の中に、さらに飛び込ますべきもので、
1:28:00	それを具体的に分けていくと。
1:28:03	具体的なその現状、
1:28:06	タスクとの関連ってふうに書いちゃってるように、肯定感を示して、
1:28:12	結局どれもう同じことが書かれている。
1:28:17	整理をしてください。現状書かれてるのほとんど具体例がいっぱい書いてるだけ。
1:28:24	はい。
1:28:25	それは、
1:28:28	一旦は集約していただいていいと思うんですね。
1:28:34	例えば、
1:28:39	スロッシングだったり、

1:28:43	水源だったりって 4-2 オンダ 3 みたいなのは具体例としてこれまでに結構
1:28:49	トピックを挙げて、
1:28:51	話をしていますけど、
1:28:53	こういったものは、
1:28:55	対応方針の方は、項目出しただけができていけば我々としては通じるかなと。
1:29:02	思うんですけど、
1:29:04	対応予定として、
1:29:07	どうしていくんだっていう時に、これ補足説明って書いてあるじゃないですか。
1:29:14	補足説明っていいながら事前に整理をしていくべき事項っていうのがかみ合わないんですよ。
1:29:19	補足説明資料自体は、
1:29:22	全体でいうと本来は共通 12 とセットで出していく。
1:29:26	いう具体をしっかりと説明するもので、事前にそこまで説明してもらおう。
1:29:33	ものじゃなかったんですね。で、
1:29:37	いきなりそっちの世界に行けるものであればいいんですけど、何で事前に説明、整理をしておかなきゃいけなかったかってところが、何か抜け落ちちゃってるような気がする。
1:29:50	それは何かっていうと、結局はその説明すべき項目をしっかりと、
1:29:56	整理をし、累計としてまとめきれるかと。
1:30:00	いうことが一できてないから、
1:30:03	なんだと思うんですよ。
1:30:05	そんな時に、例えば、
1:30:08	1 水源の方であれば、水源、
1:30:12	としないために、耐震設計を施す。
1:30:15	もの。
1:30:16	はあると思っています。
1:30:19	であるのであればそれをどう類型の中に入れますかっていう、
1:30:24	ことの論点があるから事前に話をしてるわけですね。
1:30:28	水区画なり、溢水経路も同じで、そういう特異なものがあるんだったらどう扱いますかと。
1:30:35	いうのがあるから話をしてるっていうことなので、

1:30:38	2-1 なりの枠に、
1:30:41	そもそも入りますよね。
1:30:45	その枠に入ってますは
1:30:50	設計説明文の中で扱いますっていうところを整理をすると。
1:30:54	いうタスクがあって、その上で、具体の経路はどうしますか。
1:30:59	有井。
1:31:00	ここの部分がDBの経路で生成のルートです。だったり、
1:31:04	ていうのは個別説明で当然、
1:31:06	いいし、
1:31:08	どのフェーズ、
1:31:10	んついてをどこであらわすかっていうのはそれぞれにある話だと思うので、
1:31:15	そういったものを対応予定案、方針である程度の骨格を示した上で対応予定日で、その段階というのを明確にしていた。
1:31:23	いうことが必要かと。
1:31:25	で、
1:31:28	その上で、個別に入っていく等とても
1:31:32	ナンバー2 の中で、
1:31:34	相手国は、
1:31:36	厳しい明日じゃないですか。ここいっぱい出てくるので補足説明資料で、はい。
1:31:41	なので、そそうになってきたら、別タスクで立ち上げてもいいんだと。
1:31:48	これについての具体を整理していく。
1:31:52	というようなことであってもいいかな。
1:31:58	その点では、特に溢水についてわあ、これまで多く、
1:32:02	オダしているんで、
1:32:04	それに対して、
1:32:12	共通中に人を直接、
1:32:14	関係、関係ないって言い過ぎかもしれないですけど、大きな作業はなくて、どちらかというと 00 だったり個別説明だったりと、
1:32:22	いうことも多いと思うんで、そこら辺は別枠を設けつつ、
1:32:28	共通所に絡むところではそっちに奮っていな、何番で、
1:32:33	について整理することにしてますっていうふうに書いていただければ、
1:32:36	いいかな。

1:32:37	その場合はタスクの関連性のところにナンバリングした。
1:32:41	見ていただくと、
1:32:46	それで言うと、今そんなイメージでお話しましたけど、
1:32:51	竜巻だ等対応予定日のところにそのリンクが書かれている。
1:32:55	タスクっていうのは、
1:32:57	竜巻じゃない人たちのタスクっていう、
1:33:01	ああいう共通 12 じゃないものもタスクっていうような感じに、
1:33:05	やってたりするんですけど。
1:33:11	これは、
1:33:14	いろいろなんですけど私のイメージは、対応方針の中に書いてあるものが、対応予定日として、日付なり何名か。
1:33:23	ということで、タスクって言うのはこの業じゃないもの。
1:33:29	のリンクすべてだと思って。
1:33:32	どうして。うん。
1:33:34	当然他のす他の対応方針の業務ですけど、
1:33:39	だから自分の中で、ナンバーワンに対しのところ、ナンバー3 の何とかを踏まえて、何とかしますっていう、
1:33:47	あります。
1:33:49	共通 12 の何番を踏まえて、
1:33:52	これがあります。
1:33:56	そんなに。
1:33:59	多くないと思うんで。
1:34:01	大丈夫だと思うんですけど。
1:34:05	これ
1:34:06	なので共通でいいですかね。
1:34:16	ちょっとforマツノところだけで言うと、
1:34:19	溢水だけ 13 条反映ってのが書いてあって、
1:34:23	だけどほとんどようようでは、4-3 って、
1:34:27	なってるんですけど、これは入りますか。
1:34:31	他にもちょっと、
1:34:34	はいセンミョウミナミタカギございます。
1:34:36	ここについては、
1:34:38	前回のヒアリングを踏まえて、地盤情報の反映、明確化するということで、

1:34:46	おりますが、
1:34:48	店長の丹治です。多分、やりとりは医薬品にも当然反映するんだよねって話なんです。
1:34:56	明らかに役員じゃないよなんて、ここ自営なので、重なってるのっていう気はしましてむしろ、大体反映します。
1:35:04	はい。人間の高井です。すいません私の会社。
1:35:09	すいませんアノ行まで追加してしまいましたがおっしゃる通りであるとかそういうそれぐらいですので、おそらくそれで言うと、表題をともにしちゃってるから、そういう疑念が、
1:35:20	層準だと思うので、明示的に書いたらいい。
1:35:24	いす医薬品の対応方針とか週次で示させてもらって、特にどっちっていう時に、対応方針のところでも明示して、こっちについて対応します。
1:35:37	というようなことがわかれば、
1:35:43	はい。
1:35:49	店長の加治ですけど、ミナミ1性能何%っていうのは、これは、
1:35:56	どのバージョンていうか、
1:35:57	この人が何か、昔のやつNo.2の3月に提出したナンバーが一番右の、はい。
1:36:09	コサクですけど、
1:36:10	ちょっとまたこの資料シャフリングしなきゃいけないので、
1:36:16	まずは残しておきつつ、整理できたところではもう、過去のやつはもういいんじゃないですかっていうタイミングがあってもいいんじゃないかなと思います。
1:36:25	衛藤です小関名取さんにナンバーが二つあって頑張って、
1:36:30	ナンバーでそういうことですよっていう確認行為だったんで気持ちは特に井清に関しては個別に質問をしてきたところではあるので、
1:36:40	最後綺麗になればどこに取り込んでるかわかりやすくなると思うんですけど、現状はって書いてあるということでは言ってました。はい。
1:36:48	昨日強いて言えば、右のナンバーは
1:36:51	何月何日提出の
1:36:54	ナゴっていう、
1:36:56	こととかを振っておけば、
1:36:57	いいんじゃないかと思います。
1:37:05	はい。

1:37:06	藤善太的な話としては1以上ですけど、
1:37:13	具体と入っていくと、共通中には
1:37:17	そのあと、資料1237と。
1:37:21	はい。
1:37:22	できてるんですけど。
1:37:24	これも先ほど言ったように資料1でクローズスルー者は、
1:37:29	いいんですけども、例えば11番なんかは、
1:37:33	主従の関係っていう、細かな
1:37:36	整理他の資料に跳ねない単独なので、それはこういう枠があってもいいんだらうな。
1:37:44	と思いますが、
1:37:48	とそういうものだけに今なってるかっていうと、
1:37:51	大丈夫かなっていう気もするんですけど、どうですかね。
1:37:55	そういう意味でいくと、15番なんかは、資料2と資料4の関係が出てきたりですね、リンクがあるのはあるので、先ほどの他のパスとの関係性のところでリンクを飛ばしてやりとりをするか、もしくは、
1:38:10	そういうのは全体方針でしようということで大枠のところに書くか、ちょっと整理をさせて、
1:38:16	はい。
1:38:17	そうです。私のイメージと上に持ち上げちゃって、やっぱり肝になるところの整理で抜けちゃうとですね。
1:38:24	後でまとまりがつかなくなるんで、なるべく上に持ち上げつつ、それを受ける個別っていうものであれば、個別として変えていくと。
1:38:34	いうことで仕分けをしていただいたらいいかなと。
1:38:39	はい。西原でございますそうですねそういう意味でいくと、
1:38:44	どちらかという思想的なことを書いているものが、個別のところに行ってもしょうがない。これは前の方に持ってきて全体の枠組みで書くと。
1:38:52	いうことかなと思います。はい。
1:38:55	ご説明よろしくお願ひします。12番もあれですかね、資料1にとも多賀って書いてて、しかも竜巻渦を考えて、全体についていう感じなんで、もう完全に総合的な全体の枠組みの話ですね。はい。
1:39:17	うん。
1:39:18	はい。

1:39:20	一つ一つは言いませんで、そういったところ整理をしていっていただければと思います。
1:39:26	そうすると大枠のところの対応の仕方がこちらを見れば、大枠ずれてないかっていうことはわかりますし、この、
1:39:38	フォーマットの話っていうのはこっちの個別の方見ていけば、
1:39:48	等、
1:39:57	本当の話で、
1:39:59	4 ページとかの資料に入ってくると先ほど 2 ポツを別枠に分けるといったものも、
1:40:06	何かその別枠に入りそうなものまでここに書いてたりするところもあるので、そこはちょっと、
1:40:11	仕分けをします。
1:40:13	20 番なんかは、
1:40:16	理事がどっちかっていうと偏ってるかもするので、
1:40:21	とはいえ、設備間の相互影響を考慮したっていうところを整理しなきゃいけないって意味では、資料 3 の
1:40:29	整理事項である気はするんですけど、とはいえ、何か書いてることが大分ターゲットが絞られてくるので、ちょっと先ほどの他のタスクとの関係は整理をしていきたい。
1:40:41	はい。
1:40:44	そういう意味では、あれか。
1:40:49	2、22 番なんかさっきの 15 番と、
1:40:52	井元なんかへエンドウして登記をするので、おんなじことをダブルで書いてるっていう感じがするのでちょっとその辺の整理をさせていただきます。はい。
1:41:05	規制庁日下です。
1:41:08	今お話いただいたようなところで資料 123 については整理、
1:41:16	なるべく関連するものは、前段で、
1:41:18	整理をしてしまえるように、その上で、個別に展開するものを、個別の部分のタスクの方に閉じ込める。
1:41:28	いうことにしていただきたいと。
1:41:30	そうしていったときに、
1:41:35	(4)に行ってる資料 4 なんですけど、先ほども少しありましたけど、
1:41:40	そんなすぐにはできないよねと言いながら、対応予定日し 9 月 10 日というのを全部取ってんですけど、

1:41:49	これはおそらくあれです。
1:41:51	でも、
1:41:52	本文でさえ、
1:41:54	ね。
1:42:02	これは率か。
1:42:05	9月12日は、
1:42:06	あんまりそんな整理した方が
1:42:09	これは担当者
1:42:15	できて資料2のところ資料4に振るものが明確になるとかそのぐら い。
1:42:20	だと思って。
1:42:22	石井さん、どうぞ。
1:42:27	伊予前田上と並行してやりながらもそういうのも見ながらっていうつもり だったんですけど、はい。
1:42:32	それとの関係も含め、
1:42:35	はい。
1:42:37	その下の1ポツ23号は先ほどの井清で全然イマセンよねと同じなんで すけど要らないですね、消します。
1:42:58	それでまた、竜巻水の方見ると、
1:43:07	滝真木の方は資料3では先ほど話した。
1:43:11	終わって、
1:43:14	逆にあまり書いてないので、
1:43:17	今後、
1:43:19	案に関わる場所っていうのは、
1:43:22	2ページの一番下のところの、
1:43:25	2ポツっていうのは、資料3、事前作業。
1:43:29	令和性質制度布石なんですけど、16時半到着になります。
1:43:38	はい。ごめんなさい。
1:43:40	設計説明分類の中から代表設備っていうのを、
1:43:45	そうですね。代表選ばないといけないと思うんですけども、
1:43:49	選ぶ際には、
1:43:51	資料3の記載の、
1:43:53	もうある程度踏み込んだ形になるので、
1:43:56	皆さん、

1:43:58	今までの話聞いてました。
1:44:00	はい。資料3として書くのは資料3だけ。
1:44:04	の話。
1:44:06	に絞りましょうでは、分類だったり何なりに関係するのは前段で整理をしましょうと、ということなので、今言ったような話は、前段に整理をしてくださってなると、
1:44:18	ここで、竜巻に今の資料に資料3onlyの話っていうのはありませんねと。
1:44:23	そういうことになるので、今後変えていってくださいね。
1:44:27	必要に応じてっていうことだけです。はい。
1:44:32	溢水の方は、
1:44:37	と。
1:44:41	イシイの方はないのか、そういう、
1:44:45	先週、
1:44:50	ないです。
1:44:52	こちらが出て各場所が間違ってた他のタスクとの関連性で個別にやっていますので、
1:45:00	その整理の中で、はい、記載した。
1:45:03	はい、わかりました。そうですね。溢水も経路としてはこういうふうに変えていきますとか何とかっていう部分はあると思うんで、それで整理をしてもらえれば
1:45:20	12で後の2ポツは最初の方に大枠だけ話しましたけど同じように、
1:45:25	大体資料3に関連することが書かれてるんじゃないかなと。
1:45:29	思いますけど。
1:45:31	うん。整理をして、ちょっと具体的すぎるじゃない。
1:45:46	本当。
1:45:48	うん。完璧。
1:45:56	長ヤマグチです。対応方針に関して、甲斐規制庁側から何かありますでしょうか。
1:46:03	規制庁の丹治ですけど。
1:46:06	中間的には、これはいつ直そうとすると、どれぐらいかと。
1:46:12	はい。
1:46:18	いや、何にしてるかっていうと、今日竜巻は入ってないですけど、SEがヒアリング的には皆、

1:46:27	14、14ぐらいヒアリングが入ってて、はい。
1:46:30	うん。もう今直ってない状況で、そのヒアリングやるのはさすがに詰めか、はい。ていうのもあって何かこの場で答えてもなかなか難しいところかなと思うんですけども。
1:46:41	あとその重要なヒアリングでどうすんだとかいろいろですね。はい。
1:46:45	ちょっとイメージがあれば、リブです。
1:46:48	はい。日本原燃の高井です。まさにご相談したかったところで、重要かどうするかっていうところなので、資料の修正とヒアリング。
1:47:09	フジキニワせる
1:47:11	明日 1 日
1:47:12	水曜日の 16 時まで。
1:47:15	もう、ほぼ 2 日。
1:47:18	協議中でしょ。
1:47:20	はい。修正して、水曜日に
1:47:26	イソタニですけど、
1:47:28	若干入りますけど、これに時間かけ過ぎてもしやあないでしょ。多分、直してスタートって狭いの準備してるから
1:47:36	パタッと切らないといけないから。
1:47:39	はい。別に何かここで早く行ったからそうすることはもうないとは思いますが、ただ、
1:47:45	共通 12 であろうがアトベというの方も 1 回ぐらい何か議論になるような気がします。引き当てたっていうところが見えるものをちょっと出したりしたことはないかなと思います。
1:47:55	はい、山中です。はい、承知いたしました。
1:47:58	すごい。
1:48:00	お願いします。
1:48:08	一応、ちょっと 1 点確認なんですけども。
1:48:11	内容で、
1:48:13	整理はされると思うんですけど、溢水の方で、名前呼んでは個別の一つ目の前に整理しておくべきことっていうのを挙げられて、
1:48:23	内容、予定日に書かれてる説明っていうのはちょっと一部共通っていう書き方があるんですけど、これって、
1:48:31	補足説明資料っていうつもりで書いたんですかね。昔のコメン等リストの実施みたいな形で、ここに

1:48:41	この対応方針にちょっと細かいこと書きすぎると、
1:48:45	粹取りすぎるから別途別紙みたいな話です。
1:48:48	はい。何ですか。はい。日本原燃高井でございます。別紙というイメージで書いておりました。で、先ほどのお話でやっぱ具体のタスクとして分けるところなんでそこも含めて、はい。整理をさせていただきたいと思います。
1:49:03	わかりましたちょっと確かに
1:49:07	資料という形ではもちろん、何を補足説明し出すべきかっていうのを整理をしてから、
1:49:13	なされるものだと思うんですけども、
1:49:16	方針として確認すべき事項っていうのもあると思うので、
1:49:22	イワマカンバラの関連だと思うんですけどもその中でそれを先に早めに教えて、
1:49:32	承知いたしました。
1:49:37	成長の場ですねと、共通 12 の対応方針っていう、
1:49:43	13 日に共通自体スライドしましたんで、おんなじ日に出すか 14 日に出すか。
1:49:53	はい。15 分前までにいたします。はい。
1:49:58	何で俺には 13 って言って、
1:50:02	別だけど、15 日だったんです。
1:50:06	めっちゃすごいね。
1:50:12	新屋ヤマグチですとか、規制庁ございますでしょうか。
1:50:26	おヤマグチでしょと現場から、特によろしいでしょうか。
1:50:31	それではこれであったんですよ。
1:50:39	はい。はい。今日は、今日は、
1:50:43	今日は火曜日、特に対応方針の話ばかりだったので、はい。
1:50:48	いただいたものの通り修正をして提出をさせていただきますと、いうことは
1:50:55	今後の進め方のところの役割ですね、これは
1:51:01	個別の対応方針が立ち上がってる状況を踏まえて、どちらかという中長期的な進め方プラス、喫緊のやつは、
1:51:10	対応方針のところに預けているもののタスクのキーワード化したもので、状況が説明できるようにということで整理をさせていただこうということで、次回からそういう整理をさせていただきたいと思います。はい。

1:51:22	店長武居スズエ中身の話なかったし、木曜日の石井池谷の金曜日の進め方ヒアリングなんかも結果に形になってください。はい。
1:51:38	日本原燃、
1:51:40	抜け、
1:51:41	人といえますか。
1:51:44	上がって、
1:51:45	竜巻の方で、
1:51:47	一応、9月14日提出予定。
1:51:51	まあ、これ中身オオウチを、
1:51:53	クラタ上で、それ、
1:51:57	もう一方用というのですね、今回も積もることで、14日に提出というような認識で、
1:52:04	まして今ほどこの修正版、提出時期ちょっと竜巻だけ入れなかったと、今申し上げようと思うんですけど、
1:52:12	アノイセいただきたいんで、何とか13日には、
1:52:18	その上で、
1:52:21	中身の議論をちょっとできなかったんですけど、
1:52:23	我々の目的ですか
1:52:26	達するのがいいのかわかっていうところは少しちょっと、
1:52:31	なんなので、
1:52:38	3、
1:52:40	さって出させてください
1:52:41	て、
1:52:44	見ていただいてから、
1:52:47	のがいいのか。
1:52:48	ものを一旦出してくれていいので言いますが、ちょっと気になってるんです。
1:52:54	出すかどうか、店長の田尻です。今の話っていうのはタカキが資料が10ナリタ. 4。
1:53:02	有用で、でもその前に小貫進め方の資料を出すって話だったんですけども、ヤノ現時点で予定変えても仕方なくて、ただ、ヒアリングで倒れた時点でそれをどこに行ってますけど、ヒアリングなくて、

1:53:16	何で被水のヒアリングやって、次の仕方もできないっていう状況なんですけど、いずれ食事、これがどう整理される方も変わらない気がするんですけど、
1:53:26	その対応方針の下ミイで、何か中身かわいそうな、
1:53:31	そういうことじゃないんですけど、ナカイの議論がなかったのもちょっと大きな話ですので、
1:53:37	出てナカセいただきたいと思います。
1:53:41	うん。どういう形でタケダしてもソネノジリしかないような気がするんで。はい。そういう状況が今のところ予定は変わらずということで、ただ進め方の方針、対応方針の紙に関しては修正版を配布いたしますよ。
1:53:55	そうです。
1:54:01	よろしいでしょうか。
1:54:05	それではこれで本日のヒアリングを終了しますので録音を停止。